

2026年度 初期研修プログラム

神戸大学医学部 附属病院

研修医募集要項

たすきがけコース
小児科医育成コース
産婦人科医育成コース

1年目研修病院一覧



ごあいさつ

神戸大学医学部附属病院長

黒田 良祐

神戸大学医学部附属病院は医療法に定められる特定機能病院として、また地域の高度急性期病院として、「患者中心の医療の実践」、「人間性豊かな医療人の育成」、「先進医療の開発と推進」、「地域医療連携の強化」、「災害救急医療の拠点活動」、「医療を通じての国際貢献」という6つの基本理念を掲げ、兵庫県下をはじめ関西地域を中心とした多くの患者様に安全で質の高い医療を提供しており、それが初期研修プログラムにおける特色にもなっています。



特定機能病院において教育・人材育成は、地域の医療を主導していくにあたり極めて重要であり、当院および関連する病院において優秀な高度／医療職／人材を確保し、活躍していただくにも不可欠と考えます。当院では総合臨床教育センターを中心として広く医療にかかわる人材の育成、そしてキャリア形成のためのサポートを行っており、初期研修プログラムも本センターの専属スタッフによりしっかりと管理されています。そこでは研修の終了認定要件のためだけのカリキュラムではなく、当院ならではの多職種から成り立つ医療体制における医師の役割を経験し、理解を深めることを目標としています。

高度急性期病院としての機能は、地域の方々、そして近隣の医療施設から求められる重要な役割です。研修医の方々には、当院を頼りにして受診される患者様のファースト・タッチからしっかりと経験していただきます。国際的に貢献できる優秀な医療人を育成する病院として、患者様にとって安全で最良／最善の治療が受けられる病院として、地域の「最後の砦」として高度な専門性をもった各診療科が結集して重症患者さんの治療に当たっており、初期研修医にとっての“early exposure”に最適の医療現場を提供しています。

現在の診療はチーム医療が基本ですが、そのチームも、一つの診療科の医師チームから複数の診療科の合同チームへ、そして多職種が参加した院内チーム、さらにはひとつの病院の枠を越えた地域連携へと広がっていきます。みなさんが将来、充実した医療従事者間のネットワークを持って、患者さんに最良／最善の医療を提供していくためにも、多くの同僚とコミュニケーションでき、絆を築くことができる環境に身をおくことは、医師としてのスタートに最良と思います。将来に渡って頼りあえる幅広い医療人の輪を構築するための基礎固めをしていただきたいと思います。

一昨年には附属病院敷地内に新たに2つ目のカフェがオープンし、また初期研修医用居室が大幅に拡張され、さらに快適な研修環境を提供しています。大きな夢を持ち、意欲にあふれる皆さんとご一緒できることを心待ちにしています。

病院の基本理念

1. 患者中心の医療の実践
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 先進医療の開発と推進
4. 地域医療連携の強化
5. 災害救急医療の拠点活動
6. 医療を通じての国際貢献

神戸大学医学部附属病院は上に掲げた6つの基本理念のもと、**医療提供機能**、**教育研修機能**、**研究開発機能**の3つの使命を果たし、臨床医学の進歩と医療技術の向上に寄与し、医療を通じて社会に貢献する。



総合臨床教育センターからのメッセージ	2
医師・歯科医師部門からのメッセージ	3
募集案内	5
研修医の処遇	6
説明会のお知らせ	7
神戸大学病院群初期研修プログラムの概要	8
研修環境	12
先輩研修医からのメッセージ	17
データで見る神戸大学病院のプログラム	18
メンタリングプログラム	19
診療科紹介	27
1年目研修病院の紹介	61
専門研修について	111
病院までのアクセス	113



総合臨床教育センターからのメッセージ

message



総合臨床教育センター長
児玉 裕三

「神戸大学で大切な医師としての第一歩を！」

医師の初期研修にとって最も重要なことは何でしょうか。それは、医師としての基本を身につけること、そして自身の将来への道を見つけることでしょう。神戸大学医学部附属病院は、その理念の一つに「人間性豊かな医療人の育成」を謳っており、私たち総合臨床教育センターが皆さんを全力でサポートすることを約束します。

まず、質の高い診療なくして良い教育や研修はあり得ません。神戸大学医学部附属病院は、兵庫県唯一の国立大学病院として全ての診療科を網羅しており、標準的な医療から高度・先進医療まで幅広く学ぶことができます。複数診療科を横断するカンファレンスにより、集学的な診療が経験しやすいことも特徴です。さらに救命救急センターの開設とともに始まった副直制度では、一般的な救急疾患から重症搬送症例に至るまで、その初期診療を指導医による1対1の指導のもと実践し身につけることが可能です。

当院の総合臨床教育センターでは専任の教員を配し、皆さんがこのような高水準の医療を経験しながら、医師として、そして医療人として大きく成長できるよう、様々な工夫を凝らした初期研修プログラムを準備しています。研修医に向けた数多くの実践的なセミナーや、先輩医師によるメンタリングプログラムはこれらの一例です。また、臨床基本技術トレーニングセンターおよび先端外科医療・内視鏡トレーニングセンターには充実したシミュレーターを備えており、コロナ禍においても変わらずハンズオンセミナーや研修を実施しています。

そして、何よりも大切なのは私たちの「伝える気持ち」と皆さんの「学ぶ気持ち」でしょう。私たちは、医師としての知識や技術のみならず、患者さんとの向かい方、チーム医療に必要なコミュニケーション、さらには医療人として常に学ぶ姿勢を、丁寧に熱意をもって伝えてゆきたいと思えます。皆さんは、全国から集まる研修医仲間と楽しく切磋琢磨しながら、医師として必要なプロフェッショナリズムを学んで欲しいと思えます。各診療科で活躍する多くのエキスパートとの出会いや、神戸大学と豊富な関連施設が提供する充実した後期研修プログラムの情報により、自身の歩むべき道を見出すことができるでしょう。

皆さん、ぜひ海と山に囲まれた街神戸で、世界へ開かれた国際都市神戸で、大切な医師としての第一歩を踏み出し、そして将来へと羽ばたいてください。夢と好奇心に溢れた皆さんをお待ちしています。



医師・歯科医師部門からのメッセージ

message

副部門長
木戸 正浩

この冊子を手にとっている皆様の中には既に神戸大学のこの科に進みたいと決めている人、神戸出身だったけど他大学で学生生活を送り再び神戸に戻ろうと考えている人、またこの山と海に囲まれた風光明媚な神戸という環境に惹かれている人がいると思います。

そして大学病院で初期研修を送ることといわゆる“common disease”があまり経験できなくて、研修としてはハンディキャップを背負うのではないかというnegativeな印象を持っている方も多いと思います。そんな皆様の不安を解決すべく、神戸大学には「たすきかけ」プログラムが存在します。一般市中病院で1年目に様々な“common disease”を経験し、さらに2年目で大学病院ならではの専門的な深い考察を加味した研修を行うことで、志望する診療科のスタートを上手く切るきっかけになると思います。というのも大学病院を受診するほとんどの患者さんは併存疾患があり、むしろ何科で研修していても他科のプロにコンサルトでき、その疾患に関する最善のマネージメントを知り得ることができます。

そして何よりも他の機関では経験できない最大のメリットは同期の仲間が他施設に比べて多く、そしてどの科に行っても頼るべき先輩に出会い、医師としての最大の武器である「人脈」を勝手に形成することができることです。大学は人間の縦と横のつながりを形成する交差点（ヒューマンスクランブル）です。

ただ研修期間中は全てが順風満帆ではなく、むしろ「しんどい」ことも多いです。そんなときこそ我々が誇る「メンター」を頼りにして下さい。私自身、今や完全に皆様の「オヤジ」の年齢となり、ジェネレーションギャップを激しく感じることは想像に難くないことです。しかしながら「オヤジ」は頼りにされるとより頑張る生き物でもありますので、是非頼りにしていただくと幸いです。もちろんメンターが「オヤジ」ばかりでは困りますので、むしろメインは若手から中堅のメンターたちであり、彼らは皆さんが「しんどい」時にこそ寄り添ってくれると思います。神戸大学で研修した皆様が心から良かった思える病院にすべく縁の下の力持ちになればと思っておりますので、よろしく御願いたします。

message

神戸大学医学部附属病院での初期研修をお考えの皆さんへ。

世の中に数多ある研修病院の中から、どこで研修しようかお悩みのことかと思います。初期研修は生涯医者としてやっていくうえで、きわめて重要な期間です、などと聞くと、なおのこと慎重になりますよね。私自身も、初期研修が医者人生の土台をつくる期間であることは疑う余地なく、そう思います。

しかしながら、良い入れ物（研修病院）に入ったからと言って、自動的に良い医者にしてもらえるわけではありません。ましてたった2年で医者として完成するわけでもありません。医者をする限り、修練は生涯続くと言えると思います。

初期研修とは生涯続く修練の方向を決め、その方法を身に付ける期間だと思えます。

あいつも頑張っているから自分も頑張ろうというモチベーションを高めてくれる仲間、ロールモデルとなる先輩、いつかはあなりたいと思う師匠との出会いなど、人とのめぐりあいがその後の人生を変えることがあります。

神戸大学医学部附属病院は研修環境、設備、システムが整っているのみならず、日本・世界をリードする臨床医、研究者、熱い情熱を持った教育者が集まっています。

あなたが飛び込み、そして一員として全力で頑張るに値する病院だと私は確信します。

副部門長
坂口 一彦



医師・歯科医師部門からのメッセージ

message



副部門長
武田 大介

神戸大学で初期研修を考えておられる医学生・歯学生の皆様へ

歯科医師臨床研修副プログラム責任者と兼任しております歯科口腔外科の武田大介と申します。

さて、皆様は卒後臨床研修に対してどのような「希望」をもっておられますか？

私は、医療人として、また社会人としての第一歩を踏み出すこの臨床研修は、その後の将来に向けたとても重要な時期と考えています。もちろん、教育機関としての役割も担った医学部附属病院、歯学部附属病院、県立や市立病院では、それぞれに各診療科の診療形態や研修医の役割は多少異なっているかもしれません。また、新たな生活環境や人間関係を構築していくこともそう容易いことではないかもしれません。しかし、努力したなりに自身の知識なり技術の向上を実感できると思います。臨床研修の期間で養われた姿勢や、経験を共にした仲間は“一生もの”になるでしょう。そこには出身地や出身大学などの垣根を越えた、医療人としてのより広い世界が待っていると思います。

当センターでは臨床研修医となった先生方が満足した研修生活を送ることができるように日々支援を行っています。例えば、ハード面では2024年度中には新しい研修医室が完成し、医科1年目研修医と歯科研修医が同じ研修医室を利用できるようになります。ソフト面では「働き方改革」を基にした新しい当直制度（研修医特別研修制度）の運用を開始しています。また、日々の悩みにも相談できる体制を整え、各診療科からのミニレクチャーをまとめた研修医ミーティングや技術トレーニング研修を企画案内しております。少しでも個々の「希望」を叶えることができるように、センター教員一同、皆様をお待ちしております。是非神戸大学にお越しください。

message

皆さん、はじめまして。総合臨床教育センターの横井愛紗と申します。

皆さんは将来どのような医師になりたいですか、またその為にはどうすればいいと思いますか。皆さんが初期研修医になったら「医師になりたい」という大きな目標から、「〇〇ができるような医師になりたい」という具体的な目標にシフトしていくでしょう。大学病院で研修することの一番のメリットはやはり「出会い」が多いことだと思います。各専門分野のエキスパートの先生に出会い、多くの経験や知識、文献に基づいた最新・最善の医療に出会い、切磋琢磨できる先輩・同期・後輩に出会えます。

そして神戸大学医学部附属病院は「〇〇ができるような医師になりたい」、そんな自分に近づくためのサポートとして様々な制度を独自に設定しております。（メンター制度、研修医向けの勉強会やハンズオンセミナーなど）このような制度を利用することで、さらに出会いが広がるでしょう。

初期研修の二年間は自分のこれからの医師像を形作る大切な二年間です。神戸大学医学部附属病院はその大事な二年間を病院全体でサポートします。

皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



専任教員
横井 愛紗

message



卒前卒後教育担当
小林 成美

循環器内科と医学教育学分野を兼任しています小林です。主に卒前教育を担当しています。

現在の医学教育では「共通の目標」のもとに、卒前6年間と卒後2年間をシームレスに連動させた医学教育、臨床研修を行うことが必須とされています。「共通の目標」とは「患者さんに良い医療を提供する医師、医療を通じて社会に貢献する人材の育成」です。臨床医、研究者、医療行政に携わる者など、医学部を卒業し初期研修を終えてからの進路は人によって様々ですが、全ての人が初期研修を終えるまでに自らの「医療人としての基礎」を形作る必要があります。

学生時代、研修医時代は一瞬です。しかし、その過ごし方によって、素晴らしく成長できる時期でもあります。この時期に経験したすべてが宝物であり、その後の医師人生の基盤となります。人生の師にも出会うでしょう。

限られた時間を大切に、様々なことに積極的に挑戦して、一人の人間として大きく豊かに成長してください。



募集案内

※2025年4月1日時点での予定であり、変更する可能性があります。
変更がある場合は、総合臨床教育センターのHPでお知らせします。

1. 応募資格

第120回医師国家試験受験予定者

2. 募集定員

一般コース	13名
たすきがけコース	47名
小児科医育成コース	2名
産婦人科医育成コース	2名

(募集定員は暫定)

3. 採用試験方法

筆記試験 1時間
面接試験10分程度

4. 採用試験日

第1回 2025年7月27日(日)
第2回 2025年8月9日(土)
※出願時にどちらか一方を選択

5. 出願方法

神戸大学医学部附属病院総合臨床教育センターホームページに掲載予定

●総合臨床教育センターホームページ

<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/kenshu/>



6. 出願期間

(必着) 2025年6月20日(金)～2025年7月4日(金)

7. 採否発表

医師臨床研修マッチング協議会のホームページで結果が公表される予定
(マッチングの結果公表により、募集定員に対し欠員が生じた場合には追加募集を行うことがあるが、その詳細はマッチングの結果公表後に総合臨床教育センターのホームページで公表する。)

8. 採用日

2026年4月1日
※2026年3月下旬に全採用者を対象とした採用前オリエンテーションを予定している。
※たすきがけコース、小児科医育成コース、協力型病院を選択した産婦人科医育成コース1年目は2026年4月1日より各研修病院での採用となる。

9. 研修開始までに免疫の獲得が必要な感染性疾患について

当院では、研修開始までに下記の5疾患について、ワクチン接種等による免疫獲得を原則としている。

麻疹／風疹／流行性耳下腺炎／水痘／B型肝炎

※接種費用は自己負担。

※詳細は採用決定後に通知するが、事前に関心がある場合は研修支援係に問い合わせること。



研修医の処遇

※処遇は2025年4月1日時点における本学規定による

(たすきがけコース、小児科医育成コース、協力型病院を選択した産婦人科医育成コース1年目は各研修病院の処遇による)

1. 職 名 医員（研修医） 国立大学法人神戸大学非常勤職員就業規則を適用
2. 勤務時間 週40時間勤務 8時30分～17時15分
※救命救急科研修中は原則交代勤務制（夜間勤務あり）
3. 休 日 （原則）土曜日・日曜日及び法令に規定された休日（年末年始を含む）
※特別研修による調整あり
4. 休 暇 年次休暇：採用時に3日、採用から6ヶ月経過後に7日
（1年目に当院で研修を行う場合は2年目に11日）
ワークライフバランス休暇：3日
5. 当 直 あり
6. 給 与 日給額（勤務8時間につき）10,000円
このほか、本学規定により、臨床研修手当（月の半日数を超えて勤務した場合：月額100,000円）、通勤手当、研修医特別研修手当、夜間・休日診療業務手当を支給。
※臨床研修手当には超過勤務手当、休日給、夜勤手当を含む。
※研修医特別研修手当（18：00～22：00、3,000円／回）と夜間・休日診療業務手当（18：00～翌8：30、8,000円／回）は回数に応じる。
※夜間・休日診療業務手当が支給される場合、研修医特別研修手当は支給されない
※住居手当、扶養手当、退職手当及び賞与の支給なし
前年度実績：月額約30万円（税・手当込）
7. 宿 舎 15戸
病院から半径2km以内の民間物件を借り上げ研修医宿舍として提供
使用料：32,000円（光熱水費別、家具・家電付）
入居期間：原則当院での採用から1年間（たすきがけコース等は2年目当院採用から1年間）
※申込者多数の場合は抽選とする。
8. 保険・年金 健康保険（共済組合）、厚生年金、雇用保険、労災保険適用あり
9. 医師賠償責任保険 大学病院において加入
10. 学会参加補助 学会で発表する場合については、旅費（上限あり）及び学会参加費を支給。
11. 食 事 職員食堂あり（有料）

*注 意

本プログラムでは医師法の規定に基づき研修中の副業（アルバイトを含む）を禁じている。

同法及び本院の指導に反して副業（アルバイトを含む）を行った場合には、研修延長等の厳正な指導が行われる。



説明会のお知らせ

※2025年4月1日時点での予定であり、変更する可能性があります。
変更がある場合は、総合臨床教育センターのHPでお知らせします。

神戸大学病院群初期研修プログラム説明会について

開催日

2025年6月開催予定
開催日程等が決定しましたら、総合臨床教育センターホームページでお知らせいたします。

対象

医学生

内容

- ・初期研修プログラムに関する全体説明
- ・現役研修医による相談会
- ・診療科説明会



参加予定の病院説明会

令和7年度兵庫県臨床研修病院合同説明会	2025年5月10日(土)	神戸国際会議場(予定)
レジナビフェア 大阪	2025年7月6日(日)	インテックス大阪

●病院見学について

総合臨床教育センターホームページの「お問い合わせ・見学申込」からご確認ください。
<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/kenshu/contact/index.php>





神戸大学病院群初期研修プログラムの概要

研修の目標

全人的で科学的根拠に基づいた医療を実践し、プライマリ・ケアを中心に医師として必要な基本的診察能力を身につけ、人格を涵養することを目的としています。

研修科目及び研修期間

本研修プログラムの研修科目及び研修期間は、厚生労働省が提示した臨床研修の到達目標に準拠しています。2年間の研修期間に、「内科24週以上」「救急12週以上」「外科4週以上」「小児科4週以上」「産婦人科4週以上」「精神科4週以上」「地域医療4週以上」「一般外来4週以上」を研修します。

「選択科目」は研修期間中に求められる症例経験を考慮しつつ、各診療科から任意に選択し、1年目または2年目に研修します。

なお、小児科医育成コース、産婦人科医育成コースについては、上記の基本的な研修科目に加え、専門医育成に必要な診療科を必修科目として定めています。

コース名称	募集定員
一般コース	13名
たすきがけコース	47名
小児科医育成コース	2名
産婦人科医育成コース	2名

(募集定員は暫定)

プログラムの特色

一般症例に対する診察能力の修得にとどまらず、高度・先進医療にふれながら、大学病院ならではの精緻な教育技術と豊富な指導医を最大限に活用した臨床教育を行います。次世代を担う若手医師として、チーム医療実践を通じて患者を「病をもつ人」として捉える感性と、生涯にわたって科学者としての向上心を持ち続ける姿勢を体得できるよう配慮しています。

本プログラムの研修実施施設は、当院を基幹型臨床研修病院とし、協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設によって構成されています。なお、協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設は、都市部に留まらず、地方の多彩な病院が施設として参加しており、研修医の様々な希望に対応可能です。本プログラムの研修医は、研修病院が基幹型臨床研修病院となる当院においても、協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設においても、同一の研修目標によって研修が行えるよう配慮されていますが、それぞれの特徴を吟味した上で、コースを選択してください。

指導体制

研修中は、臨床経験7年以上を有し、指導医講習会を受講済みの指導医が中心となって研修医の指導にあたります。指導医は、当該研修科目の研修期間中に研修目標が達成されるよう計画的な指導を行います。また、細かい指導が保てるよう各指導医が受け持つ研修医は5名以下とします。なお、円滑な研修を遂行するために総合臨床教育センターでは、次のような系統だったサポートを行っています。

① 研修管理委員会

プログラムの管理・調整、研修医の募集・採否、研修施設割振、研修成果の評価等を行います。なお、本委員会には、当院プログラムに所属する研修医を受入れている協力型臨床研修病院の研修実施責任者が加わり、各施設相互間の緊密な連携体制を確保します。

また、臨床研修協力施設の研修実施責任者についても、これに準じて本委員会への参加を求めます。

② プログラム責任者

全研修期間を通じて、個々の研修医の指導・管理を行います。

③ 副プログラム責任者

プログラム責任者を補佐するために、研修医20名について1名の副プログラム責任者を置きます。

更に、当院では研修医に対する教育、指導、研修だけではなく、指導医の教育にも力を注いでいます。それはどのように優れたプログラムであっても、最後は指導医と研修医の人間関係が重要と考えるからです。年1回行われる指導医講習会は、全国から選りすぐりの講師を招き、効果的な指導法を身につけた指導医を育成しています。

修了認定

研修管理委員会は、研修の修了に際し、当該研修医及び各研修科目の指導医からの報告に基づき審査を行い、課程を修めたと認めた場合は当院病院長、研修管理委員長連名による臨床研修修了証を交付します。また、修了と認めがたい場合は、理由を付して、その旨を当該研修医に通知します。なお、事情により研修を中断する場合は、臨床研修中断証を交付します。

各種講習会

2年間の研修期間中に、以下の講習会等の受講を必修としています。

- ・当院在職中の職員必修講習
- ・緩和ケア研修
- ・2次救命講習（ACLS、ICLS、JMECC）
- ・当院開催のCVC講習会
- ・その他、研修修了に必要な講習会

地域医療研修

2年目の必修科目である地域医療研修の充実にも力を注いでおり、以下の地域医療プログラムから選択できます。地域医療研修期間中に一般外来研修を合わせて実施します。

神戸市医師会地域医療プログラム	公立神崎総合病院地域医療プログラム
兵庫県立丹波医療センター（丹波市健康センターミルネ）地域医療プログラム	陶病院地域医療プログラム
へき地医療プログラム	医療法人そよかぜ地域医療プログラム
公立宍粟総合病院地域医療プログラム	天草地域医療センター地域医療プログラム
名瀬徳州会病院地域医療プログラム	

※各施設の入受体制により希望の研修ができない場合があります。

院外救急研修

一般コース2年目研修医に限り、以下の2施設で院外救急研修を実施することが可能です。

兵庫県災害医療センター 兵庫県立加古川医療センター

※各施設の入受体制により希望の研修ができない場合があります。

一般外来研修

一般外来研修を2年目に実施する場合、以下の施設での実施を予定しています。

新須磨病院 済生会兵庫県病院 西脇市立西脇病院 兵庫県立丹波医療センター（丹波市健康センターミルネ）

※各施設の受け入れ体制により希望の研修ができない場合があります。

地域医療研修 report

たすきがけコース 織田 陽里 先生（2023年度採用）

私は地域医療研修でへき地医療プログラム（公立浜坂病院）を選択しました。浜坂病院は神戸から車で北に3時間ほどに位置し日本海に面した自然が豊かな土地にある病院です。研修は救急対応、外来診療、入院管理、訪問診療、訪問看護といった医療の様々な場面を経験することができる非常に有意義なものです。

外来診療では、当日初診で受診された患者の対応を行います。具体的には、病歴の聞き取り、身体診察、検査や処方のオーダーなどを自身で行い、上級医にアセスメントを報告し最終判断に至るというものです。訪問診療・訪問看護では患者さんの自宅に直接出向き、問診・診察・処方などを行います。地域性特有の老々介護の実際や終末期の患者並びにご家族に医療従事者がどのようにケアしていく必要があるのかを知る貴重な機会になると思います。

地域医療研修ではへき地医療プログラム以外に様々なプログラムがあり、中には神戸市内で毎日異なった病院に行く神戸市医師会地域医療プログラムもあり、自分に合った興味のあるプログラムを自由に選択出来ることも魅力だと思います。市中病院・大学病院とはまた違った症例・考え方を学べるいい機会になると思います。

各コースの特徴

● 一般コース（14名）

年	1年目（神大病院）					2年目（神大病院）				
最小週数	12週	8週	8週	12週	8週	12週	4週	4週	4週	24週
ローテート診療科	内科	救急	必修分野 外科	必修分野 ・小児科 ・産婦人科 ・精神科	選択科目	内科	救急	地域医療	一般外来	選択科目

大学病院において2年一貫の研修を行うコースであり、各診療科等の指導経験豊富な指導医のもとで、プライマリ・ケア技術修得に必要な一般症例から、大学病院ならではの高度な症例まで幅広い経験が可能となっています。

また、2年目の選択科目では将来の進路に応じた研修プログラムが可能となっており、高度先進医療を含めた専門性の高い研修が可能です。

※内科24週（4診療科を各6週）のうち、総合内科（6週）を必修とします。

※必修分野のうち、外科の研修期間は8週とします。

※一般外来研修は院外で実施します。

※選択科目は自由に組み合わせが可能です。ただし、研修期間内に到達目標を達成できるよう診療科を選択する必要があります。

● たすきがけコース（47名）

年	1年目（協力型病院）			2年目（神大病院）			
最小週数	24週	12週	12週	0-16週	4週	4週	24-40週
ローテート診療科	内科	救急	必修分野 または 選択科目	必修分野	救急	地域医療	選択科目
	一般外来						

1年目をたすきがけ病院で、2年目を大学病院において研修を行うコースであり、一般症例数に恵まれた一般病院と高度症例数に優れた大学病院の双方を経験できます。1年目には豊富な一般症例によりプライマリ・ケア技術修得が可能となっています。

また、2年目の選択科目では、将来の進路に応じた研修プログラムが可能となっており、高度先進医療を含めた専門性の高い研修が可能です。

※1年目の救急研修期間に関わらず、2年目に救急研修（4週）を必修とします。

※選択科目は自由に組み合わせが可能です。ただし、研修期間内に到達目標を達成できるよう診療科を選択する必要があります。

※1年目に研修できなかった科目は、2年目を実施します。

【内科(必修)】

総合内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、膠原病リウマチ内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、腫瘍・血液内科、感染症内科

【外科(必修)】

食道胃腸外科、肝胆膵外科、乳腺内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科

※各コースにおけるローテート順は、各診療科の受入状況等を考慮したうえで研修医ごとに決定します。

※たすきがけコース、小児科医育成コース、協力型病院を選択した産婦人科医育成コース1年目は各研修病院の診療体制に従います。

● 小児科医育成コース（2名）

年	1年目（協力型病院）			2年目（神大病院）			
最小週数	24週	12週	12週	8週	16週	4週	20週
ローテート診療科	内科	救急	小児科	必修分野 ・小児科 ・精神科	必修分野 ・小児外科(8週) ・産婦人科(8週)	地域医療	選択科目 小児科
一般外来							

小児科の専門医育成に重点を置いたプログラムであり、プライマリ・ケア技術修得を特に重視したプログラムを提供することにより、豊富な症例経験と、大学病院ならではの高度な症例まで幅広い経験が可能となっており、1年目を協力型病院（加古川中央市民病院予定）、2年目を大学病院において研修を行います。

本コースでは、1年目に内科24週、救急12週、小児科12週の研修を行い、2年目に小児科および精神科を4週、外科（小児外科）および産婦人科を8週研修するものと定めています。

選択科目は、基本的には小児医療センターで研修となりますが、将来の思春期・若年成人診療を見据えた履修先の変更希望がある場合、相談に応じます。

● 産婦人科医育成コース（2名）

年	1年目（神大病院または協力型病院）			2年目（神大病院）				
最小週数	24週	12週	4-8週	12週	12-16週	4週	4-8週	12-24週
ローテート診療科	内科	救急	必修分野 または 選択科目	産婦人科	必修分野 ・小児科(4-8週) ・外科(4週) ・精神科(4週)	地域医療	病院必修 麻酔科	選択科目 産婦人科関連診療科 など
一般外来								

産婦人科の専門医育成に重点を置いたプログラムであり、プライマリ・ケア技術や豊富な症例経験と大学病院ならではの高度な症例経験が可能です。周産期、婦人科腫瘍、生殖・内分泌、女性ヘルスケアの分野がある産婦人科を専門とするうえでも、幅広い関連診療科の知識と技能の修得は非常に重要です。「大学病院において2年一貫の研修」または「1年目を協力型病院（加古川中央市民病院・兵庫県立丹波医療センター・兵庫県立はりま姫路総合医療センター・兵庫県立淡路医療センターから選択）、2年目を大学病院において研修」のいずれかから選択が可能で、2年目は産婦人科プログラム担当者と相談して希望する関連診療科を幅広く選択できる自由度の高いプログラムを設定し、自分だけのオーダーメイドプログラムを作成することが可能です。

※ 1年目に大学病院での研修を選択した場合は、1年目に小児科・外科・精神科（2年目の必修分野）や麻酔科（病院必修）で研修することが可能です。

※ 2年目のはじめに産婦人科を4週または8週研修します。なお、2年間で12週以上の産婦人科研修が必要となります。

【選択科目】

総合内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、膠原病リウマチ内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、腫瘍・血液内科、感染症内科、放射線診断・IVR科、放射線腫瘍科、小児科、皮膚科、精神科神経科、緩和と支持治療科、食道胃腸外科、肝胆膵外科、乳腺内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、産科婦人科、形成外科・美容外科（形成外科）、麻酔科、救命救急科、病理診断科、リハビリテーション科

充実した学習環境

研修医室



自習室（2年目）



多目的スペース（2年目）



自習室（1年目）



仮眠室



図書館

地域医療活性化センター

神戸大学医学部附属地域医療活性化センターは、神戸大学と兵庫県が一体となって、地域医療を担う医療人材の卒前から卒後に至る一貫した教育研修を担うことにより、地域の医療充実に邁進する優れた医療者を養成することを大きなミッションとして、2014年4月に設立しました。



外観



臨床基本技術トレーニングセンター



先端外科医療・内視鏡トレーニングセンター



CVC講習会



救急講習会



豚を使用した手術トレーニング

院内設備等



カフェ



コンビニエンスストア



福利厚生施設



体育館



院内食堂



ATM

勤務環境



シャワー室・洗面台完備



仮眠室完備



冷蔵庫・電子レンジ完備



更衣ロッカー貸与



個人用机貸与



白衣クリーニング（週1回無料）



医療情報端末貸与



院内PHS貸与



学会参加補助あり



医師賠償責任保険法人加入



ベストレジデント表彰あり



病棟クラーク配置

医療安全のための技術トレーニング研修

・採血器具の取扱い実習 ・ME機器（輸液ポンプ）講習 ・グラム染色講義・実習 ・その他基礎的な講義等



救急講習会

一次救命処置について学ぶ「BLS・AED講習会」や、二次救命処置を学ぶ「ICLSコース（日本救急医学会認定）」、「JMECC（日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会）」、「神戸大学ISLSコース（脳卒中初期診療教育コース）」等、様々な講習会を定期的に行っています。



CVC講習会

CVC（Central Venous Catheter：中心静脈カテーテル）の取り扱いの標準化を図るため、CVC講習会を開催しています。



外科ハンズオンセミナー 年3回開催（2024年度実績）





研修医ミーティング

医師としての基本的知識に加えて、大学病院ならではの幅広い診療科・視点からのセミナーをオンデマンド形式で1年にわたってプログラムしています。講師には教授から後期研修医、そして直近の先輩である2年目研修医、看護師と多岐にわたって登壇していただきます。知識を習得すると共に多くの先輩に出会い多面的な視野に触れて、自分の目指す医師像をより深みのあるものにしていただきたいと思います。

研修医の投票によりベストレクチャーを選出し、修了式で表彰します。また、当院在職中に8割以上の受講を必修としています。

message

初期研修の2年間に幅広く医学知識を習得することは、臓器別に細分化された現在において、将来どの診療科に進もうとも大事なことだと思います。研修医ミーティングでは、いろんな診療科や職種から日常診療で重要なテーマを30分に凝縮して講義してくれています。書籍やWEBレクチャーなどが溢れ、知識習得へのアクセスが容易な昨今ではありますが、各講師陣がこれだけは知ってもらいたいという内容を、分かりやすくポイントを絞って解説してくれていますし、2024年度は完全オンデマンドでの開催につき、空いた時間に何度でも繰り返し視聴できます。是非とも視聴してレベルアップの一助にして頂けたらと思います。



2024年度 殿堂入り
I期ベストレクチャー
乙井 一典 先生
(総合内科)

message

自分も医師になりたての頃はエキスパートの先生方から多くの事を教えて頂きました。特にベテランの先生方の経験から導き出されたtipsは外科医になった今でも診療の支えとなっています。皆さんのこれからのご活躍を心よりお祈りしています。



2024年度
II期ベストレクチャー
澤田 隆一郎 先生
(食道胃腸外科)

message

研修医ミーティングは医師を中心とした講師ですが、管理栄養士の私も講師としてお話しさせていただいています。

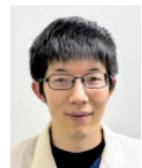
栄養はさまざまな疾患においても身体の基盤として重要で、全ての診療科に栄養管理は必要です。超高齢化社会を迎え、入院前から低栄養であることが多いため、栄養管理は治療と並行して行います。私が担当している「経腸栄養」について、経腸栄養剤は種類が多く医療機関によっても使用するものが違うため、ちょっとした疑問に直面することが多いと思いますが、教科書には載ってない実践的な内容も取り入れています。私自身も知識習得のため研修医ミーティングをこっそり聴講しています。是非活用してみてください。



2024年度
II期ベストレクチャー
田淵 聡子 先生
(栄養管理部)

message

近年は診療科の細分化が進み、各領域の専門性もますます高まってきている中、研修や私生活と両立して効率的な自主学習を行うのはなかなか大変です。研修医ミーティングはそんな研修医たちをサポートする企画です。各分野の講師が30分程度のレクチャーを行い、研修医の皆さんに「これだけは知っておきたい」内容をお伝えしています。各科、各職種のプロフェッショナル選りすぐりの情報を短時間で得られ、一年で幅広い分野の知識を得られる素晴らしい機会です。多忙な研修医のために、アーカイブで後からの視聴も可能になっています。皆さんにはぜひ参加して見聞を広げていただき、将来の医師生活に役立てていただけたら幸いです。



2024年度
III期ベストレクチャー
西内 健太郎 先生
(放射線診断・IVR科)

2024年度研修医ミーティング年間スケジュール

	タイトル
I 期	消化器内科救急診療のイロハ～これさえわかれば腹痛はこわくない!?～
	ステロイド治療のマネジメント
	重症患者の栄養療法：栄養は万病に効く！
	肺機能検査について
	酸素療法について
	心エコーレポートの見かた
	誰でも読めるカンタン！心電図（初級編）
	30分でわかるバイタルサインの役立つポイント in 2024
	30分でわかる身体診察の役立つTips in 2024
	予防接種 update2021
	社会復帰支援・退院支援
	アドバンス・ケア・プランニング ～これからの医療・ケアに関する話し合い～
	虐待への対応
	リハビリテーション診療について
チーム医療の推進～研修医の心得～	
研修を始めるにあたって覚えておくべきこと	
II 期	乳腺診療の基礎知識
	きずのプライマリーケア
	関節痛へのアプローチ
	急性腹症の初期診療
	腰痛について
	骨折診療の基本
	不眠
	せん妄
	自撮りナマ映像で見る災害医療の実際－医者人生で1回くらいは巻き込まれるその時のために知っておいたほうがいいこと－

	タイトル
II 期	結局何を選ぶ？これだけはおさえておきたい経腸栄養剤の使い方！
	GLIM基準と病態別栄養管理
	眼科救急疾患
	感染症内科
	漢方内科
	シンプルなインスリンの選び方・使いかた
	腎不全のマネジメント2024
III 期	CBCの読み方考え方
	Oncologic Emergency
	LLMsの衝撃 我々はどう付き合うべきか
	胸部単純X線写真
	心電図検定に挑戦！～心筋疾患を推理する～
	てんかん
	膵臓について
	肝臓外科手術の魅力
	耳鼻科救急疾患
	嚥下機能評価と気管カニューレについて
血液透析患者の見かた	
腎不全患者の見かた	
地域医療に携わる医師に必要なリハビリテーションの知識	
外用剤・創傷被覆材の選び方	
医科研修医にも知っておいてほしい①口腔内環境と全身のかかわり～オーラルフレイルについて～②周術期口腔機能管理について	

青字は研修医による発表
赤字はベストレクチャー





医師臨床研修修了式

研修修了時には医師臨床研修修了式において修了証書を授与します。また、研修医、指導医、その他関係職員の投票により、ベストレジデント、ベストティーチャー、ベスト病棟、サンクス診療科を選出し、修了式で表彰しています。



◆ 歴代ベストレジデント ◆

選出年度	氏名	採用年度
2024年度	山内 朋紀	2023年度採用
	乾 悠介	2023年度採用
	小林 知貴	2023年度採用
	宮本 留奈	2024年度採用
2023年度	大村晃太郎	2022年度採用
	國井 翼	2022年度採用
	山川惇之介	2022年度採用
	山内 朋紀	2023年度採用
2022年度	久野 寛人	2021年度採用
	古結 裕之	2021年度採用
	佐保 航	2021年度採用
	國井 翼	2022年度採用

◆ 歴代ベストティーチャー ◆

選出年度	氏名	診療科
2024年度	乙井 一典	総合内科
	山田 勇	救命救急科
	神田 知紀	放射線診断・IVR科
2023年度	山田 勇	救命救急科
	猪野木雄太	小児科
	乙井 一典	総合内科
2022年度	神田 知紀	放射線診断・IVR科
	山田 勇	救命救急科
	森 健太	総合内科
	小谷 穰治	救命救急科

message

今年度のベストティーチャーに選出していただき、ありがとうございました。毎年なぜか光栄にもこの賞をいただいているのは、研修医へのレクチャーや実技指導の内容が評価されているのではなく、プログラムで救命センター研修が必須となっている事が大きな要因とは思っています（少々自虐的ですが）。しかしながら研修医の教育指導は、自分自身にとって大学で働く大きな理由です。教育においてシステマティックである事は非常に重要ですが、そこにスピリッツとマインドが無ければ、血の通った教育にはなりません。研修医を導き諭し見守るだけではなく、時には「不適切にもほどがある」指導となろうとも一緒に悩み、汗をかき、涙を流すことが非常に重要と考えております。半面教師であったとしても、これから無限の可能性を秘めた研修医の先生たちの役に少しでも立ちたいと常に思っています。みずから規範を示せるような立派な医師ではありませんでしたが、「良き医師」とは何なのか？ という事に悩む事が必ずあります、そんな時に神戸大学での指導医として記憶の片隅にでも思い出していただければと存じます（半面教師でも）。



2024年度
ベストティーチャー
山田 勇 先生
(救命救急科)



先輩研修医からのメッセージ

message

一般コースについて

一般コースチーフレジデント 井上 未紗子 先生（2023年度採用）

一般コースは、大学病院で2年間研修を行います。研修開始当初、大学病院での研修は市中病院と比較すると専門的な疾患やプロブレムが複雑な症例が多く、研修医に荷が重い環境であると考えていました。しかし、指導体制が整っているため、積極的に診療へ関わることで、医療現場で求められるスキルを学び、今後のキャリアに向けての基盤を築くことができたと感じています。自分の経験した症例を学会発表する機会もあり、アカデミックな観点から症例に対する理解を深めることができました。また、経験豊富な先生方と関わる機会が多く、今後の医師人生の目標となる方々と出会うことができました。

皆さんもぜひ、2年間の大学での研修も選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。いつでも見学をお待ちしております。

message

たすきがけコースについて

たすきがけコースチーフレジデント 森元 陽 先生（2023年度採用）

たすきがけコースは、研修医が2つの医療機関を「たすきがけ」するように研修することができるコースです。通常の臨床研修では、研修医は一つの病院で研修を行います。たすきがけコースでは、神戸大学医学部附属病院と協力している複数の病院や施設から一つを選び1年間研修を行います。そのため、1年目をcommon diseaseを幅広く経験できる病院や、救命救急に力を入れている病院、自分の進みたい診療科が強い病院などを選ぶことができ、2年目は大学病院でしか経験することができない症例や最先端の医療を学ぶことができます。私自身も1年目の市中病院で一般的な症例や地域に根差した医療をたくさん経験でき、2年目で専任の指導医やメンターのもと、フィードバックを受けながら研修し、自身の成長を実感しました。また、2つの病院で研修することで同期や知り合いの数も増え、充実した研修生活を送ることができました。是非たすきがけコースでの研修も考えてみてください！

message

小児科医育成コースについて

小児科医育成コース 小田木 瑞樹 先生（2023年度採用）

小児科医育成コースは、1年目に一般小児とNICUを3ヶ月じっくり学べます。2年目には、小児外科や産婦人科など、小児科と深く関わる科を経験でき、とても充実した2年間になります。加古川中央市民病院での1年目では、内科研修6ヶ月と救急科3ヶ月を通じて、さまざまな手技や主体的な病棟管理を学べます。2年目の大学病院では、難病や希少疾患の最新医療に触れ、専門医取得後の自分のサブスペシャリティや進路を考える良い機会になります。また、学会発表や論文作成のチャンスもあります。初期研修後の自分の姿をイメージしやすいのが、このコースの大きなメリットだと感じました。ぜひ、一緒に神戸で小児科医を目指しましょう！

message

初期研修2年を振り返って

一般コースチーフレジデント 山内 朋紀 先生（2023年度採用）

初期研修医としての2年間は、非常に充実していました。私は一般コース卒で入社させていただきましたが、1年目の前半は、社会人として適切な行動をしたり、大学病院のシステムに順応したりと、医療以外の面で悪戦苦闘しました。後半になると少しずつ環境に慣れてきましたが、自分の知識のなさや鈍臭さに落ち込むことが多かったです。ただ、2年目になると、後輩が入職し、頼られることが増えました。そこからは、自分がしっかりしないといけないという気持ちが強くなり、自ずと行動が変わっていったように思います。

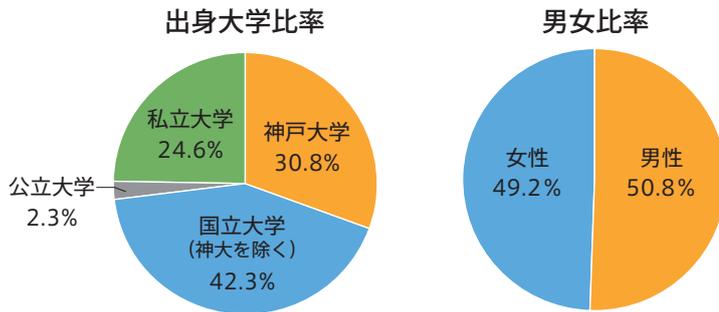
今後研修医として働く方々には、自分のペースを崩さないようにしていただきたいです。1年目は上級医やコメディカルの方々、先輩研修医の姿を見て成長し、2年目はそれに加えて、学んだことを後輩に還元していくことが大切です。研修医の仲間と切磋琢磨しながら、充実した研修を送ってください。常に新たな知識、学びを求めつつ自分なりのペースで頑張ってください。



データで見る神戸大学病院のプログラム

在籍研修医データ

(2024-2025年度採用)



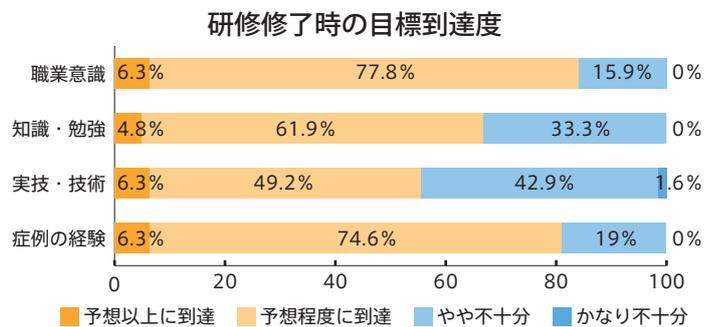
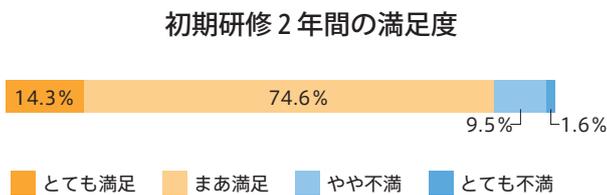
採用実績

単位：人

コース	採用	2024年度採用		2025年度採用		
		出身大学 神戸大学	他	採用	出身大学 神戸大学	他
一般	14	4	10	14	4	10
たすきがけ	47	17	30	47	11	36
小児科医育成	2	1	1	2	1	1
産婦人科医育成	2	1	1	2	1	1

研修修了時アンケート結果

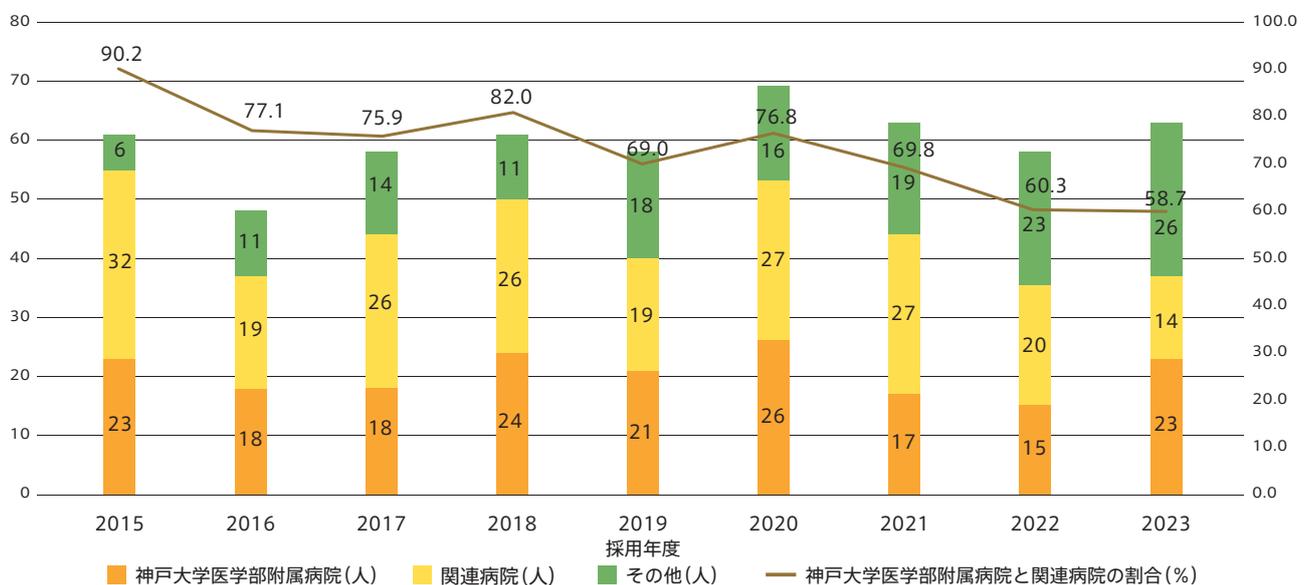
(2023年度採用)



神戸大学で研修して良かったこと

- ・指導医が多くいるため、放任されることが少なかった。研修医のうちには未熟な部分が多いため、手厚くサポートしていただけただけことは非常にありがたく、安心して研修ができた。(一般コース)
- ・診療内容から先生方の生活まで、大学病院で働く医師の実際を見ることができた。また先輩や同期の数が多く、様々な方と関わられた。(一般コース)
- ・大学病院でしかみられないような症例をたくさんみられる点や、カンファレンスで上級医の先生方の考えをたくさん勉強できた。(たすきがけコース)
- ・マイナー外科志望のため、症例も豊富で学びやすかった。(たすきがけコース)
- ・同期が多く切磋琢磨できる仲間が増えた。(たすきがけコース)

研修修了者の進路





メンタリングプログラム

メンタリングプログラムは、メンター（経験豊かな先輩医師）が相談相手となり、メンティー（研修医）の悩み事の解決に向けた助けとなるとともに、研究・教育及びワークライフバランスの向上や職場環境の整備を目的としています。メンター／メンティーの希望に沿って、総合臨床教育センターでマッチングを行います。

対応可能な相談については、専門医の取得、留学、大学院進学から医師としての心構え、子育て等多岐に渡ります。詳細および最新情報は以下をご覧ください。

●医科メンタープロフィール

https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/kenshu/mentoring/im_detail.php?im=block_detail&block_info_id=377



総合内科
乙井 一典

1999年卒業
和歌山県出身
趣味：テニス

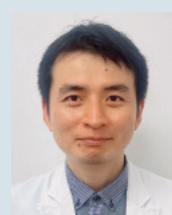
ライフプラン含め、キャリア形成に関して、ちょっとでも皆さんの参考になればと思っています。



総合内科
合田 建

2014年卒業
愛知県出身
趣味：温泉・旅行
フットサル・ウィンド
サーフィン部でした。

地域医療、総合診療を中心に研修指導しています。
学会でキャリア支援の担当をしており、プライベートでは3児の父です。



循環器内科
伊澤 有

2009年卒業
長野県出身
趣味：ウィンドウ
ショッピング

みなさんは将来性の塊です。



循環器内科
福田 旭伸

2006年卒業
豊中市出身
趣味：スポーツ観戦・
キャンプ・ネットフ
リックス

何でも気軽にご相談ください。



循環器内科
久松 恵理子

2006年神戸大学卒業
大阪府出身
趣味：テニス・映画
鑑賞・音楽

一緒に頑張っていきましょう。



腎臓内科
後藤 俊介

2003年卒業
鹿児島県出身
趣味：歌うこと

研修のサポートになれるよう頑張ります。



腎臓内科
藤井 秀毅

1998年卒業
大阪府出身
趣味：スポーツ（現
在は観戦のみです
が…）・映画鑑賞

医師としてのキャリアについて、スキルを延ばすコツなど伝えられることを伝授できればと思います。気軽に聞いて下さい!!



腎臓内科
河野 圭志

2004年卒業
広島県出身
趣味：野球観戦

幅広い分視野で患者を診れる医師を目指して研修頑張ります。



呼吸器内科
立原 素子

2000年卒業
兵庫県出身
趣味：旅行・ウィン
ドサーフィン

新しい人生のステージの幕開けですね。何でも相談にのります！



メンタリングプログラム



呼吸器内科 永野 達也

2003年卒業
岡山県出身
趣味：美味しいものを食べる

若い先生たちの力になれば幸いです。気軽に相談ください。



呼吸器内科 桂田 直子

2005年卒業
神戸市出身
趣味：おいしいものを食べる

呼吸器内科はとても興味深いですよ！



呼吸器内科 羽間 大祐

2010年卒業
大阪府出身
趣味：スポーツ観戦・テニス・読書

市中病院での研修、大学病院での勤務、大学院での基礎研究、教員としての仕事、などを経験してきました。



呼吸器内科 矢谷 敦彦

2015年卒業
兵庫県神戸市出身
趣味：野球観戦

当院で初期研修を行いました。気軽にご相談ください。



膠原病リウマチ内科 上田 洋

2006年卒業
兵庫県西宮市出身
趣味：テニス・植物・旅行・飲食

私自身も手探りではありますが、比較的自由に生きてきました。何か参考になることが有れば幸いです。



膠原病リウマチ内科 西村 啓佑

2007年卒業
姫路市出身
趣味：絵画鑑賞

進路や仕事の面で悩んでいるときはお気軽にお声がけください。



膠原病リウマチ内科 山田 啓貴

2010年和歌山県立医科大学卒業
神戸市出身
趣味：ビデオ鑑賞・アニメ鑑賞・なんでも観察して法則をみいだすこと

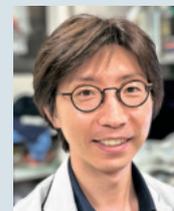
膠原病リウマチ内科の山田です。家庭では3児の父として子育て奮闘中です。膠原病内科領域（免疫学分野）は研究もホットな話題が多く臨床分野での応用も進んできており、今まさに注目すべき学問分野です。興味があれば何でも聞いてください。



消化器内科 渡邊 大輔

2005年卒業
愛知県出身
趣味：旅行・読書

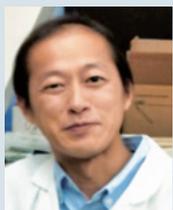
消化器内科で、炎症性腸疾患を担当しています。これまでに、日本学術振興会の特別研究員・海外特別研究員に採用された経験があり、ミシガン大学に留学歴があります。研究に興味がある方、特に腸内細菌・腸管免疫ですが、是非、よろしくお願い致します。



消化器内科 松浦 敬憲

2008年卒業
大阪市出身
趣味：ゴルフ・カタログを読み漁る

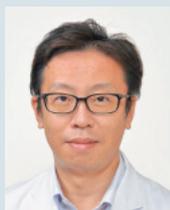
外科にいかこうと思ってたのに内科医になって、市中にずっといようと思ってたのに今は大学になぜかいます。なんでも聞いてくださいね。



消化器内科 増田 充弘

2000年卒業
兵庫県出身
趣味：旅行

研修医生活や将来のことで不安に思う事があれば、気軽に相談ください。楽しく充実した研修医生活を送りましょう！



消化器内科 大井 充

2003年卒業
兵庫県出身
趣味：仲良くなったら教えます。

- ・メジャー内科はしんどののではないかな。
- ・子育てしながら仕事はできるのかという心配がある人、募集しています。



消化器内科 塩見 優紀

2002年卒業
兵庫県出身
趣味：スポーツ観戦・高校野球観戦

育児をしながら勤務しています。気軽にご相談ください。



消化器内科
小林 隆

2005年卒業
兵庫県姫路市出身
趣味：キャンプ・ア
クアリウム

仕事も私生活も激動するタイミングで悩み事
も多いでしょう。私もそうでした。あなたひ
とじゃない。是非お気軽にご相談ください。



消化器内科
酒井 新

2005年卒業
神戸市須磨区出身



糖尿病・内分泌
内科
菅原 健二

2009年卒業
秋田県出身
趣味：動画鑑賞

気軽に相談してください。



糖尿病・内分泌
内科
坂東 弘教

2007年卒業
大阪府出身
趣味：読書

進路や仕事の面で悩んでいるときはお気軽に
お声がけください！



糖尿病・内分泌
内科
山田 倫子

2010年卒業
愛知県出身
趣味：バレーボール・
今は子ども

息子 3 人の育児をしながら働いています。お
気軽にご相談ください。



糖尿病・内分泌
内科
穂積 かおり

2015年卒業
兵庫県出身
趣味：映画・アニメ・
音楽鑑賞

お気軽にご相談ください。



脳神経内科
的場 健人

2012年神戸大学卒業
奈良県出身

初期研修は神戸大学の襷掛け、ほぼ毎月診療
科を変えてローテーションしていました。地
域研修で北海道の療養型病院へ行ったのがよ
い思い出です。



脳神経内科
古東 秀介

2010年卒業
兵庫県神戸市出身
趣味：子と遊ぶ

4 つの関連病院で働いてきた経験から、少し
でもよいサポートができればと思います。気
楽にお声掛けください。



脳神経内科
森本 耕平

2012年卒業
兵庫県明石市出身
趣味：音楽鑑賞・お
いしいごはんやお菓
子を探すこと

将来のことにつき、気軽にご相談ください。



腫瘍・血液内科
薬師神 公和

1997年卒業
神戸市出身
好きなもの：コーラ

一緒にいろいろ考えていきましょう。



腫瘍・血液内科
清田 尚臣

1999年卒業
兵庫県出身
趣味：こはる(ゴールデ
ンレトリバー)と遊ぶ

気軽にご相談下さい。



腫瘍・血液内科
金原 史朗

2010年卒業
姫路市出身
趣味：文房具集め

気楽にご相談ください。



メンタリングプログラム



腫瘍・血液内科
長谷 善明

2009年卒業
大阪府出身
趣味：野球観戦・ゴルフ

何でも気軽にご相談ください!!



腫瘍・血液内科
倉田 啓史

2011年卒業
山口県出身
趣味：娘と遊ぶこと

気軽にご相談下さい。



腫瘍・血液内科
小山 泰司

2008年卒業
愛知県名古屋出身
趣味：フットサル・スキー・e-Sports

複数領域専門医を取得している特殊な立場から、何か参考になることができればと思います。気軽にご相談ください。



感染症内科
大路 剛

1998年卒業
関西地方出身
趣味：工作全般・物書き・読書・旅

アウトローな人生を歩んできていますのでできる限り相談に乗ります。



感染症内科
岩田 健太郎

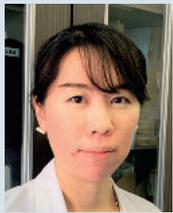
1997年卒業



放射線診断・IVR科
神田 知紀

2003年卒業
兵庫県加古川市出身
趣味：漫画・温泉

研修医のサポートになれるようお手伝いします。



放射線診断・IVR科
上野 嘉子

2005年卒業
兵庫県姫路市出身



放射線腫瘍科
宮脇 大輔

2002年卒業
鹿児島県出身
趣味：ガーデニング・家庭菜園

実現した目標や夢、こんなふうになれたらいいなあという漠然とした願いがあると思います。そういった目標に一步でも近づけるように、仕事・生活・対人関係・進路など、様々な面でサポート出来たら良いと思っています。



放射線腫瘍科
石原 武明

2005年卒業
岡山県出身
趣味：子供をどこかへ連れて行くこと・TOEIC・読書(ジャンルはありません)

初期研修の2年間は色々悩む時期だと思います。学生の時に思い描いた医者の像実際に働いてみた現実とは違うのも現実。医者はこうあるべきという考えは今にはそぐわないかもしれません。皆さんの思い描くライフスタイルに合わせて将来の専門分野を選ぶのも悪くありませんよ。1度きりの人生、いろんなことを学びたいですから。



放射線腫瘍科
妹尾 悟史

2012年神戸大学卒業
島根県出身
趣味：スキューバダイビング

放射線腫瘍科の妹尾(せのお)です。初期研修中は理想と現実の違いを実感し、進路など色々悩む時期だと思います。少しでも進路を決める手助けとなればと思いますので、気軽に相談してください。



小児科
芦名 満理子

2012年卒業
兵庫県明石市出身
趣味：音楽・洋服

遠慮なく何でも気軽に相談してください。



小児科
堀之内 智子

2010年卒業
広島県出身
趣味：音楽鑑賞

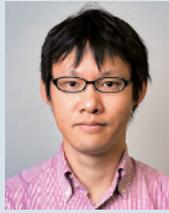
何でもざっくばらんに聞いてください。



皮膚科
福本 毅

2005年卒業
兵庫県姫路市出身
趣味：食事

何でも聞いてください。少しでもお役に立てると幸いです。



皮膚科
小野 竜輔

2001年卒業
兵庫県明石市出身
趣味：テニス・DIY・
お酒・料理

専門は色素性乾皮症、光線過敏症ですが幅広く皮膚疾患の診療をしています。健康を維持しながら、医師として長く働けるようなアドバイスをしたいと思います。



皮膚科
中谷 祥子

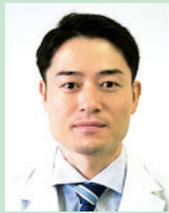
2015年卒業
兵庫県出身



食道胃腸外科
池田 太郎

2011年卒業
大阪市出身
趣味：野球観戦

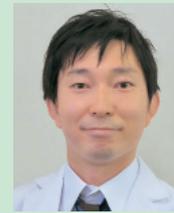
困ったことがあれば気軽にご相談ください。



食道胃腸外科
青木 文明

2010年卒業
長崎県出身
趣味：サッカー観戦・
読書

診療科選択、キャリアパスなど何でも気軽にご相談ください。



食道胃腸外科
小寺澤 康文

2011年卒業
兵庫県加古川市出身
趣味：スポーツ観戦・
子育て

一生懸命頑張ります。



肝胆膵外科
小松 昇平

2002年卒業
兵庫県出身
趣味：野球・アメリカ
カンフットボール

些細な事でもOKです。何でも気軽に相談してください。



肝胆膵外科
浦出 剛史

2007年卒業
大阪府出身
趣味：剣道・旅行・
温泉

私も神戸大学に初期研修を経験しました。今後のキャリア形成やライフプランなどいろいろな夢や悩みがあると思います。気軽になんでもご相談ください。



肝胆膵外科
南野 佳英

2007年神戸大学卒業
大阪府出身
趣味：読書・スキー・
ゴルフ・カメラ

2007年に神戸大学を卒業し、6年間の札幌での病院で初期・後期外科研修、神戸大学へ大学院で戻り学位を取得、その後3年間の米国留学を経て、現在に至ります。3児の父です。仕事のこと、私生活のこと、何でも気軽に聞いてください。



肝胆膵外科
石田 潤

2008年卒業
愛知県出身
趣味：海で遊ぶ・ギター

妻も消化器外科医ですが、なんとか子供3人育てています。キャリア形成からワークライフバランスまで何でも相談して下さい。



乳腺内分泌外科
三木 万由子

2008年卒業
大阪府出身
趣味：ゴルフ・今は
子供と遊ぶこと

育児をしながら、時短で勤務中です。気軽に相談してくださいね！



心臓血管外科
長谷川 翔大

2014年卒業
西宮市出身
趣味：テニス

愚痴でも何でも聴きます。



メンタリングプログラム



心臓血管外科
長命 俊也

2014年卒業
大阪府出身
趣味：食べ歩き

医師9年目の心臓血管外科医です。経験したこと、見えてきたもの、そしてまだ見えていないもの、そのまま伝えて相談に乗ります。



呼吸器外科
田根 慎也

2006年卒業
大阪府出身
趣味：ランニング・旅行

キャリアの悩みについて、気軽に相談していただければと思います。



呼吸器外科
小川 裕行

2008年卒業
兵庫県出身
趣味：スポーツ観戦

進路や留学のことなど、なんでもお気軽にご相談ください。



小児外科
宮内 玄德

2011年卒業
岡山県倉敷市出身
趣味：釣り

何でも気軽に相談にのります。



小児外科
高成田 祐希

2015年卒業
宮城県仙台市出身
趣味：ピアノ・カレー屋さん巡り

いつの間にか自分がメンターをするような学年になるなんて、月日が経つのは早いなぁとしみじみ感じております。多様性が尊重されるこの時代では、時にはロールモデルがない道を歩む覚悟が必要となるため、それはそれで悩みの種になることでしょう。皆様の悩みをなくすことはできないかもしれませんが、一緒にお話ししながら、解決に向けて何かしらのヒントを見つけてもらえたら嬉しいです。



整形外科
長井 寛斗

2007年卒業
兵庫県出身
趣味：サッカー観戦・ショッピング・淡水魚、エビの飼育

私自身も当院で初期研修を行いました。キャリア形成やライフプランなど、将来に向けて色々な目標や悩みがあるかと思いますが、何でも気軽にご相談頂ければ幸いです。



整形外科
武岡 由樹

2009年卒業
趣味：テニス・スポーツ観戦・音楽鑑賞

神戸大学卒業後、市中病院で初期研修を行い、大学院進学、留学を経て、2021年から大学病院で勤務しています。小児科医の妻と3人の子供がいます。仕事、ワークライフバランス、ライフプランなど、気軽に何でもご相談ください。



整形外科
澤田 良子

2007年卒業
東京都出身
趣味：キャンプ・アウトドア料理・スキー

出産後しばらく手術から遠のいていましたが、子供たちが小学生にあがり、手術を再開しました。様々なライフステージに合わせたキャリア形成について、いっしょに考えていただければと思います。



脳神経外科
木村 英仁

1996年卒業
兵庫県出身
趣味：水泳・ジム

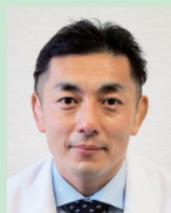
気軽になんでも相談してください。



脳神経外科
田中 一寛

2000年卒業
兵庫県宝塚市出身
趣味：アウトドア(キャンプ)

神戸大学で研修医から専門医取得し、僻地勤務、海外留学の経験もあります。何か相談あれば気軽にご連絡ください。



脳神経外科
魚住 洋一

1999年卒業
兵庫県姫路市出身
趣味：モータースポーツ・ロングボード・美術、音楽鑑賞

患者思いの優しいお医者さんになってください。楽しく人生を謳歌してください。



眼科
三木 明子

2004年卒業
兵庫県出身
趣味：映画鑑賞・音楽鑑賞・ドライブ

子育てママ女医、ワーママです。楽しい研修生活を送るためにそして、将来の不安などサポートできたらと思います。



眼科
盛 崇太郎

2013年卒業
徳島県出身
趣味:ユーロビジョン・
地理 (YouTubeによる世界探訪)

初期研修は一般コースで2年間ここで研修していました。

将来ある若い先生たちの、悩みや夢を共有し、医師として成長できる一助となれば幸いです。一緒に悩んで学んでいきましょう。



眼科
坂本 麻里

2003年卒業
静岡県出身
趣味:音楽鑑賞・ハー
ブ演奏

仕事も家庭も大事にしたい! 欲張りな中1と小5のママです。



眼科
松宮 亘

2006年卒業
宝塚市出身
趣味:サイクリング・
スポーツ観戦

将来の進路や現状について困ったことがあれば気軽に相談して下さい。



耳鼻咽喉・
頭頸部外科
藤田 岳

2005年卒業
神戸市出身
趣味:学生時代はス
キー部でした

妻も小児科医で家庭も仕事もいつもバタバタしていますが、若手の先生方の参考になることも相談に乗れるかもしれません。



耳鼻咽喉・
頭頸部外科
古川 竜也

2008年卒業
神戸市出身
趣味:旅行や食事

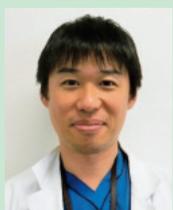
がん治療や嚥下障害を担当し、多科多職種連携業務に多くついてきました。



耳鼻咽喉・
頭頸部外科
上原 奈津美

2007年卒業
和歌山県出身
趣味:おいしいごはん

研修医時代に同期と結婚しました。共働きは大変なところもありますが、お互いに理解し応援しています。今までの経験が皆様の参考になれば幸いです。



泌尿器科
岡田 桂輔

2006年卒業
神戸市出身
趣味:野球観戦・グ
ルメ



泌尿器科
寺川 智章

2002年卒業
兵庫県神戸市出身
趣味:ラグビー

気軽に相談してください。



泌尿器科
兵頭 洋二

2001年卒業
愛媛県出身
趣味:野球観戦



産科婦人科
今福 仁美

2003年卒業
兵庫県出身
趣味:水泳

楽しいことも辛いこともあるのは、何年たっても変わりません。



産科婦人科
長又 哲史

2010年卒業
兵庫県出身
趣味:音楽・野球

神戸大で初期研修をしました。何でも気軽に相談してください。



形成外科
榎原 俊介

2004年卒業
神戸市出身
趣味:子供と自然観察

神戸大学の学士編入学1期生です。編入の方・再入学の方のご相談もお待ちしております。



メンタリングプログラム

形成外科
政岡 浩輔

2007年卒業
広島県出身
趣味：おいしいものを
食べること

市中病院で長く勤務しておりました。何でも気軽に相談ください。

形成外科
掛川 梨花

2017年卒業
大阪府出身
趣味：旅行・漫画・
ゴルフ

神戸大卒、初期研修は市中の病院で修了しました。その後は大学病院および関連病院をローテートしこのたび大学に戻ってきました。何でもお気軽にご相談ください。

救命救急科
高山 和之

2009年神戸大学卒業
大阪府出身
趣味：子供と遊ぶこと・筋トレ

研修医の時期は医師としてのスタートで色々悩みは尽きないと思います。一緒に悩みを共有できる存在でありたいと思います。

救命救急科
大野 雄康

2007年卒業
福島県出身
趣味：研究・読書

救急および麻酔ベースのPhysician scientistとして日々奮闘しています。研究を行いながらどのように働くか、私の経験からアドバイスできると思います。

救命救急科
関 恒慶

2004年卒業
大阪府出身

気軽に相談ください。

病理診断科
上原 慶一郎

2007年卒業
兵庫県出身
趣味：ネットサーフィン

病理診断医の立場からご相談に応じます。



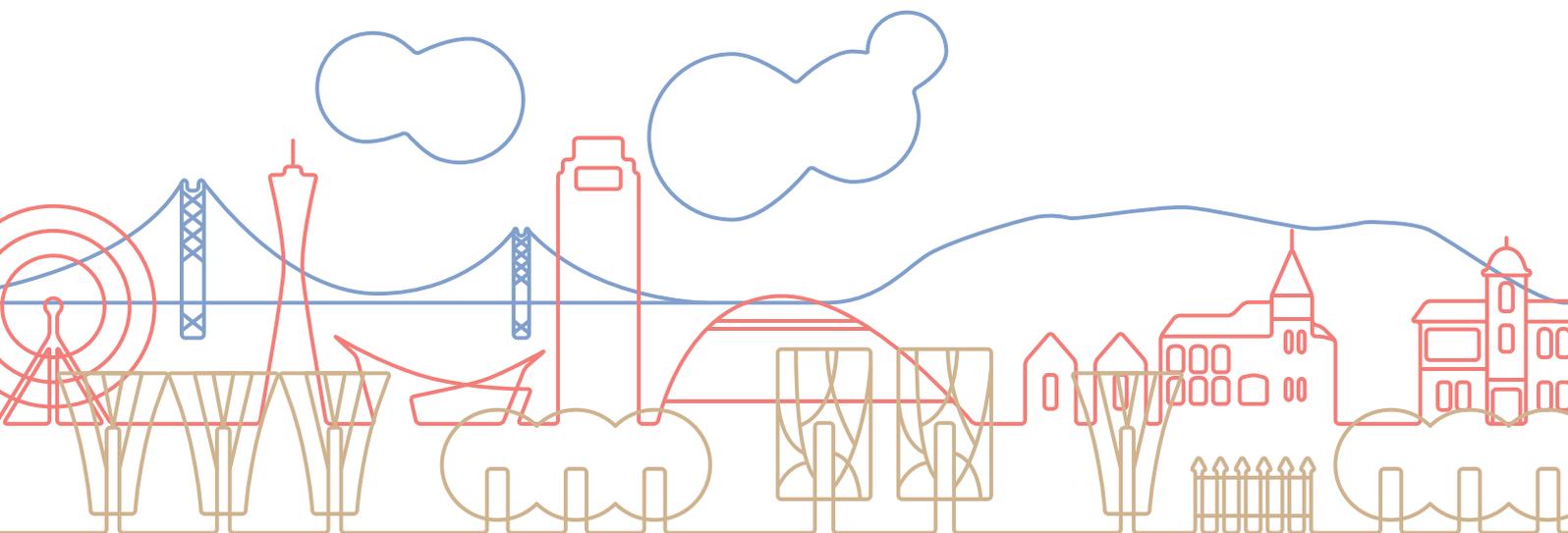
診療科紹介

総合内科	p28	肝胆膵外科	p45
循環器内科	p29	乳腺内分泌外科	p46
腎臓内科	p30	心臓血管外科	p47
呼吸器内科	p31	呼吸器外科	p48
膠原病リウマチ内科	p32	小児外科	p49
消化器内科	p33	整形外科	p50
糖尿病・内分泌内科	p34	脳神経外科	p51
脳神経内科	p35	眼科	p52
腫瘍・血液内科	p36	耳鼻咽喉・頭頸部外科	p53
感染症内科	p37	泌尿器科	p54
放射線診断・IVR科	p38	産科婦人科	p55
放射線腫瘍科	p39	形成外科・美容外科	p56
小児科	p40	麻酔科	p57
皮膚科	p41	救命救急科	p58
精神科神経科	p42	病理診断科	p59
緩和支援治療科	p43	リハビリテーション科	p60
食道胃腸外科	p44		

●若手医師による診療科インタビュー

総合臨床教育センターのホームページでは2019年1月より、「若手医師による診療科インタビュー」を連載しています。毎月1診療科ずつ更新していますので、ぜひご覧ください。

https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/kenshu/mailmagazine/im_detail.php?im=block_detail&block_info_id=374



総合内科



診療科の紹介（特徴や特色など）

内科の専門診療科が揃った大学病院では、診断未確定の患者や、併存疾患が多く全身管理が必要な患者の診療を我々が担うことが多いです。様々な症例を診断から治療まで行う「横断型」の診療スタイルをとり、診療疾患は内科全領域の多岐にわたります。また内科救急のフロントラインとして、救急医療にも携わっていますので、各領域のcommon diseaseは我々が診断から治療まで行いますし、専門的治療を要する場合は専門診療科と協働しながら、シームレスに患者中心の「全人医療」マインドで診療に当たっています。

現在、総合内科を専門とする医師（Generalist as Specialist）、総合内科マインドを持ちつつ何か一つサブスペシャリティを持つ医師（Specialist as Generalist）など、様々な得意分野を持った内科医師が集まっており、診断に難渋するような症例を「ドクターG」のように診断推論していくことは我々の強みであり、また多診療科が関わるような場合は、患者中心の医療実践のため「ハブ」的役割を担っています。つまり臓器別の縦割り診療である現在において、我々の総合内科は様々な専門・得意分野を持った内科医師が協働して、敵（病気）に立ち向かう「アベンジャーズ」のような存在であるべきと考えています。

研修目標

総合内科の研修では、診断推論・重症管理・内科救急等、ジェネラルな診療能力を身につけることを目標としています。またジェネラルな診療能力を身につけるだけでなく、どの分野に進んでも必要となる医師としての「基礎体力」を身につけることも目標としており、その「基礎体力」とはACGME（米国卒後教育認定評議会）で挙げられる以下の6つのコンピテンシーをいいます。

- ・患者をケアする能力
- ・医学的知識
- ・症例から学び、自分を改善する能力
- ・人とのコミュニケーション能力
- ・プロフェッショナリズム
- ・医療・社会制度への理解

研修内容、経験できる症例や手技

主に入院患者の診療を担当します。診断がついていない症例からは、病歴聴取・身体診察・基本検査とその解釈、それらの情報収集から診断にいたる臨床推論を学び、併存疾患を多数有し全身管理が必要な症例からは重症管理を学びます。また救急医療・緊急症例の救急対応なども学びます。さらに疾患の治療、マネジメントのみならず、患者さんの退院後の生活を見据えての退院プランニング、社会サービスの利用なども多職種カンファレンスで学びます。

ジェネラルな診療能力を身につけるだけでなく、common diseaseから各領域の専門疾患、診断に苦慮するような珍しい症例を経験することもできるかと思ひますし、機会があれば学会発表やケースレポートの作成なども経験できるかと思ひます。



診療科長または指導医からのメッセージ



病棟医長 乙井 一典

我々総合内科のミッションは「よりよい医療を提供し、社会に貢献する」ことですが、そのためには我々自身がよい医師になること、そしてよい医師を育てることが重要と考えています。よい医療の定義は様々ですが、患者さんを「幸せ」にすることがよい医療だと我々は考えていますので、そのよ

い医療を行うために医学知識・スキルだけでは十分でなく、どんな分野に進み、どんな病院で働くにしても必要となる「医師の基礎体力」を一緒に身につけていきましょう。



■ 研修時の週間スケジュール

チーム回診・入院診療：主治医団の一員として、チーム回診を毎日行います。また面談・身体診察の仕方、POCUS（Point of Care Ultrasound）のとり方、問題点のアセスメント・プランの立て方を学びます。

内科救急・外来診療：上級医とともに内科救急・外来症例の診察、初期対応を行います。

モーニングカンファレンス：週 2 回 8：30～、受け持ち症例のプレゼンテーションとディスカッションを行います。また他診療科・他施設との合同カンファレンスでは、幅広い知識の習得ができます。

多職種カンファレンス：隔週、主治医団、患者支援センタースタッフ、病棟看護師、理学療法士等が参加し、入院患者の退院に向けた及び退院後のプランを学びます。

医国会・勉強会：週 1 回、スタッフによるレクチャーやM&M（mortality & morbidity）カンファレンス、予演会があります。その他メンバーによるミニレクチャーやMKSAP（米国内科学会問題集）により知識の習得・整理ができます。また月 1 回指導医による診断推論や身体診察の院内オープン勉強会があります。

どんなに忙しくても週に 1 日以上は完全オフの日をとってもらっています。

Message

循環器内科



診療科の紹介（特徴や特色など）

我々循環器内科は、医師が70人程在籍しており、非常に活気のある教室です。様々な subspecialty の専門家（心臓カテーテル治療、不整脈診療、心不全診療、肺高血圧診療、循環器画像診断、基礎研究）が揃っており、一般病院では経験することが少ないまれな疾患や、実施施設が限定されている治療も多く行われており、幅広い研修が可能です。また心不全治療に関しては、心臓血管外科とも協力しながら、高いレベルでの診療を行っております。

研修医教育には特に力をいれており、学会発表、論文作成のサポートを積極的に行っています。また、当科には教育力がある教官が多数在籍しています。初期研修医の先生方の投票による“ベストティーチャー”に選出された教官もいます。

短期間に良質で充実した研修が行えるようプログラムを組んでおります。

研修目標

研修期間中は、特に下記のことが習得できます。

- 内科医として必要な身体診察所見
- 心電図の読解
- 循環器画像診断（心エコー図、CT、MRIなど）
- 各種循環器疾患の治療方針の決定（虚血性心疾患、不整脈、弁膜症、心筋症、重症心不全など）
- 循環器救急疾患・集中治療の対応



研修内容、経験できる症例や手技

病棟ではチーム制で患者を受け持ちます。1チームは研修医を含めて医師は4人です。虚血性心疾患、不整脈、弁膜症、心筋症、閉塞性動脈硬化症、肺高血圧症といった疾患に加え、心臓血管外科とハートチームを形成し、Structural Heart Disease（重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的弁置換術、心房中隔欠損症/卵円孔開存症に対する経カテーテル的閉鎖術、重症僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術）、および慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する肺動脈/バルーン拡張術などにも力を入れています。

近年は重症心不全診療（ECMOやIMPELLAといった経皮的補助循環装置や埋め込み型補助人工心臓）、成人先天性心疾患診療数を伸ばしてきています。また、デバイス感染に対する経皮的ペースメーカーリード抜去術は、兵庫県下有数の症例数です。研修期間中は7日間CCUに配属されます。

■研修時の週間スケジュール

月～金曜日

- ・病棟チーム内での受け持ち患者の回診ならびにカンファレンス

水曜日の8時15分～

- ・CVC（心臓血管外科とのカンファレンス）

木曜日の8時30分～

- ・チャートカンファレンス（循環器内科での全体のカンファレンス）

木曜日のお昼

- ・ランチを食べながらミニレクチャー

その他

- ・各種検査（カテーテル検査や心エコー図検査など）には適時参加してもらいます。

■診療科長または指導医からのメッセージ



病棟医長 谷口 悠

循環器内科病棟医長の谷口です。循環器内科は内科の中でも手技が多く、外科に近い要素があるかもしれません。虚血性心疾患に対するカテーテル治療（PCI）だけでなく、不整脈へのアブレーション治療や心臓弁膜症に対するカテーテル治療も行います。救急疾患も、他の内科と比べると多いかも

しれません。また、神戸大学は兵庫県の循環器診療の「最後の砦」として、他の病院では対処できないような重症の患者さんの救命にあたります。CCU研修も含め、大学で循環器研修をすると、循環器の初期診療はこなせるようになります。ぜひ、我々と神戸大循環器内科で研修を行いましょう。

Message

腎臓内科



診療科の紹介（特徴や特色など）

腎臓病患者は1000万人以上いると言われており、腎臓病はどの診療科でも担当する機会の多い疾患です。当科はそのような腎臓病を専門とする診療科であり、また拠点病院として、一般的な腎臓病から希少疾患まで様々な腎疾患がやってきます。特に数少ない腎移植を経験できる施設となっています。また腎生検組織の検討では腎病理を専門とする病理医と緊密な連携をとることでより詳細な検討を行っています。腎生検や内シャント作成といった腎臓内科に関連する手技も数多く行っています。また腎臓に異常のある方は心血管系、骨ミネラル代謝、貧血など様々な合併症を引き起こしますが、そのような合併症についても対応しています。入院中の血液透析患者の透析の管理も行っています。

研修目標

様々な腎疾患患者を指導医と一緒に担当することにより、腎臓病患者に対する基本的な対応の仕方や考え方を身につけてもらいます。それに加えて臨床医として必要なプレゼンテーションの力を磨いてもらうことも目的としています。



研修内容、経験できる症例や手技

腎臓内科では、数人の指導医・上級医とチームを組んで研修します。複数の上級医と共に患者を担当するため、**一例一例上級医と一緒に丁寧に担当患者を診ることができます。**それに加え、他科の先生との合同検討会も定期的に行っています。

症例は腎移植患者を含めた様々な腎疾患を経験することができます。また**腎臓に異常のある方は様々な合併症を引き起こすため、幅広い疾患についても学ぶことができます。**

どの診療科にいても腎臓病を持つ患者を担当する機会が多いと思われ、腎臓内科を考えている方だけではなく、他の科を考えている方でも非常に有意義な研修になると思います。



■ 研修時の週間スケジュール

月～金曜日の毎朝（木除く）

・透析前ショートカンファレンス

火曜日午後

・透析カンファレンス
・入院カンファレンス

木曜日午前

・新患カンファレンス

その他

・腎移植カンファレンス（月1回）

■ 診療科長または指導医からのメッセージ



腎臓内科 助教 後藤 俊介

腎臓病は非常に多い疾患で、どの診療科に行っても出会うことのある疾患です。様々な疾患において腎臓病があることで方針が変わることもあり、腎臓病を学ぶことはどの診療科を目指す方でも有用ではないかと思えます。

また腎臓内科を考えている研修医にとって、希少疾患から腎移植まで様々なことを学べ、また腎臓内科医も多数いるた

めロールモデルとなる医師も見つけることができる、数少ない施設だと思います。

学生から社会人となり不安もあるかと思いますが、良い医師になりたいという気持ちが一番大切だと思いますので、そのような気持ちのある方は、是非一度腎臓内科の門を叩いてください。

Message

呼吸器内科



診療科の紹介（特徴や特色など）

気管支喘息、肺炎といったcommon diseaseやCOPD、睡眠時無呼吸症候群などの生活習慣病から、近年治療の進歩が著しい肺癌、易感染患者の日和見感染症や膠原病肺など他疾患の合併症、さらには重症患者の呼吸管理など非常に幅広い領域をカバーします。咳や息切れなどの症状、胸部異常陰影の診断・治療や、慢性呼吸器疾患の管理などを積極的に行っています。呼吸器内科の需要は近年ますます大きくなっています。

臨床現場で頻繁に直面する呼吸器疾患の診療、内科的な全身管理やチーム医療の経験は、これからの研修の中で役立てていくことができます。専門性の高い診療を通して、画像診断、バイオマーカーなど分子診断、呼吸管理、化学療法、免疫療法、リハビリ、緩和治療、他科/他職種との連携など多くの臨床経験を積むことができます。進歩を続ける診療の中で患者に寄り添うバランス感覚のある医師の資質・経験を身につけます。

気道と肺の病変にとどまらない全身疾患として呼吸器疾患をとらえ、科内でのディスカッションと病院内外の連携を行いながら、最良の診療方針を決定していきます。その中で、毎日のチームミーティングで患者さんのアップデートを共有するショートプレゼン、週1回の病棟カンファレンスでの入院症例プレゼン、さらに学会形式の症例検討会と、多彩なプレゼンテーションの経験が積むことができます。

■研修時の週間スケジュール

月～金 朝・夕1日2回 病棟チームミーティング	火曜日午後 医局会、症例検討会
月曜日午後 呼吸器合同カンファレンス（外科・放科・病理）	金曜日午後 病棟カンファレンス
火曜日午前 気管支鏡カンファレンス、気管支鏡検査	

■診療科長または指導医からのメッセージ



助教 羽間 大祐

呼吸器内科では、感染症・腫瘍・アレルギー・閉塞性肺疾患・間質性肺疾患・睡眠時無呼吸症候群など、多岐にわたる呼吸器疾患の診療を行っています。急性期から慢性期、終末期医療まで経験できるため、抗がん薬・抗菌薬・吸入薬・ステロイド・オピオイドといった多種多様な薬剤の使用方法や、人工呼吸器などを用いた全身管理、気管支鏡や胸腔ドレーンといった手技、在宅酸素療法、緩和医療など幅広い知識や技術を習得することができます。高齢化社会の更なる進行に伴い、急性期病院だけでなく、慢性期病院やクリニックなど様々な場面で呼吸器内科医の力が必要とされており、長い医師人生の中で柔軟なライフプランやキャリア形成が可能となります。大学病院の特徴としては、数多くの臨床研究を経験できる



（写真は2019年撮影）

研修内容、経験できる症例や手技

研修では、病棟担当医チームの一員として入院患者さんの診療を担当していただけます。指導医のアドバイスのもと内科医として経験を積むことができます。

- ・内科全般の問診・身体所見
- ・胸部レントゲンの読影
- ・各種検査の解釈（肺機能検査、胸部CT、PET-CTなど）
- ・静脈路確保
- ・胸腔穿刺（胸水検査、ドレナージ）
- ・気管支鏡検査（基本操作）
- ・呼吸器感染症の考え方
- ・緩和治療の考え方
- ・酸素投与（HFNC、NPPVを含む）
- ・進行・再発がんの薬物治療（導入と副作用管理）
- ・全身ステロイド治療（導入と副作用管理）
- ・症例プレゼンテーション、コンサルト方法
- ・難治性疾患、予後不良疾患のインフォームドコンセント・退院支援・地域連携
- ・放射線科、病理診断科と連携した呼吸器疾患の診断
- ・呼吸器外科、放射線科と連携した呼吸器腫瘍の集学的治療

Message

こと、呼吸器外科・放射線科・病理診断科といった関連科が揃っているため、疾患や病態に対するより深い理解が得られることなどが挙げられます。医師だけでなく、看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・ソーシャルワーカーなども充実しており、多職種連携の重要さも学ぶことができます。また、基礎研究に興味のある方には、大学院進学という道もあり、当科の研究室だけでなく、広く国内・海外への留学もサポートできます。

「聴診に自信がない」「レントゲンの読影が苦手」「咳の患者さんの診かたがわからない」などちょっとしたことが入り口でも結構です。広くて深い呼吸器の世界にまずは触れてみませんか。病棟でお待ちしています！

膠原病リウマチ内科



診療科の紹介（特徴や特色など）

1. 豊富な症例を経験できる

膠原病・リウマチ性疾患の専門医は、まだまだ十分とは言えません。当科は膠原病・リウマチ性疾患を専門とする数少ない科であり、また地域の拠点です。遠近問わず多くの患者様が、専門的な治療を求めて紹介されて来られるため、貴重な症例を多数経験できます。

2. 屋根瓦形式のチーム医療

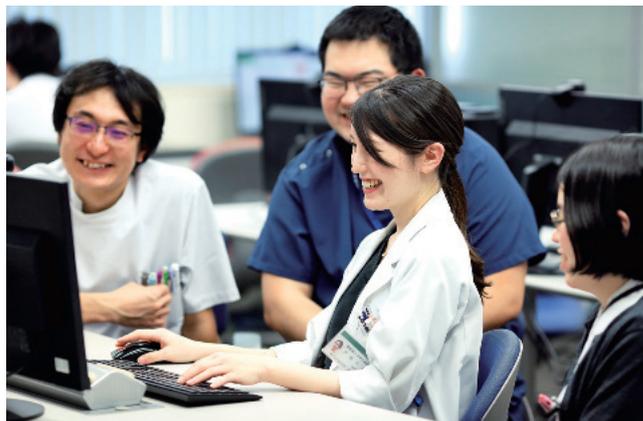
病棟スタッフは屋根瓦式の教育指導体制をとり、専門医の指導のもと、数名のチームとして診療にあたります。我々の分野は新しい知見や治療法の進歩が目まじしく、それらを吸収し、複雑な病態の患者さんについても、全員で議論しながら日々診療しています。

3. メリハリの利いた診療体制

病棟スタッフで病状を共有することによって、時間外や休日にはオンオフの切り替えができるように、診療体制を整備しています。

4. 多彩な臓器の病気が学べる

膠原病・リウマチ性疾患は全身性の疾患であり、特定の臓器や手技に片寄らず、内科的に全身を診て、病態や治療を考察するには最適であり、内科らしい内科と言えます。



研修内容、経験できる症例や手技

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、ANCA関連血管炎、炎症性筋疾患、シェーグレン症候群、強皮症、混合性結合組織病、ベーチェット病、成人発症スティル病、巨細胞性動脈炎、高安病、IgG 4 関連疾患など数多くの全身性疾患が経験できます。

免疫抑制治療中である患者さんが多いため、感染症症例も多数経験できます。

臓器病変は多岐にわたり、多くの診療科の先生と連携した診療が可能です。

全身性疾患の診断・治療を行ううえで必要な身体所見や病歴の把握、多岐にわたる検査の解釈、副作用対策を含めた適切なステロイド治療などが学べ、将来どの診療科に進んでも役立ちます。

■ 研修時の週間スケジュール

月曜夕方

- ・病棟カンファレンス

木曜午前

- ・全体カンファレンス、診療科長回診、臨床抄読会

木曜夕方（月1回）

- ・外来カンファレンス、関節エコーカンファレンス

木曜夕方（年数回開催）

- ・脳神経内科、腎臓内科との合同カンファレンス

■ 診療科長または指導医からのメッセージ



病棟医長 山田 啓貴

兵庫県下では膠原病を専門とする医師は不足しており、県内でも常勤医師がいる病院はまだ少ない状況です。そのため、近隣の病院から膠原病性疾患が疑われる方や治療に難渋している症例を多数受け入れており、当科の初期研修では膠原病の基礎知識から診断、治療の流れまで幅広く学んでいただ

ます。病棟では看護師、薬剤師をはじめとした医療スタッフと連携しながら、患者さん個々の状況に応じた診療を行っています。

私たちと一緒に、免疫疾患の複雑さに触れ、患者さんと向き合い、成長できる環境を体験してください。温かくサポートいたしますので、是非積極的に挑戦してください。



指導医 宮本 千晴

病棟では指導医として、研修医の皆さんが安心して学び、成長できる環境を提供しています。免疫疾患の診療は複雑さと奥深さがある分、得られる知識や経験は豊富です。“よくわからない疾患・病態”に直面することも多くありますが、一つ一つしっかりと丁寧に考え、解決していくことは、今後

どの診療科に進んでも必ず役に立つことになると思います。

日々のカンファレンスやベッドサイドでの指導を通じて、わからないことは一緒に考え、学び合いながら進んでいきましょう。患者さんに寄り添う医療を実践できる力を一緒に身に付けていければと思います。

Message

消化器内科



診療科の紹介（特徴や特色など）

～消化器内科は、研修医の皆さんが“臨床って楽しい！”と思える瞬間を提供します～
当科が扱う領域は、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓と多岐に渡ります。そして、悪性腫瘍、結石や潰瘍などの良性疾患、IBDやMASLD/MASHなどの慢性疾患、リンパ腫などの他科と関わる疾患、と疾患のキャラクターも様々です。実は、“腹痛”は、救急疾患の中で最も多い主訴の一つです。

私たちは、自分の持っている最先端の技術・知識で患者さんを治すだけでなく、治らない病気を持つ患者さんにも真摯に向き合い、その時々で最善の治療を提供しなければなりません。と同時に、どうすれば治せるのか、を臨床レベル・基礎レベル双方で研究しています。

私たち消化器内科医が持つ世界トップレベルの診療技術・内視鏡技術の裏に、1例1例治療へのアプローチを考える大切さがあることを学んでもらえたら幸いです。

研修目標

症例を通して内科的全身管理を習得するとともに、各臓器疾患における治療方針の立て方を体得することが目標です。特に、消化器疾患の治療では絶食管理が多くなります。輸液管理をはじめとして、それぞれの消化器の機能が低下した時に、どうやってそれを補うのか、どんな時にそうすればよいのか、を実際に経験していただきます。

研修内容、経験できる症例や手技

早期食道・胃・大腸癌の最先端の内視鏡治療、各臓器癌の最新の抗腫瘍療法、アカラシアを始めとする大学でしか経験できない機能性疾患の治療、国内屈指の胆膵内視鏡診療、市中病院では手に負えない難治性IBDや移植も見据えた肝不全症例のICU管理などを経験できます。

一方で研修医の先生にとって最も大事なことは、内科医として必須の知識・技術です。絶食時の輸液管理、消化器系薬剤の使用法、消化器感染症の治療選択、ステロイドの使い方、腹水穿刺や膿瘍ドレナージなどの穿刺技術の基礎を習得していただきます。さらに、年に1回開催するハンズオンセミナーでは、エコーや内視鏡手技の基礎を実際に私たちが指導します。

診療科長または指導医からのメッセージ



診療科長、教授 児玉 裕三

消化器内科では、バラエティに富んだ疾患を経験する中で、全身を診る、救急を診る、癌を診る、難病を診るといった内科診療の醍醐味を味わえます。皆さんと共に学び働けることを楽しみにしています！



ERCPの合間にパジャリ！



ハンズオンセミナー2023



白熱するカンファレンス！



ハンズオンセミナー2024

■研修時の週間スケジュール

月～金曜 8：30～17：15

各グループの主治医団の一員として、ESDグループ、IBDグループ、腫瘍グループ、胆膵グループ、肝臓グループのうち、複数を数週間ずつローテーションして担当患者の病棟業務や検査・処置にあたります。また、各グループのカンファレンスで、担当症例の治療の問題点を共有します。

火曜日 朝8：30～10：30 病棟全体カンファレンス

他グループの症例に触れられる機会です。症例発表も指導医と共にを行います。

火曜日 16：00～17：30 医局会

指導医レクチャーと大学院生の研究発表があり、最先端の知識の習得と臨床現場の研修だけでは見えない当科の研究の一面を体感していただきます。

その他

担当患者の病棟管理や処置の合間には、ぜひ時間があれば光学診療部を覗いてみてください。様々な内視鏡検査・処置が見学でき、若手医師の活躍する姿が見られます。チャンスがあれば学会発表にもぜひ挑戦してください。しっかりとサポートします。

Message



病棟医長 酒井 新

消化器内科の診療には手技が多く、また診療の場面も病棟、救急、外来、内視鏡検査など多岐に渡るため、チームワークが不可欠です。抜群のチームワークを誇る神戸大学消化器内科への皆さんの参加をお待ちしています。

糖尿病・内分泌内科



診療科の紹介（特徴や特色など）

糖尿病・内分泌内科ではまず**内科全般を診療できる**、特に理論的に考えることの出来る内科医の育成を目指し、**その上に糖尿病専門医・内分泌代謝科専門医**、さらには**病因・病態を解明する研究者迄の幅広い研修プログラム**を提供しています。

臨床研修に関しては、専門性の高い研修と同時にジェネラルに強い内科医を目標に指導します。また、当科では多くの女性医師が、妊娠、出産、育児と両立しながら活躍しています。

研修目標

日本内科学会認定専門医に加えて、糖尿病専門医・内分泌代謝科専門医を取得するためには認定内科医研修の課程を終了後、認定教育施設において、それぞれ3年以上の期間にわたって臨床研修を行うことが必要です。さらに症例記録や臨床に関する筆頭者としての学会発表・論文なども必須で、その後の試験に合格する必要があります。特に内分泌代謝科専門医を取るためには、一般病院では経験が困難な多彩な症例を多く研修する必要があり、当科ではこれらに必要な研修が可能です。**当科の研修プログラムによって、日本内科学会認定医、糖尿病専門医、内分泌代謝科専門医、日本内科学会総合内科専門医を取得することが可能であり、これらの資格は将来幅広く活かすことができます。**



■研修時の週間スケジュール

- 糖尿病・内分泌内科の週間予定は下記のとおりです。
- ・月：内分泌病棟カンファレンス
 - ・火：糖尿病教室、臨床カンファレンス、教授回診
 - ・木：糖尿病教室、糖尿病病棟カンファレンス・糖尿病チームミーティング
- （医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・臨床心理士・臨床検査技師）
- 甲状腺・副甲状腺エコー、甲状腺穿刺吸引細胞診（月・金午後）
- 甲状腺細胞診カンファレンス（病理医と合同で、月1回）
- 内分泌腫瘍カンファレンス（各症例担当科と合同で、月1回）
- グルコースクランプ検査（随時）
- 臨床抄読会・研究抄読会などにも参加可能です。**

■診療科長または指導医からのメッセージ



講師 福岡 秀規

皆さんの夢は何ですか？何のために医師になり、これから何をしたいのでしょうか？研修医の日々はとても忙しく、「とにかく周りに迷惑をかけないように、問題を起こさないようにこなす」、そんな生活が待っているでしょう。しかし、それをこなすことが皆さんの医師になってやりたかったことでしょうか？我々は、研修の最初の時期だからこそ“考える”ということが重要だと思っています。近年はガイドラインやマニュアルがかなり発達し、特にこの“考える”ということ

をする機会が減っているように思っています。考えるためには患者さんの訴えに耳を傾け、よく観察し、先人たちの知識を整理し、問題点を抽出して計画を立て、実行していくという基本的なプロセスが重要です。こなすだけでは見えてこないこの“考える”というプロセスを是非皆さんにも体験してもらいたいと思っています。そして、皆さんがそれぞれの医師としての夢を実現していくための“考える力”を身に付けてもらうことが我々の共通した夢の一つです。

Message

脳神経内科



診療科の紹介（特徴や特色など）

超高齢社会を迎えた日本では、神経疾患や神経症状を有している患者さんが年々増加しています。臨床医にとって脳神経領域の疾患についての知識と経験を持ち合わせておくことが非常に重要で、初期研修では欠かすことができない分野です。我々脳神経内科は診断学、すなわち病歴聴取と身体診察、神経診察に重きをおいており、領域にこだわらず幅広い疾患に対応できるよう内科全般の知識も常にアップデートしています。近年は診断技術の向上が目覚ましく、放射線画像検査、神経電気生理検査、遺伝学的検査、組織学的検査などを自分たちで実践し、正確な診断に迫ることをモットーとしています。また難治性疾患に対する新しい治療法にも積極的に取り組んでいます。

研修目標

当科での研修の目標は、①自信をもって神経学的所見をとれるようになること、②自信をもって髄液検査ができるようになること、③例え将来脳神経内科医にならなくても、必要な症例を脳神経内科にコンサルトできるようになること、の3点です。短期間ですがこれらのことを達成できるように、上級医がサポートをしていきます。

その他

当科では初期研修医を含む若手の医師を対象にトピックス毎のレクチャー（脳神経内科セミナー）や神経診察を学ぶためのサマースクールなどを通年で開講しております。当科ローテートに関わらず活用ください（詳細は当科ホームページをご覧ください<https://www.med.kobe-u.ac.jp/sinkei/>）。



研修内容、経験できる症例や手技

脳神経内科の病床数は21床で3チームに分かれて6-7人の患者さんを担当します。チーム医療を実践しており、各主治医団は脳神経内科専門医、専攻医（後期研修医）、初期研修医の屋根瓦式で構成され、質問しやすく、神経学的診察の直接指導を受けやすい体制を準備しています。当院では筋萎縮性側索硬化症などの神経変性疾患や、重症筋無力症や多発性硬化症といった神経免疫疾患など、稀少疾患・難治性疾患の患者さんが他院と比べて多く入院しますが、脳梗塞やてんかんなどのcommon diseaseの入院も少なく、豊富な症例を経験することができます。また発熱や呼吸不全などの全身管理をする機会も多く、専門的知識の習得に加えて一般内科的スキルの向上も期待できます。脳血管障害に関しては救急部や脳神経外科と協働で診療にあたり、超急性期の脳梗塞に対する血栓溶解療法も実施しています。手技としては腰椎穿刺を始め、脳波判読、神経電動検査、筋電図、筋生検、神経生検など指導医とともに経験することができます。しかし最も大切なことは、病歴聴取・神経診察を日々行うことで、それにより「一人一人の患者さんをきちんと診る」という基本が当科ローテート終了時に身につけている研修医の先生は多いようです。

■研修時の週間スケジュール

基本的に毎日病棟で入院患者の診療に当たります。外来の手伝いなどはありません。神経疾患の救急患者や院内コンサルトなどは指導医と共に診療します。カンファレンスは入院患者カンファ、脳波・筋電図カンファ、放射線科・脳神経外科・膠原病内科・眼科、などの連携カンファなど充実しており、知識を深めながら診断や治療方針決定のプロセスに積極的に関わることができます。プレゼンテーションの準備は必ず専攻医・指導医の指導の下で行います。

■診療科長または指導医からのメッセージ



特定助教/病棟医長 古東 秀介

脳神経内科は、問診とハンマー・音叉などを用いた神経学的診察をもとに臨床診断に到達する診断学がベースにあり、複雑に感じられて学生時代に苦手意識をもった先生方も多いかもしれません。近年、超高齢社会を迎え、common diseaseである脳卒中、認知症、てんかんやパーキンソン病をはじめとした神経疾患に接する機会は今後ますます増えていきます。脳神経内科での研修は、Neurologyに興味がある先生方にとってはもちろん、他の診療科へ進まれる先生方にとっても、苦手意識を少

しても克服することで将来必ず活かすことのできる経験となるはず。また、チーム医療に参画することで看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー・ケアマネージャーなどの多職種連携や社会福祉制度についても触れることができ、社会背景まで考慮した全人的な医療の実践を研修できます。皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

Message

腫瘍・血液内科



診療科の紹介（特徴や特色など）

腫瘍・血液内科ではすべての固形がんの薬物治療および血液疾患の治療を学べます。専門を持つスタッフが協力し、臓器横断的がん薬物療法の研修体制を提供していますので、研修医は様々な固形がん、血液疾患、あるいはその両方を研修できます。このようにすべての固形がんと血液疾患を一つの診療科で研修できる施設は全国でも稀です。各患者の治療方針は、入院患者だけでなく新患もすべてカンファレンスで議論して決定しています。このカンファレンスはがん薬物療法の考え方を学べる絶好の機会です。

また、合同カンファレンスを食道胃腸外科、肝胆膵外科、乳腺内分泌外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、婦人科、皮膚科など多くの診療科と開催しており、様々ながんの治療の考え方を臓器横断的に学べます。

研修目標

各種悪性腫瘍、血液疾患に対する、抗がん薬、分子標的薬、ホルモン療法、免疫チェックポイント阻害薬、細胞療法などの内科的治療の適応判断と管理の考え方を修得します。治療の目的が治癒なのか、根治不能な状態での延命や症状緩和なのかにより許容できる副作用が異なります。これを理解し目的に応じた治療計画を学びます。がん薬物療法は全身に副作用を起こしますので、その管理の仕方を修得することにより全身を診ることを学びます。治療域が狭い抗悪性腫瘍薬を薬物動態など臨床薬理学的根拠に基づいて科学的に実施する考え方を学びます。また医療は臨床試験の結果に基づいて進歩しています。臨床試験を正しく解釈できるように論文の読み方を勉強し、自分で適切に情報収集できるように学びます。

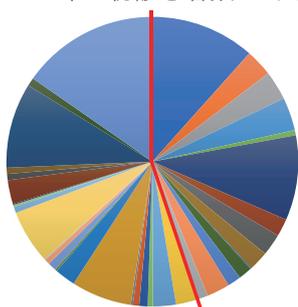
その他

より良いがん診療を患者さんに提供するために、臓器別診療の垣根を越えた多職種によるがん診療チームの一員として研鑽を積みましょう。

血液疾患465例

- AML
- MDS
- ALL/LBL
- CML
- ATL
- CLL/SLL
- DLBCL
- Follicular lymphoma
- Burkitt lymphoma
- Hodgkin's lymphoma
- PTCL
- NK/T cell lymphoma
- その他Lymphoma
- ET
- PV
- その他MPN
- MM/plasmacytoma/PL
- MGUS
- アミロイドーシス
- 血球異常
- ITP・AA
- その他良性疾患

2023年の初診患者数884人



固形腫瘍419例

- 頭頸部癌
- 甲状腺癌
- 乳癌
- 肺癌
- 食道癌
- 胃癌
- 大腸癌
- 肝・胆道癌
- 膵臓癌
- 骨軟部腫瘍
- 皮膚癌
- 泌尿器癌
- 婦人科癌
- 原発不明癌
- その他悪性腫瘍

診療科長または指導医からのメッセージ



特定助教 倉田 啓史

将来どの診療科を選択するとしても、がん患者さんと遭遇する機会は必ずあります。診断に至るアプローチや臓器横断的ながん薬物療法の基本的な考え方や適応、副作用マネジメントを十分に理解し素養を身につけておくことは、将来の大

きな財産となること間違いありません。また、がん診療は患者さんやその大切な人の“人生に寄り添う医療”です。救命から終末期に至るまで、幅広い場面に遭遇する中で、私達が何ができるか、一緒ががん診療を通じて学んでいきましょう。



■研修時の週間スケジュール

月曜日16時	木曜日18時30分
・入院C	・ 瘻C
	・ 婦人科腫瘍C
月曜日15時45分	金曜日 7時30分
・ 移植C	・ プロトコールC
火曜日17時30分	金曜日11時30分
・ 消化管腫瘍C	・ 肉腫C
火曜日18時	金曜日14時
・ 頭頸部癌C	・ がんゲノム医療エキスパートパネル
水曜日 7時30分	金曜日14時30分
・ 抄読会	・ 臨床試験C（月1回）
水曜日17時30分	金曜日15時
・ 骨転移腫瘍C（3週間毎）	・ 新患C+重症申し送り
水曜日19時30分	金曜日17時
・ 転移性肝腫瘍C（第4週）	・ CPC（不定期）
木曜日 7時30分	金曜日17時30分
・ research C	・ 皮膚腫瘍C（月2回）
木曜日17時30分	・ リンパ腫C
・ 乳癌C（月2回）	

研修内容、経験できる症例や手技

- ・ 固形がん部門：胃がん、大腸がん、肺がん、乳がんなど代表的ながんばかりでなく、膵がん、胆道がん、頭頸部がん、肉腫、性腺外胚細胞腫、原発不明がんなどの頻度の低いがんの薬物療法。
- ・ 血液内科部門：造血器悪性腫瘍および一般血液疾患の診断と治療、造血幹細胞移植などの細胞療法の適応、中心静脈カテーテル挿入、輸血、骨髄穿刺、腰椎穿刺などの手技。
- ・ Oncology emergencyの対応、症状緩和、内科救急。



Message

感染症内科

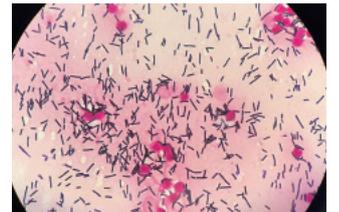
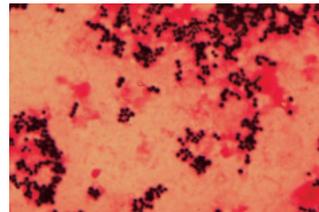


診療科の紹介（特徴や特色など）

2019年末から始まったCOVID-19の流行において感染症内科という診療科が今までになく注目されるようになりました。ただ他の診療科と比べて、感染症内科医がもともとどのような働き方をしていたかは、あまり知られていません。各医療機関で感染症内科の業務内容は異なりますが、当院の感染症内科は様々な診療科からのコンサルテーションを中心とした業務を行っています。主治医としての入院診療は、現在COVID-19患者が多くなっていますが、他の医療機関からの不明熱症例や難治感染症の治療、HIVなどの普段見慣れない感染症の診療も行っています。コンサルテーションの内容は多岐にわたりますが、主治医とともに患者さんに対してより良い感染症治療を提供することを目標に日々の診療を行っています。また昨今問題となっている薬剤耐性菌の抑制を目指し、適切な抗菌薬治療を含めた感染症診療の普及も行っています。

感染症診療を行う上で、当科が大事にしていることはアセスメントです。診療を行う中では治療に目が行きやすくなりますが、間違ったアセスメントに基づいた治療は、患者さんへの不利益につながりやすいです。感染症診療でのアセスメントは感染症が起きている臓器や原因となった微生物の判断が主なものですが、現在感染症が起きているのか、感染症以外の問題が起きているかの判断も重要です。この判断は非常に複雑で、とてもチャレンジングなことです。このような内容を他の専門研修を行いながら、片手間に学ぶことは非常に複雑化した現在の医療においては、徐々に難しくなってきました。

みなさんが、将来臨床医になるのであれば、どの科を専攻しても感染症は付きまといまいます。専攻医となり、実際に感染症診療を行うときに、不安に駆られながら、“なんとなく”の治療をしないで済むように、ぜひ体系的な感染症診療を初期研修の間に体感してほしいと思います。どの科を志望していたとしても、我々は全力で研修をサポートします。



研修内容、経験できる症例や手技

～研修内容（目標）～

- ・感染症診療の原則を学び、習得する。
- ・感染臓器と病原微生物の想定ができるようになる。
- ・基本的な抗菌薬の分類、投与量、使い方を学ぶ。
- ・グラム染色の手技と結果の解釈ができるようになる。

～症例～

- ・院内感染症：肺炎、尿路感染症、カテーテル関連血流感染症、創部感染、CDI

- ・輸入感染症：マラリア、デング熱など。

- ・結核
- ・性行為感染症：HIV/AIDS、梅毒など。
- ・不明熱

～手技～

- ・グラム染色：ほぼ毎日。染色方法や結果の解釈についてはフェローが指導します。

■診療科長または指導医からのメッセージ



指導医 村上 義郎

当科は主に院内感染症やHIV感染症、渡航後の発熱などを中心に診療しています。

特に院内感染症については各科からのコンサルをもとに併診という形で診療にあたる事がほとんどです。ありがたいことに現在ほぼ全ての科からのコンサルをいただいております、皆さんが何科になったとしても関わりのある科にはなる

と思います。手技は決して多くないですが、グラム染色は迅速かつ簡便な検査ですので、いったん覚えるとどこに行っても役立つと思います。将来どこの科に進んでも対峙することになる感染症という病気を系統立てて学べる良い機会です。是非一緒に勉強しましょう。

Message

放射線診断・IVR科



診療科の紹介（特徴や特色など）

放射線診断・IVR科ではCT・MRI・核医学など病院内で撮影される様々な医用画像の診断と、画像ガイド下の治療（IVR）を行っています。画像診断においては院内で撮影される画像に関して評価し、迅速に画像診断を行っています。治療方針に関して各科とも定期的にかンファレンスを行い、画像診断面からの治療方針決定に協力しています。IVRはX線透視やCTなどの画像で体内を見ながらカテーテルや針をつかって低侵襲で効果的な生検や治療を行います。

研修目標

研修はCTやMRIなどの画像検査の原理と読影の基礎を中心に学習し、IVRの適応や病棟管理についても学びます。日々撮影された画像の読影を行うことで、CT・MRIの正常像を学ぶと共に、基本的な疾患の画像診断・解釈ができるようになることを目指します。IVRに関しては実際に手技に参加することで、どのような症例がIVRの適応になり、どのような治療経過となるかを学びます。



■研修時の週間スケジュール

日常業務

毎日：読影レポート作成、CT室・MRI室・核医学室における検査管理、病棟業務

週1：IVR、病棟カンファレンス

カンファ

火曜日 17：30～ 医局連絡会

木曜日 12：30～ 診断カンファレンス

レクチャー

火曜日 12：20～ 研修医・専攻医レクチャー

月初め：3日間に分けて頭部・胸部・腹部のレクチャー

研修内容、経験できる症例や手技

- ・画像診断に関しては時間も限られているため、頭部・胸部・腹部のCTと頭部MRIを中心に指導しますが、希望に応じて様々な分野の画像診断を経験できます。
- ・急性腹症に関して症例集を作成していますので、よくある急性腹症を豊富に経験できます。
- ・過去の症例レポートを検索することで、さまざまな疾患の画像所見を経験できます。
- ・IVRでは血管内治療やCTガイド下生検、ポート留置などが経験できます。
- ・末梢静脈確保の機会が多く、確実に上達します。
- ・夕方に定期的に画像診断の勉強会を行っており、積極的に参加することで全身の画像診断学を学ぶことができます。

■診療科長または指導医からのメッセージ



診療科長 村上卓道

放射線診療は近年非常に進歩し、画像診断においても、IVR治療においても臨床医学の中核を占めるようになっていきます。このように新しい領域であるため、従来の伝統にとられない開かれた診療科であることが特徴です。また、全身

のあらゆる臓器を対象に、内科的などから外科的などところまで、良性から悪性まで、多くの疾患を対象に様々な経験を積める診療科です。将来どの科に進むにしても、放射線診療の研修は非常に役に立つと思います。

Message

放射線腫瘍科



診療科の紹介（特徴や特色など）

がんの治療の三本柱と言えば手術、化学療法、そして放射線治療です。私たち放射線腫瘍科が担うのはこの放射線治療の分野です。

全身のほぼ全てのがんが放射線治療の対象となり得ます。これほど幅広くがんの治療に携われるのは放射線腫瘍科と腫瘍内科の特権と言えます。

また、機械の進歩とともに劇的に進化するのが放射線治療の特色でもあります。よって、数年前の治療と現在の治療が大きく変わることは我々の分野では珍しくありません。話題のAIや最先端のコンピュータ技術を駆使して、日々より良い治療を目指しています。

当院では高精度放射線治療（IMRT、定位照射など）を多数行っています。また、小線源治療では最近話題の画像誘導小線源治療（IGBT）を全例で行っています。さらにIGBTではCTを用いるよりMRIの方が腫瘍を鮮明に描出できます。しかし、MRIを小線源のために占有することは難しく、日本でIGBTをほぼ全例MRIを用いて行っている施設は非常に少ないです。研修医のうちにMRIを使用した高精度な小線源治療の見学機会が多くあることが特徴的です。特殊な治療機を擁する神戸低侵襲がん医療センターや兵庫県立粒子線治療センターとも密な連携体制にあり、放射線治療を学ぶ環境としては全国有数の恵まれた環境と言えるでしょう。

研修目標

- ・全身の様々ながんについて、その特徴、治療法、予後などを学ぶ
- ・がん治療における放射線治療の役割を学ぶ
- ・放射線治療計画を実際に作成し、放射線治療学の基礎を学ぶ
- ・放射線治療特有の有害事象やその対処法を学ぶ

その他

非常に高い専門性も当科の特色の一つです。臨床各科に所属してからは、なかなか放射線治療の現場を知ることは困難でしょう。どんな形で悪性腫瘍に関わるにせよ、放射線治療の基本を経験することは、きっと皆さんの糧になります。がん診療に興味のある方はぜひ当科での研修をご検討ください。

研修内容、経験できる症例や手技

全身の悪性腫瘍が私たちの守備範囲です。

- ・実際の治療計画装置を使用した治療計画の作成
- ・当科入院患者の病棟管理
- ・放射線治療外来の初診時の診察や病歴聴取
- ・小線源治療の補佐および手技/計画
- ・各科との合同カンファレンスへの参加
- ・集学的治療の経験

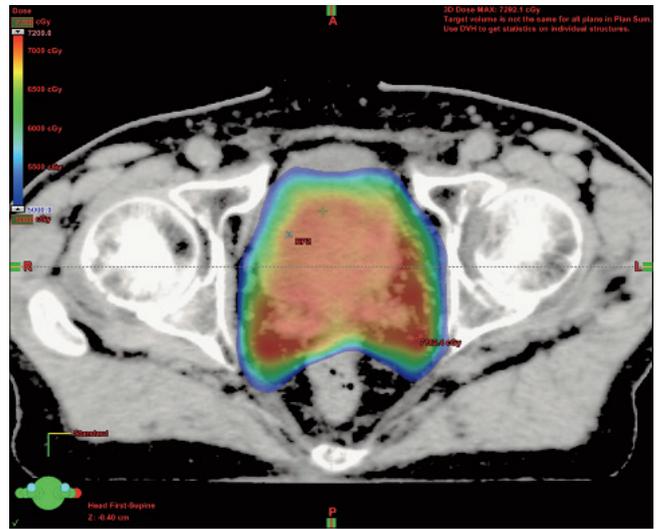
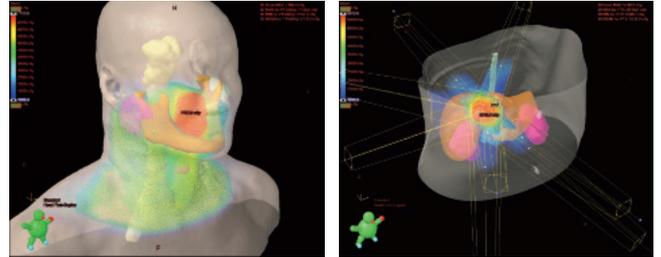
診療科長または指導医からのメッセージ



診療科長 佐々木 良平

放射線腫瘍科は様々な腫瘍に対して適切にそして迅速に低侵襲ながん治療を提供することが必要です。その為に臨床腫瘍学、医学物理、放射線生物学などの基礎知識を集大成させて個々の疾患の治療にあたる必要がありますが、根治治療

から緩和治療まで多くの場面で必須のがん診療なので、かなりのやりがいを実感できると思います。がんの治療をしたいと思う人は迷わずに、放射線腫瘍科での研修を選択してください。



■ 研修時の週間スケジュール

- 毎日：外来補助、病棟管理、治療計画
 月曜 16：15～呼吸器カンファレンス
 火曜 小線源治療の見学・介助
 火曜 18：00 頭頸部カンファレンス
 火曜 17：30～消化器カンファレンス
 水曜 小線源治療の見学・介助
 水曜 17：00 婦人科カンファレンス
 水曜 17：30～骨転移ボード（3週毎）
 金曜 小線源治療の見学・介助
 16：00 科内カンファレンス

Message

小児科



診療科の紹介（特徴や特色など）

小児科では超低出生体重児から小児期の種々の難治性疾患に対する最新医療、腎移植や造血幹細胞移植などの移植医療、発達障害や心の問題といった幅広い領域において質の高い小児医療を提供しています。

現代の医療では、専門分野の細分化につれて個々の臓器別に疾患をとらえる傾向にあります。しかし小児科は、個々の疾患に対して最新の知識や技術で医療に臨むだけでなく、一人一人のこどもを取り巻くさまざまな成育環境や発達の問題まで含めて、全人的、包括的に対応する分野です。

研修期間に小児科の魅力を是非体験してください。

専門研修へのつながり

大学院での研修は、特殊な疾患に偏りがちになると思われるかもしれませんが、特殊な基礎疾患を抱えたこども達を一度でも診たことがあるという経験は小児科医を目指す上で貴重な経験となります。また大学病院にはロールモデルとなる指導医が多く、その診療姿勢を最初に見ておくことは、後期研修以降にきっと役に立つでしょう。

研修内容、経験できる症例や手技

神戸大学病院での小児科研修は、小児医療センター（一般小児）とNICU（新生児）に分かれて行われます。小児医療センターとNICUの研修は独立しており同時に両病棟で患者を担当することはありません。両病棟で研修を受けることを推奨します。

- 1) 病棟診療：小児医療センター and/or NICU
- 2) 研修期間：
 - 小児医療センターは1ヶ月から可能。NICUは2ヶ月以上から可能。
- 3) 対象疾患：
 - 専門グループで扱う疾患：新生児、血液腫瘍、腎、神経筋・代謝・内分泌・発達行動、遺伝性疾患
 - 一般疾患：近隣医療機関・こども初期急病センターからの紹介受け入れ
- 4) 外来：処置・検査係（週1回）
- 5) ケースプレゼンテーション：研修の締めくくりにパワーポイントによる症例発表



診療科長または指導医からのメッセージ



教授 野津 寛大

近年、医療が高度に細分化される中、小児科だけは常に全身を診ることが求められます。またそれだけでなく、対象年齢も、新生児から思春期、さらには小児期発症の疾患は成人後も診ることが求められることも多々あります。それだけに小児科学は守備範囲が広く、大変にやりがいの感じられる分野となっておりますし、臨床経験を積んだその後からサブスペシャリティをゆっくり選択できるという特権もあります。

Message

神戸大学小児科研修プログラムは、地域の中核病院における小児一般診療、新生児診療、小児救急医療、大学病院での希少疾患診療、さらには地域医療と、小児科学のすべてを効率よく研修できる大人気のプログラムとなっておりますので、これから小児科研修プログラムの選択をされる先生方は是非ご一報いただければと存じます。

選択科目

皮膚科



診療科の紹介（特徴や特色など）

医師なら誰でも目にすることがある皮膚疾患ですが、毛髪、汗腺、脂腺、爪、脂肪織、血管、筋膜など、皮膚を構成するさまざまな要素ごとに、それが侵される疾患があるため、対象領域は実に多彩です。対象とする疾患には、皮膚感染症、アレルギー、膠原病、水疱症、蕁麻疹から皮膚がん、様々な遺伝性疾患まで、とてもバラエティに富んだ疾患が含まれます。時には皮膚症状の観察を通じて隠れた内臓病変を早期に見つけ出し、早期治療を通じて患者さんを救う、そんな診療科です。

比較的稀な疾患を取り扱うことが多い大学病院にあっても、外来では一般病院や診療所でも目にするcommonな疾患の診察も行うため、多彩な疾患の患者さんとお会いすることができます。外来診察患者数が多く、午前中は外来診察業務の補助を行い、様々な手技とお会いすることも特色の一つです。

また、選択科目の診療科の中でも内科的疾患と外科的疾患の両者を取り扱う数少ない診療科で、多数の診療科と連携をとり診察を行うのも特徴です。

研修目標

皮膚科は目で見るところにできた全ての疾患を治療・予防する診療科です。必修科目ではありませんが、どの診療科でも皮膚症状を目にする機会はあるため、皮疹の見方を中心に皮膚科発疹学、皮膚病理学を含めた診断学、治療学についての修得を目指します。

研修内容、経験できる症例や手技

午前中は外来診察、検査補助を中心とした業務となります。他の診療科と比較して皮膚科の特性として外来患者が多いこともあり、外来の現場を直に目にもすることもよい経験となると思います。外来での検査補助として、皮膚生検、プリックテストやパッチテストなどの皮膚テスト、創傷処置を経験することができます。専門外来としてのアレルギー外来、皮膚外科外来の補助を行うことで皮膚エコーやアレルギー誘発試験の手技の修得も可能です。

病棟業務においては、皮膚悪性腫瘍、重症蕁麻疹、皮膚感染症、膠原病、水疱症、下腿潰瘍などの入院加療の必要な多彩な皮膚疾患症例を目にすることができます。手術においては遊離植皮術、皮弁形成術、リンパ節生検術などの手技を経験できます。診断学としての皮膚病理学に関する経験も可能です。



■ 研修時の週間スケジュール

毎日午前	毎月曜日
・ 外来診察、検査補助	・ アレルギー外来 ・ 検査補助
毎日午後	毎金曜日
・ 病棟業務	・ 皮膚外科外来（任意）
毎火曜日	その他
・ カンファレンス ・ 病棟業務	・ 研修医ミーティング ・ その他セミナー（随時）
毎水曜日	
・ 手術	

■ 診療科長または指導医からのメッセージ



診療科長 久保 亮治

初期研修の2年間は医師として非常に大切な期間です。その後、後期研修で専門領域を選択し、医師としての人生プランを立てて行くための土台となる期間だと思います。単なる見学のお客さんとなることなく、是非積極的に主体性を持って取り組んでいただければと思います。

皮膚科では外来診療での診断から入院しての治療までを一貫して科内で行うことが多いため、診断から治療までのプロセスを感じ取ることができます。また様々な内臓疾患に皮膚病変が合併し、時には皮疹から初めて診断されることもあります。皮疹を見ただけでズバリと診断を当てる、それは皮膚科の醍醐味のひとつです。初期研修時に皮膚科を選択して学

んでおくことは、その後の医師人生において必ず役立つと確信しています。

神戸大学病院皮膚科には、県内のどの皮膚科関連施設よりもたくさんの仲間と先輩・後輩、スタッフが働いています。そして皆さんをサポートしてくれます。一緒に働くことを楽しみにお待ちしております。

内科的な疾患に興味のある方、外科的手技に興味のある方、研究に興味のある方、病理に興味のある方、研修先を迷っている方、どなたでも皮膚に少しでも興味のある方は一緒に研修してみませんか。

Message

精神科神経科



診療科の紹介（特徴や特色など）

大学病院の敷地内に、精神科のみ独立した閉鎖病棟を有しており、総合病院内において精神科専門研修が可能なユニットとなっています。また、研修できる症例も児童思春期から老年期まで幅広く、身体合併症などの症例も経験できます。

研修内容、経験できる症例や手技

患者との接し方、面接技法などは、精神科のみならず全ての診療科において必要な技能です。

当科では、単に精神疾患の治療を行うというだけでなく、常に患者との接し方を意識した治療を行うように指導を行っています。

また当科で研修できる症例としては、総合病院精神科としてせん妄・緩和医療などのコンサルテーション・リエゾン領域の疾患はもちろん、独立した入院病床も擁しているため、「統合失調症、気分症、認知症、神経発達症、神経症といった精神科の一般的な疾患群」についても経験することが可能です。

病床も閉鎖病棟・隔離病室といった専門的な治療施設ですので、各疾患群の急性期にも十分触れることができます。

また外来では認知症専門外来、児童思春期AYA世代専門外来、ギャンブル依存症外来などの専門外来を設置しております。

それ以外にも総合病院精神科のメリットを生かし、内科との連携を必要とする治療抵抗性統合失調症に対する薬物療法や、麻酔科と連携の下、修正型電気けいれん療法などの専門的な治療も積極的に行っております。

精神科志望の方はもちろん、少し興味があるといった方も大歓迎ですし、大学精神科教室の中では研究にも力を入れている教室ですので、将来的に研究に興味のある方も是非お越し下さい。

みなさまの研修をお待ちしております。



■ 研修時の週間スケジュール

月～金 病棟業務・外来陪席・リエゾン	金曜13時30分 ・病棟多職種カンファレンス
月曜・木曜9時 ・電気けいれん療法	金曜16時 ・症例検討会
月曜13時 ・新患カンファレンス	
月曜15時 ・リエゾンカンファレンス	

■ 診療科長または指導医からのメッセージ



講師 木村 敦

研修医時代に精神科をローテートする意味とはなんでしょうか。いろいろな考えがあると思いますが、ひとつは患者さんの捉え方を広げることだと思います。将来みなさんが、どの診療科に進むことになったとしても、精神疾患と共に人生を歩まれている方を診察・治療することは日常的にあるでしょ

う。その方の人生に寄り添う姿勢を、精神科研修中に身につけていただければ幸いです。一緒に診療できることを楽しみにしています。

Message

緩和支援治療科



診療科の紹介（特徴や特色など）

緩和ケアチームの一員として、がんをはじめとする疾患を持つ患者・家族の体とこころの苦痛の緩和、地域の医療機関と協力して、在宅ケアやホスピス・緩和ケア病棟などの適切な療養環境を選択するサポートを行います。がん疼痛への基本的な対処、呼吸困難、抑うつ、不安、せん妄などの基本的な対処方法を学びます。また、緩和ケアチームの中で、他専門家の医師、専門認定看護師、心理士、理学療法士、栄養士、ソーシャルワーカーと協働することにより、チーム医療の実践を合わせて学びます。

緩和医療の実践にあたっては、基本的な内科的診断能力、臨床推論、そしてEvidence-based Medicineの実践が必須です。毎日の臨床疑問を指導医との討論や文献検討を通して解決し、質の高い臨床の実践をともに行いましょう。

研修目標

がんをはじめとする生命の危機に直面する疾患を持つ患者とその家族を包括的に（身体的、精神心理的、社会的、スピリチュアルな視点から）評価し、適切に対応することを通して、QOLの向上を図ることができる。



研修内容、経験できる症例や手技

患者の症状・状態をアセスメントし、基本的な対処に対するプランを立てられるようになるため、初期研修の2年目に2か月以上の研修を行うことをお勧めします。

ローテーション1週目は主に指導医をシャドーイングしながら、チームが対応する患者の把握とチーム内での動きを経験します。2週目以降は、新規患者は指導医と一緒に診察・評価し、継続フォロー中の患者を（少人数から）一人で診察・評価し、指導医共に治療プランを立てます。徐々に一人で診察・治療プランを立てる人数を増やしていきます。

各診療科からの依頼内容は、疼痛などの身体症状、抑うつやせん妄などの精神症状や心理的な苦痛の緩和を目的としたものが多いですが、将来の治療・療養方法に関する意思決定支援のサポートや調整も院内多職種と共同しながら行います。

■ 研修時の週間スケジュール

朝8時30分から

毎日、フォロー中の患者の情報を診療録から取得し、コンサルテーション診療に向けての準備を行い、その後、コンサルテーション診療（緩和ケアチーム診療）を指導医・チーム看護師と共に行います。

午前の終わりに、継続フォロー中の患者および新規依頼患者に関するカンファレンスを多職種で行い、チーム間での情報共有およびディスカッションを行います。

火曜日

- ・ Tumor board（毎月1回）・抄読会

水曜日

- ・ 循環器緩和ケアカンファレンス（月2回）
- ・ 転移性骨腫瘍多職種カンファレンス（月1回）

木曜日

- ・ リサーチミーティング

金曜日

- ・ 精神科合同カンファレンス（月1回）

不定期

- ・ ペインクリニック合同カンファレンス

食道胃腸外科



診療科の紹介（特徴や特色など）

食道胃腸外科は、食道癌、胃癌、大腸癌を主な対象疾患として、日々治療に取り組んでいます。鏡視下手術を中心に、2018年4月からはロボット手術も本格的に導入し、症例を積み重ねています。新規抗癌剤や分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤による治療成績の向上も目覚ましく、手術を併用した集学的治療も進めています。

研修医は主治医グループの一員として入院患者を担当し、病棟での診療（一般病棟、集中治療室）と手術に携わる事になります。主治医団はグループ制で指導教官、医員や大学院生、研修医で構成されています。他にも所属グループの上司の他に、病棟医長や医局長がいて、相談や要望に応じます。また、研修医同士で相談したり、スタッフに気軽に相談できる環境で、様々な面からサポートを行っています。

研修目標

手術を中心とした診療を通じて、一般外科の基礎的知識、診療技術と全身管理の基本を習得する。またチーム医療と外科医の倫理観、医師としての基本姿勢を理解する。

研修内容、経験できる症例や手技

主治医団は食道、胃、大腸のグループに分かれています。それぞれ食道癌、胃癌、大腸癌が中心となりますが、緊急手術（穿孔やイレウスなど）やヘルニアなどの症例は各グループに当たるので様々な症例を経験することができます。病棟での処置では縫合や抜糸などを上級医の指導の下で行います。なるべく手術に入って、スコピストをやってもらったり、腹壁閉鎖や皮膚縫合などの他にもヘルニアなどの手術は指導の下で積極的に行ってもらうこともあります。各自の習熟度によってさらに進んだ手技を行うこともできます。

また、主治医団の担当症例については事前にオーブンに指導を受けて、症例検討会やカンファレンス、総回診などでプレゼンテーションしてもらうことで、症例提示のスキルを身につけることができます。



■研修時の週間スケジュール

定期手術（月曜、火曜、木曜、金曜）に加え、緊急手術が平均して週に2-3例あります。

総回診（月曜、金曜）

手術症例検討会（術前：月曜夕・金曜朝、術後：月曜朝）

外国文献抄読会・テーマ制抄読会（木曜朝）

放射線科・消化器内科・腫瘍内科との合同カンファレンス（火曜夕）

病理カンファレンス（月1回 水曜夕）

ハンズオンセミナー：年に数回開催、縫合結紮手技などを1対1で直接指導しています。

研修医歓迎会：グループごとに随時開催（参加自由）



■診療科長または指導医からのメッセージ



診療科長
掛地 吉弘



講師
後藤 裕信



特命助教
池田 太郎

大学病院は一般病院とは異なり、虫垂炎やヘルニアなどの疾患は少ないですが、他臓器の併存疾患をもつhigh risk患者が多く、個々の症例について深い考察と厳重な術後管理が必要となります。

また、各科の専門性が高いので他科とのコミュニケーションをとりながらレベルの

高い治療を提供することができます。臨床・教育・研究を柱としているので研修医の教育プログラムが充実しており初期の研修には最適です。

私たちがともに一緒に楽しく研修しましょう。

Message

肝胆膵外科



診療科の紹介（特徴や特色など）

肝臓・胆道（胆嚢・胆管）、膵臓疾患に対する手術および肝移植（生体・脳死）、脳死膵移植を行っています。肝胆膵領域の手術は従来開腹手術がほとんどでしたが、肝切除・膵切除は鏡視下手術の割合が年々増加しており、開腹手術・鏡視下手術（腹腔鏡、ロボット）の両方の技術が必要とされます。手術の内容も多岐にわたるため、胆道・膵管再建、さらには血管再建を伴う複雑な手術まで、全ての消化器外科手術の要素が経験できます。当科には移植をはじめ、高難度手術を要する疾患が集約されるため、多くの経験を積むことが出来ます。また学術活動・若手教育も特に重視して取り組んでいます。

研修目標

- ・外科医としての倫理観、基礎知識、チーム医療の重要性を習得する。
- ・肝胆膵疾患の解剖および手術適応について理解する。
- ・肝胆膵疾患手術に関して、症例ごとの問題点や手術方法について理解する。

研修内容、経験できる症例や手技

病棟のグループは肝・胆・膵疾患それぞれを中心に診療する4つのグループに分かれていて、いずれかのグループに配属され、主に肝癌、胆道癌、膵癌などの症例を受け持ってもらいます。

通常はオーブン、チューベンと一緒に3人体制で病棟をみることになり、その2人の上級医が病棟業務について丁寧に指導します。どのグループに配属されても手術が均等に当たりますので、多くの手術を経験することができます。

手技に関しては、病棟業務でまず比較的簡単なもの（縫合結紮法や抜糸、ドレーン除去等）を身に付けてもらい、機会があれば中心静脈穿刺や胸腔・腹腔穿刺などの少し高度なものについても学ぶ機会があると思います。手術に関しては開腹や閉腹などの基本的な手技や腹腔鏡手術でのスコピストなどを実践してもらいます。2年目の研修医は3か月間以上ローテーションしてもらえれば比較的簡単な手術（胆嚢摘出など）の指導も行います。



■研修時の週間スケジュール

- 定期手術：月曜日、火曜日、木曜日
 総回診：月曜日
 手術症例検討会：月曜日夕、火曜日朝（食道胃腸外科と合同）
 症例カンファレンス：月曜日朝、金曜日朝
 外国文献抄読会（食道胃腸外科と合同）：木曜日朝
 肝臓疾患カンファレンス：水曜日夕
 胆道・膵臓疾患カンファレンス：木曜日夕

■診療科長または指導医からのメッセージ



教授
福本 巧



特定助教
石田 潤

肝胆膵外科は主に肝癌、胆道癌、膵癌と難治性悪性腫瘍を扱うため、高難度手術を必要とする多くの患者さんが当院に紹介されてきます。そのため、兵庫県の最後の砦として強い使命感を持って、患者さんが満足して退院できるようスタッフ一同診療に真摯に取り組んでいます。肝胆膵外科はなんと言っても、ダイナミックかつ繊細な手術が魅力です。当科では肝切除、膵切除は腹腔鏡手術、ロボット手術が増加傾向で低侵襲手術全盛の時代ですが、肝門部領域胆管癌手術や膵

頭十二指腸切除術など開腹手術で根治を求める症例も数多くあり、バリエーションに富んだ手術手技を学ぶことができます。また機会があれば、生体、脳死肝移植術も経験できます。

消化器外科に興味ある人はもちろんですが、外科系診療科を考えている人や、他科志望でも一度は腹部領域の手術を勉強してみたいという人も大歓迎ですので相談してみてください。皆さんと一緒に働く日を楽しみにしています。

Message

乳腺内分泌外科



診療科の紹介（特徴や特色など）

日本の乳癌患者数は増え続けており、乳腺外科医の需要はますます高まっています。現在日本では年間9万人が罹患し、女性の9人に一人が生涯で乳癌に罹患します。小児科以外どの科で診療していても、診ている患者さんが罹患する可能性があるため、海外ではgeneral physicianの必須科目となっています。

乳腺外科医の仕事は、診断から手術、薬物療法などの治療、さらに再発患者さんの緩和ケアまで幅広く、最初から最後まで患者さんに関わることができます。

乳癌治療においては、整容性を考えた手術が求められ、必要時には形成外科と連携して乳房再建術も行います。また放射線治療科、腫瘍血液内科と連携した集学的治療も学べます。

手術時間も短く、緊急もほとんどないので、外科系は体力に不安があるという方でも大丈夫です。

研修目標

- ・ 乳腺疾患の診断について理解する
- ・ 乳癌の治療について理解する
- ・ がんの告知など、患者とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ
- ・ 適切な患者のプレゼンテーション能力を身につける

研修内容、経験できる症例や手技

- ・ 主に乳癌の手術、局所麻酔下でのリンパ節生検
- ・ 糸結びや皮膚縫合など手術の基本手技
- ・ 病棟での創処置やドレーン管理など
- ・ マンモグラフィや乳房超音波の診断について
- ・ 超音波ガイド下針生検を、ファントムを用いて練習

■ 研修時の週間スケジュール

朝 8 時半より病棟回診、カンファレンス
 月曜、火曜、水曜に外来業務
 水曜手術（ICCRC）木曜午前手術（大学）、
 木曜17：30より乳腺病理カンファレンス
 金曜 乳腺外科カンファレンス

毎朝入院患者さんについて術後経過などプレゼンテーションを行い、問題点や今後の方針についてディスカッションしたのち、指導医とともに患者さんの診療を行います。

指導医とともに外来診療を行い、初診患者さんの問診を担当します。

乳腺病理カンファレンスでは乳腺外科医、腫瘍内科医、病理医などが参加し、乳癌診療について様々な視点から議論します。

■ 診療科長または指導医からのメッセージ



特命講師 國久 智成

臨床医であれば乳癌患者さんや乳癌の既往歴のある患者さんと接する機会も多いため、医師として早い段階で乳癌の治療体系を学んでおくことは、今後の臨床や研究を行う上で必

ず大きな力になると思います。乳癌専門医を目指す方もそうでない方もぜひ一度我々と乳癌診療に励み、共に多くの事を学びましょう。

Message



心臓血管外科



診療科の紹介（特徴や特色など）

我々の合言葉は“For the patients”です。心臓血管外科では、先天性心疾患、後天性心疾患（虚血性心疾患、弁膜疾患、重症心不全など）大動脈疾患（胸部・腹部の真性並びに解離性大動脈瘤）末梢血管疾患など、心臓血管領域全般の外科治療に携わっており年間約350症例の開心術を行っています。特に大動脈疾患手術においては日本有数の手術内容・症例数を施行しています。地域中核病院として重症例や緊急例に積極的に対応するばかりでなく、関連領域の国内外への情報発信基地となるべく、新しい外科治療の確立や手術成績向上への工夫、ステントグラフト、経カテーテル大動脈弁置換術などの低侵襲外科治療、最先端治療（ロボット手術の導入）などに取り組んでいます。多忙な診療科ではありますが若手教育は特に重視しておりますのでぜひ当科で研修してみてください。原則として初期研修期間は、自己研鑽などを除いて時間外勤務はありません。

研修目標

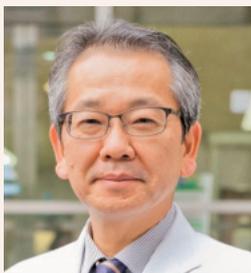
初期研修として、病棟での指示、検査オーダー、カルテの書き方などを習得して下さい。この作業を通して、病気の治療の流れや、より端的に病態を伝える能力、さらには豊富な外科症例を経験し外科的治療が及ぼす侵襲度やその軽減のための工夫を学んで下さい。心臓血管外科では、ICU患者さんも多く循環器系・呼吸器系の管理、高齢者及び小児等の患者管理を含めた緻密な全身管理が習得できます。さらに医師として極めて重要な患者さんとのコミュニケーションスキルやチーム医療の現状を先輩方より学んで下さい。

その他

外科学講座合同で手技指導のために若手医師を中心に定期的にwet labを行っています。機会があれば是非参加して下さい。

心臓の解剖や糸結びなどの手術の基本を熱血指導します。

■診療科長または指導医からのメッセージ



教授 岡田 健次

医師としてスタートとする初期研修期間はわからないことも多く不安な時期ではありますが、後の医師人生を決定する極めて重要な時期でもあります。それぞれの研修科での研修内容目標をしっかりと設定し指導医とのコミュニケーションを積極的に行うようにしてく



■研修時の週間スケジュール

毎朝 7 時よりの重症回診
 毎日 8 時よりカンファレンス（水：循環器内科、木：放射線科との合同カンファレンス）+抄読会
 月～金 毎日 1 例 開心術（+緊急手術）
 火、木、金 血管内治療 手術（+緊急手術）

研修内容、経験できる症例や手技

中心静脈ライン挿入、動脈ライン確保、胸腔ドレナージ、創縫合、開胸、閉胸など。症例数は多く短期間で多くのことを学べます。

Message

ださい。アカデミックな部分にも興味を持ち、学会活動や症例報告などにも取り組み、物事を突き詰めて考えるくせをつけて下さい。研修医時代は怒られることは仕事のひとつで若さの特権です。

呼吸器外科



※ Facebook ページ『神戸大学呼吸器外科』もやっています。イイネ！ よろしくお祈りします。

診療科の紹介（特徴や特色など）

呼吸器外科では悪性疾患（原発性肺癌・転移性肺腫瘍）、縦隔腫瘍、良性腫瘍、気胸、肺膿瘍・膿胸などの感染性疾患など幅広い分野の疾患を扱っています。原発性肺癌だけでなく、転移性肺腫瘍の手術を他科より依頼されることもあります。

当科では、ロボット支援下胸腔鏡手術（Robot-assisted thoracoscopic surgery; RATS）、完全鏡視下手術（Complete video-assisted thoracoscopic surgery; VATS）を中心とした、低侵襲手術で行えるように心がけています。最近では、進行癌に対しても手術、免疫療法を含む周術期治療を組み合わせた集学的治療を積極的に行っています。

研修目標

初期研修では主治医チームに所属していただき、主に病棟の患者さんを中心に上記疾患の手術、術後管理に積極的にかかわっていただきます。

さらにカンファレンスにも参加してもらい、治療だけでなく画像所見などの術前診断、手術適応や術式の決定などの考え方を学んでいただきます。良性疾患の中でも、自然気胸や膿胸などは日常診療上で遭遇することの多い疾患です。これらに対しては診断、治療法の選択・施行（胸腔ドレーンの留置など）、ドレーン管理が適切に行えるように指導していきます。

皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

当科のスタッフ

2012年に新しい体制でスタートした呼吸器外科は若手メンバーが多く、明るく、非常に活気のある教室です。皆やさしく教育熱心なので、聞きたいことがあったら、なんでも聞いてみてください。

研修内容、経験できる症例や手技

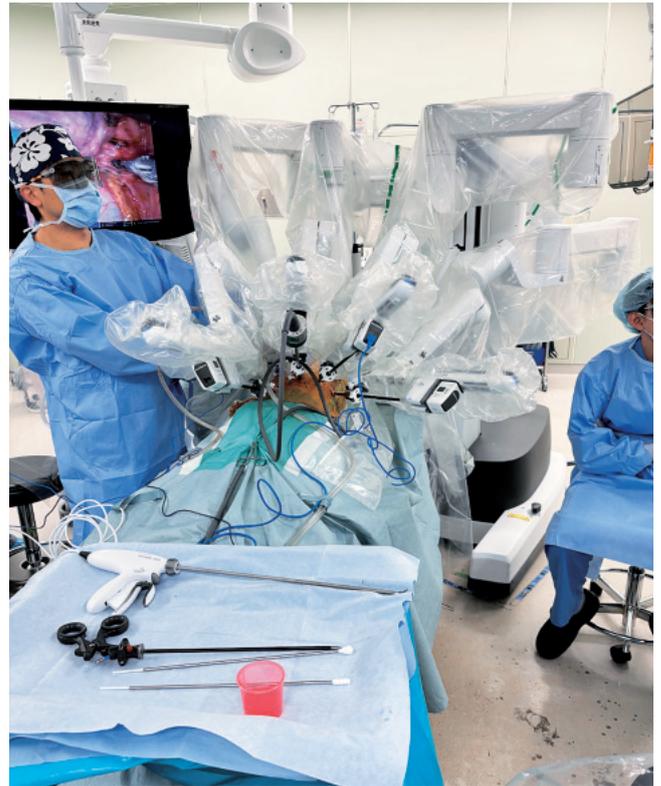
胸腔ドレーンの留置など、ベッドサイドでの外科的手技。手術に関しては卒後1～2年目で開閉胸手技、創縫合、可能であれば肺部分切除術の手技を術者として経験してもらいます。

■ 診療科長または指導医からのメッセージ



教授 眞庭 謙昌

我々は呼吸器、肺という臓器の診療を目的として診療科の垣根を越えてチームを作って診療に当たっています。例えば肺癌治療においても、診断から治療、治療の中でも化学療法や外科治療などを組み合わせたいわゆる集学的治療において、連携というよりは一体となって取り組んでいるのが我々です。ですから、今後どのような専攻を選ばれるにしても、



■ 研修時の週間スケジュール

- 朝の病棟回診を7時30分から行っています。
- 手術日は火曜日、水曜日、金曜日、担当症例の手術に参加してもらいます。
- 毎週月曜日の朝回診の後には抄読会を行っており、呼吸器外科領域における最新の知見を深められるようにしています。
- 毎週水曜日は朝回診の後に呼吸器外科カンファレンスを行っており、術前症例のプレゼンテーションと症例検討を行っています。
- また、毎週月曜日の16時15分からは呼吸器内科、放射線診断・IVR科、放射線腫瘍科、病理診断科とともに合同カンファレンスを行っており、呼吸器疾患に対する治療方針の検討を行っています。

Message

幅広い実践をしっかりと勉強してもらえんと思います。もちろん外科治療についてもロボット支援下手術から拡大手術まで当領域の手術をくまなく経験していただけます。

小児外科



診療科の紹介（特徴や特色など）

小児外科は、新生児から中学生、時には成人まで幅広い年齢層の患者さんを対象に外科治療を行う診療科で、診療の対象とする臓器は頭頸部や胸部、腹部、泌尿生殖器、体表など多岐にわたります。小児外科医は、こども特有の病態を理解して専門的な診断治療を行い、それに加えて、近年進歩が目覚ましい内視鏡手術（胸腔鏡・腹腔鏡）やロボット支援手術など外科で必要とされる正確かつ高度な外科技術を身につけています。外科治療を必要とするこどもに最善の手術を行い、そして成長をフォローするという、未来を作り出す診療科です。神戸大学小児外科の特色としては、特に小児気道疾患に関して日本でも有数の施設であり、日本各地から患者さんが受診され専門性の高い診断・治療を行っています。また、消化器内科・小児科と小児内視鏡センターにて先進的内視鏡治療や ERCP など積極的にを行っています。また、小児へのロボット支援手術を積極的に導入しており、患者さんに最適な治療を考えて提供しています。



研修内容、経験できる症例や手技

<研修内容>

- ・主治医団の一人として小児外科診療に携わり、小児の特性を理解する。
- ・全手術に参加し、小児外科特有の臓器の解剖や外科基本手技を取得する。
- ・病棟や外来にて小児外科処置を実施する。
気管切開チューブ交換、胃瘻交換、抜糸などの処置を指導医のもと実施する。また、手技練習として腹腔鏡トレーナーや模擬皮膚を用いて外科縫合練習を行う。
- ・カンファレンスでの症例プレゼンテーション能力を向上させる。
スマートなプレゼンテーション・スライド作成法など 1 からマンツーマンで教えます!!

<研修疾患>

頭頸部：声門下腔狭窄症、頸部瘻孔、頸部リンパ管奇形、正中頸嚢胞など
 体表：鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、臍ヘルニアなど
 胸部・呼吸器：漏斗胸、先天性嚢胞性肺疾患、気胸など
 腹部：急性虫垂炎、腸重積、肥厚性幽門狭窄症、先天性消化管閉鎖、先天性横隔膜ヘルニア、Hirschsprung 病、鎖肛、腸回転異常症、消化管穿孔、胆道拡張症、胆道閉鎖症、胃食道逆流症、胆石症、脾腫（遺伝性球形赤血球症など）、腫瘍（肝芽腫、神経芽腫、横紋筋肉腫、転移性肺腫瘍など）、痔瘻など
 泌尿器：停留精巣、精巣捻転症、尿管管遺残症など
 その他、小児科と協力しながら、炎症性腸疾患などの消化器疾患の診断・治療や、近年増加している外科治療を必要とする重症心身障害児の受け入れを積極的に行っています。
 また、NICUの小児科医師や産婦人科医師と協力して、新生児外科疾患の研修も行います。

■研修医の週間スケジュール

- ・月・木・金曜は 8 時、水曜は 7 時半、火曜は 7 時45分から病棟回診を行います。
- ・病棟回診後、カンファレンスにて術前・術後報告のプレゼンテーションを行います。
- ・毎週火曜日13時半からの術前カンファレンスにて術前症例のプレゼンテーションを行います。
- ・毎週火曜日 8 時半からの新生児科との合同カンファレンス、17時05分からの小児病棟カンファレンスに参加します。
- ・入院患児の採血や処置などを指導医の指導のもとに行います。
- ・入院患児の問診、診察を行い、検査計画をたて、結果を基にしたアセスメント、治療計画立案などのディスカッションを指導医とともに進めます。
- ・定期手術は水曜日と木曜日に行っており、その他緊急手術にも参加し、手術研修を行います。
- ・週 3 回の外来診療にて、外来処置や診察の研修を行います。
- ・第 4 or 5 週火曜日の小児科と合同の研究発表会にて、指導医のもとに症例報告のスライド発表を行います。

■診療科長または指導医からのメッセージ



特命教授 尾藤 祐子

小児外科は、新生児・乳児から成人まで幅広い年齢の患者さんを対象とし、外科手術や治療を行う診療科です。こどもも診ることができ、外科処置も学ぶことができ、またこどもたちの未来に関わる診療に接することなど、小児外科は初期研修先として若手医師が多くのことを総合的に研修できる診

療科であると思います。一方で専門性が高い分野であり、先輩医師と接することで、プロフェッショナルとしての医師の将来像を描けるようになります。将来の糧になるよう、私たちが全力で研修をサポートします。

Message

整形外科



診療科の紹介（特徴や特色など）

運動器を扱う整形外科では、スポーツ障害や関節疾患、骨折などの外傷性疾患、腰椎椎間板ヘルニアや加齢に伴う変形性脊椎症などの脊椎疾患、骨軟部に発生する腫瘍性疾患など、多種多様な疾患を対象に診断・治療を行っています。

運動器疾患は腰痛や肩こり、四肢関節痛など、日々の臨床において遭遇する愁訴の原因となっていることが多いです。また近年の高齢化で、整形外科のニーズは増加の一途を辿っており、将来整形外科を専門科として志望される先生はもちろん、他科を志望される先生にとっても、初期臨床研修中に整形外科を経験することは今後の臨床活動に大いに役立つことと思います。

研修目標

運動器疾患や外傷に対する診断や治療の方法について基本的な知識と技能を習得することを目的に研修を行っています。

大学病院整形外科は、スポーツ、腫瘍、脊椎、外傷、人工関節、上肢の6つのグループが、それぞれ専門性の高い日々の臨床と研究を行っています。研修期間中はいずれかのグループにその一員として所属していただきます。所属グループ上級医の指導のもと、外来・入院患者さんの診療や検査、手術手技など、診断から治療に至るまでのプロセスや考え方について学んでいただけます。加えて所属グループだけでなく、各グループの指導医が様々な疾患の診療や治療について総括的教育を行います。

1. 問診と診察法を習得する
2. 適切な画像検査と画像診断の基礎を習得する
3. 基本的な治療法の知識・選択について会得する
4. 基本的な手術手技を体験・習得する

その他

神戸大学整形外科ホームページも是非ご覧ください。
<https://www.med.kobe-u.ac.jp/ortho/>

研修内容、経験できる症例や手技

スポーツグループ、脊椎グループ、外傷グループ、腫瘍グループ、人工関節グループ、上肢グループのいずれかに所属して頂きます。各グループのスタッフと共に行動することで、整形外科特有の診察手法、診断法、処置、手術について学んでいただけます。

■診療科長または指導医からのメッセージ



診療科長補佐 林申也

「整形外科」といえば、皆さんの中では「スポーツ」、「体育会」、「骨折」といったイメージでしょうか？それはしっかり「正解」なのですが、それだけではありません。日本人の国民病といわれる「腰痛」や「肩こり」の診療から、四肢・骨盤・脊椎外傷に対する救急医療、骨軟部腫瘍に対する集学的治療、先天性四肢奇形を含む小児整形から、増加し続ける高齢者の健

康寿命を延ばす人工関節手術、そしてリハビリテーション医学、さらには関節リウマチや骨粗鬆症などの治療も行っていきます。このように幅広い分野を担当する診療科なので、誰もが自分の興味ある分野を見つけることができます。1か月のみの研修でも大歓迎ですので、ぜひ整形外科にお越しください。皆様と一緒に仕事できるのを楽しみにしています!!



■研修時の週間スケジュール

月曜日午前 ・外来 ・病棟	水曜日午後 ・外来 ・病棟
月曜日午後 ・外来 ・病棟	木曜日午前 ・外来 ・病棟
火曜日午前 ・手術	木曜日午後 ・廻診 ・カンファレンス
火曜日午後 ・手術 ・検査	金曜日午前 ・手術
水曜日午前 ・外来 ・病棟	金曜日午後 ・手術 ・病棟

Message

脳神経外科



診療科の紹介（特徴や特色など）

脳神経外科は脳や脊髄などの中枢神経や末梢神経の疾患に対して、外科的な治療を行っています。しかし、外科的治療を柱としながらも、薬物療法も積極的に行います。脳神経外科の領域は、血管障害（脳梗塞や脳出血、クモ膜下出血など）、脳腫瘍、外傷、機能的疾患（てんかん、パーキンソン病など）、脊髄疾患、小児脳神経外科疾患など、6つの領域に大きく分類されます。脳神経外科が扱う疾患は、脳卒中や外傷など一刻を争う救命救急疾患から、じっくり患者と向き合って治療する腫瘍、機能的疾患まで、様々な疾患があり、自分の性格に合った領域を選択することが出来ます。

研修目標

脳・脊髄疾患に対する診断や治療の方法について、基本的な知識と技能を習得することを目的に研修を行っています。手術に関しては、基本的な外科手技の習得から、最も基礎的な穿頭術などを習得してもらいます。我々の教育目標は、地域社会に貢献できる一人前の脳神経外科医の養成ならびに世界をリードできる人材の育成です。脳神経外科指導医が様々な疾患の診療や治療について情熱を持って教育を行っています。

■ 研修時の週間スケジュール

月～金まで原則毎日手術を行っており、担当症例では手洗いして手術に参加してもらいますが、担当症例でなくても、手術に参加することは可能です。その他、火曜日午前に抄読会、水曜日に血管内治療、火・金曜日午前に脳血管撮影検査、火・金曜日午後に術前・術後カンファレンスならびに教授回診を行っています。



その他

将来脳神経外科医を目指さないけれど脳疾患や脳の手術に興味があるという研修医の受け入れも積極的に行っています。例を挙げると、脳神経外科の疾患にかかわりのある神経内科、精神科、循環器内科、眼科、放射線科、放射線腫瘍科などを目指す研修医などです。脳神経外科の手術を体験し、患者を治療する機会をもつことで、将来目指す診療科に役立つと思われれます。

研修内容、経験できる症例や手技

初期臨床研修修了後は、神戸大学医学部附属病院あるいは関連訓練施設にて、脳神経外科専門医を取得するまで研修を積みます。専門医取得に向けての研修は、それぞれの専門性を有した教員の指導のもと、症例を担当し臨床実地にて学習します。

当附属病院においては、顕微鏡手術、内視鏡手術、術中MRIやナビゲーション、覚醒下手術、血管内治療など、最新の技術を取り入れて治療にあたっています。頭部外傷や脳血管障害などの緊急症例、生活習慣病を合併する症例などをも扱うため、救急処置や全身管理も身に付きます。

■ 診療科長または指導医からのメッセージ

Message



教授 篠山 隆司

脳神経外科医を志す人のみでなく、他の専門を目指す人にも最新の中枢神経疾患の診断、治療を経験する機会が得られ、有意義な時間を過ごすことが出来ます。



助教 長嶋 宏明

平成19年に富山大学を卒業し、現行の卒後臨床研修制度の第四期生として神戸大学卒後臨床研修を修了いたしました。その後脳神経外科専門医取得、米国研究留学を経て脳神経外科臨床、研究、教育に携わっています。アットホームな雰囲気の中、スタッフ一同責任と熱意を持って指導にあたります。少しでも当教室に興味を持っていただいた方は、ぜひ一度見学にお越しください。

選択科目

眼科



HP



Facebook



Instagram

診療科の紹介（特徴や特色など）

視覚は外界からの情報の80%を処理し、12対の脳神経の半数は、眼科関連の組織を支配、視覚関連領域は脳の3割を占めているとされています。眼科は感覚器のなかでも重要な視覚システムを守る極めて専門性の高い診療科です。

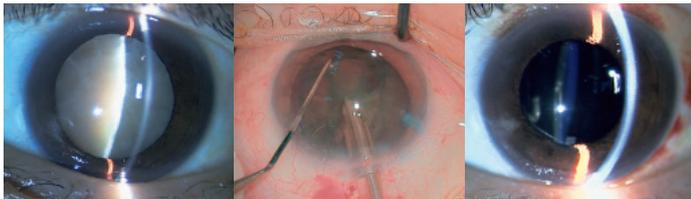
神戸大学眼科は、眼科領域全体を網羅する専門外来を有し、高いレベルの診療を行うことのできる体制が整っています。外来・入院・手術症例とも豊富で、典型例から難症例に至るまで、各領域にわたって多彩な症例に触れることができる卒後臨床研修の好条件を備えています。さらに、将来、眼科専門医を目指す医師には、卒後臨床研修修了後に眼科専門医になるまでの研修プログラムも整備されています。

研修目標

初期研修では、眼科疾患の基礎知識、基本的な診察手技の習得、周術期管理を知ることを目標とします。

その他

神戸大学眼科ホームページ <http://kobe-med-ganka.com/>



白内障 術前

白内障手術

術後

研修内容、経験できる症例や手技

病棟で上級医と共に習得

眼科診察の基本手技（細隙灯顕微鏡、眼底検査）
眼所見の取り方とその記載
視力検査、眼圧検査など各種検査とその解釈

経験できる症例と手技

白内障、網膜硝子体疾患や緑内障、角膜疾患、視神経疾患や甲状腺眼症、斜視、ぶどう膜炎
眼科緊急疾患（外傷や網膜剥離他）
顕微鏡下での操作を中心とした眼科手術とその介助や術後管理。
ハンズオンセミナーでは、白内障を中心に眼科内眼手術の操作を体験。

外来診療

教授初診に同席して眼科診断学の基本を学ぶ。

カンファレンス

症例のプレゼンテーション、問題点の抽出、診断や治療におけるキーポイントを学習。
抄読会や専攻医への講義も受け、必須知識を習得。

診療科長または指導医からのメッセージ



教授 中村 誠

眼科は内科的な診断治療からマイクロサージェリーまで、視覚に関して包括的に取り組む診療科です。また、視力の改善は患者の生活習慣や認知機能の向上にも寄与します。日々の治療が、即患者の笑顔となって結果に表れる、やりがいの

あるのが眼科の魅力です。神戸大学眼科は、最先端の治療で目の前の患者を救いつつ、まだまだ残る難治性眼疾患の病態解明に一丸となって取り組んでいます。可能生あふれる若い皆さんの参加をお待ちしています！



■研修時の週間スケジュール

月曜日

・入院患者および術前カンファレンス（8時～）
教授初診 病棟業務・手術

火曜日

・病棟業務・手術

水曜日

・抄読会・症例検討会（8時～）・病棟業務・病棟回診

木曜日

・病棟業務・手術

金曜日

・病棟業務・手術

その他

*エッセンシャルレクチャーなど随時

Message

耳鼻咽喉・頭頸部外科

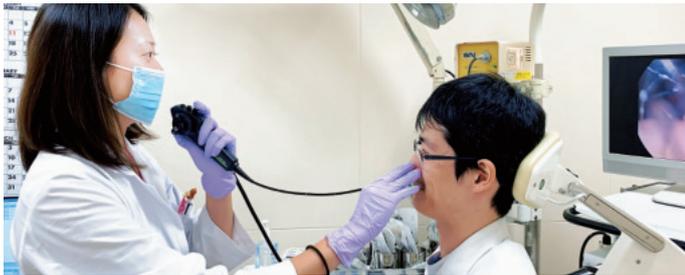


診療科の紹介（特徴や特色など）

- ・耳鼻咽喉・頭頸部外科では、急性扁桃炎や中耳炎、鼻出血、アレルギー性鼻炎、めまいなどのプライマリケアに関わる疾患から、聴力改善手術、鼻・副鼻腔疾患に対する内視鏡手術、音声改善手術や頭頸部癌の治療など専門性の高い診療まで、幅広い分野を扱っています。
- ・聴く（聴覚）、匂う（嗅覚）、味わう（味覚）、バランス感覚（平衡覚）などの感覚器の異常、摂食嚥下機能や音声・言語機能も耳鼻咽喉科頭頸部外科の守備範囲です。
- ・医局のスキルス・ラボではシミュレーターを使って鼓膜の診察、喉頭内視鏡検査、頸部超音波検査、鼻内視鏡手術、中耳手術のトレーニングを行うことができます。

研修目標

耳・鼻・咽頭・喉頭・頸部に関する基本的診察能力と、鼻出血止血法や気管切開、経鼻経管栄養などのプライマリケアを身につけ、小児から高齢者まで幅広い年代の耳鼻咽喉科疾患の病態と治療法を理解することを目標としています。



■研修時の週間スケジュール

月曜日	・手術・初診・病棟業務
火曜日	・初診・耳外来・めまい外来・カンファレンス・抄読会
水曜日	・喉頭外来・唾液腺甲状腺外来・嚥下外来（摂食嚥下対策チーム）・手術
木曜日	・鼻外来・難聴外来・顔面神経外来・腫瘍外来
金曜日	・手術・初診・病棟業務

研修内容、経験できる症例や手技

主治医チームの一員として、指導医とともに症例を担当していただきます。担当してみたい疾患・領域などに希望があれば柔軟に対応します。病棟業務と手術を中心としていますが、希望があれば外来診療も経験して頂けます。また3ヶ月以上ローテーションしてもらえれば、当科の領域を一通り経験してもらえるように配慮します。

○手技

喉頭内視鏡検査、頸部超音波検査、聴力検査、めまい平衡機能検査、嗅覚検査等の検査手技、気管切開や頸部リンパ節摘出術等の手術、頭頸部腫瘍や甲状腺唾液腺腫瘍手術の助手

○疾患

難聴・中耳炎、めまい・平衡機能障害、顔面神経麻痺、慢性副鼻腔炎、嗅覚障害、音声・言語障害、摂食・嚥下障害、耳下腺腫瘍、甲状腺腫瘍、頭頸部癌（口腔癌、咽頭癌、喉頭癌）

■診療科長または指導医からのメッセージ

Message



教授 丹生 健一

耳鼻咽喉科・頭頸部外科が扱う領域には、咀嚼・嚥下や呼吸など生命維持に必須の臓器、音声によるコミュニケーションや平衡機能・味覚・嗅覚などヒトが人として生きていく上

で欠かすことができない機能を司る臓器が集中しています。「命と機能を守る外科」の醍醐味を皆さんも是非、経験してください。

泌尿器科



診療科の紹介（特徴や特色など）

泌尿器科の特徴として、悪性疾患だけでなく男性不妊、性機能障害、腎移植、感染症、および排尿障害など疾患が多岐にわたっていることがあげられます。また、ロボット手術などの低侵襲手術に取り組んでいる一方で、再発例や手術困難例に対しては抗癌剤などをを用いた内科的治療も行っており、単科のみで一貫した治療が可能で、とてもやりがいのある診療科であると思います。

研修目標

日々の臨床を通じて泌尿器科的な検査法、診断学、治療法はもとより、尿路カテーテル操作の手技、手術の基本手技などを習得することを目標とします。

■研修時の週間スケジュール

月曜日 7時30分 ・受診患者回診	火曜日 9時 ・手術 ・外来/検査/病棟処置	水曜日 午後 ・前立腺小線源治療/検査	木曜日 17時～ ・泌尿器科・腎臓内科移植合同カンファレンス（症例ごと）
月曜日 8時15分 ・チームカンファレンス	火曜日 午後 ・手術/検査	水曜日 17時～ ・関連病院手術手技研究会（4回/年）	金曜日 7時30分 ・症例カンファレンス
月曜日 9時 ・手術 ・外来/検査/病棟処置	火曜日 17時～ ・泌尿器科・放射線科合同カンファレンス	木曜日 7時30分 ・受診患者回診	金曜日 8時15分 ・教授回診
月曜日 午後 ・手術/検査	水曜日 7時30分 ・受診患者回診	木曜日 8時15分 ・チームカンファレンス	金曜日 9時 ・外来/検査/病棟処置
月曜日 17時～ ・チームカンファレンス	水曜日 8時15分 ・チームカンファレンス	木曜日 9時 ・手術 ・外来/検査/病棟処置	金曜日 午後 ・手術/検査
火曜日 7時30分 ・症例カンファレンス	水曜日 9時 ・外来/検査/病棟処置	木曜日 午後 ・手術/検査	金曜日 17時～ ・関連病院合同研究会・カンファレンス（1回/月）
火曜日 8時15分 ・教授回診			



研修内容、経験できる症例や手技

- 臨床現場での実地修練（on-the-job training）に加えて、研修医が幅広く学習できる下記のような内容のカリキュラムを用意しております。
- ・診療科におけるカンファレンスおよび関連診療科との合同カンファレンスを通して病態と診断過程を深く理解し、治療計画作成の理論を学ぶ。
 - ・抄読会や勉強会を実施し、インターネットによる情報検索の指導を行う。
 - ・hands-on-trainingとして積極的に手術の助手を経験させる。その際に術前のイメージトレーニングと術後の詳細な手術記録を実行させる。
 - ・手術手技のトレーニングカリキュラムや教育ビデオなどの充実を図る。
 - ・腹腔鏡トレーニングのためのドライボックスの設置、動物を用いた手術実習の実施。
 - ・ロボット手術トレーニングのための専用機の設置、動物を用いた手術実習の実施。
 - ・手術ビデオ閲覧、編集のためのOA機器の設置。

■診療科長または指導医からのメッセージ



助教 西岡 遵

毎年恒例のバーベキューや釣り大会、医局旅行などファミリー企画も盛りだくさんです。泌尿器科に興味のある方は全員ウェルカムです。楽しく泌尿器科で研修して下さい。

Message

産科婦人科



診療科の紹介（特徴や特色など）

○産科・生殖医学

総合周産期母子医療センターとして、母体と胎児の集中治療室（MFICU）6床を備えており、母体の重症合併症ならびに妊娠26週未満早産の新生児治療にも対応しています。分娩時大量出血をきたす疾患に対しては、放射線科と連携して子宮動脈塞栓術を施行しています。また、自己免疫疾患、糖尿病、腎臓疾患など内科合併症を有する妊娠のほか、婦人科疾患合併妊娠とその分娩管理に十分な実績があります。また、母子感染の産科診療を積極的に行っています。

不育症専門外来では、反復流産、死産を含めた不育症に悩む夫婦をサポートし、リスク因子の精査と治療を行っています。難治性の習慣流産の新たな治療法として、倫理委員会の承認を得て大量免疫グロブリン療法を1993年から継続して行っており、良好な成績をあげています。

○婦人科

婦人科腫瘍専門医制度研修指導施設、内視鏡技術認定医指導施設の認定を受け、婦人科悪性腫瘍（子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、外陰がんなど）の集学的治療を行なっています。進行例や合併症のある症例が多いのが特徴で、高齢者やさまざまな合併症を有する患者さんに対しても、患者様の状態に応じて、根治性と機能温存、低侵襲をめざした治療を提供しています。その一環として腹腔鏡下ないしロボット支援下手術を積極的に実施しています。

卵巣嚢腫、子宮筋腫や子宮内膜症などの良性疾患に対しては、ほぼ全例に腹腔鏡・ロボット支援下手術や子宮鏡による低侵襲手術で対応します。また、比較的頻度の低い、絨毛性疾患や先天性腔欠損症など性分化異常症に対する診療も行っています。



研修目標

1. 妊娠分娩と産褥期の管理並びに新生児の医療に必要な基礎知識と育児に必要な母性の育成を学ぶと同時に、妊産褥婦に対する投薬並びに治療や検査を施行する上での特殊性について研修します。
2. 女性特有の救急医療を研修し、正確な診断に基づく初期治療の研修を行います。
3. 思春期、性成熟期、更年期における女性特有の肉体的、精神的変化および加齢に伴う性ホルモン環境の変化を理解し、これらに関連した疾患の診断と治療を研修します。
4. 婦人科良性疾患に対する腹腔鏡手術、ロボット手術、子宮鏡手術、腔式手術などの低侵襲手術を含む手術療法と周術期管理、薬物療法について研修を行います。
5. 婦人科悪性疾患の診断および、悪性腫瘍手術（腹腔鏡下、ロボット支援下手術を含む）、化学療法、放射線療法、疼痛管理についての研修を行います。

その他

初期研修後は日本産科婦人科学会専門医の取得を目指します。その後、さらに専門的な研修を行い、母体保護法指定医、周産期（母体・胎児）専門医、臨床遺伝専門医、日本婦人科腫瘍学会専門医、内視鏡技術認定医、日本臨床細胞学会専門医、日本女性医学会ヘルスケア専門医、日本生殖医学会生殖医療専門医などの取得が可能です。

■研修時の週間スケジュール

月～金曜日	木曜日
産科・婦人科合同カンファレンス	・婦人科カンファレンス
月曜日	・教授回診
・婦人科カンファレンス	・術前後症例検討会*
・母子カンファレンス*	・骨盤カンファレンス*
・病理カンファレンス	・化学療法カンファレンス*
水曜日	
・放射線治療カンファレンス*	

* 母子カンファレンスは小児科、放射線治療カンファレンスは放射線腫瘍科、病理カンファレンスは病理診断科、術前後症例検討会は放射線診断科、骨盤カンファレンスは食道胃腸外科・泌尿器科・整形外科、化学療法カンファレンスは腫瘍・血液内科との合同カンファレンス

研修内容、経験できる症例や手技

産科・婦人科合同チームに配属され、複数の専門医による指導を受けます。周産期医療、婦人科腫瘍、さらには内分泌疾患、不妊・不育、更年期障害等に対する研修を行い、技術と知識を修得するとともに、患者と医師間における信頼関係を獲得することを目標とします。産科では、胎児エコーや妊娠管理を多数学ぶことができます。重症例ばかりではなく、正常妊娠・分娩を経験することも可能です。婦人科では手術だけでなく化学療法や放射線療法についても経験することができます。手術としては産科では、主に帝王切開術を行います。妊娠20週台の帝王切開や前置胎盤の帝王切開を経験することが出来ます。婦人科では、子宮筋腫、卵巣嚢腫などの良性疾患に対する開腹術や腹腔鏡手術はもちろんのこと、開腹、腹腔鏡下、ロボット支援下悪性腫瘍手術も経験できます。

■診療科長または指導医からのメッセージ

Message



診療科長 寺井 義人

産婦人科領域は腫瘍・周産期・生殖内分泌・女性ヘルスケアの4領域に渡る広い領域をカバーする診療科で、まさに女性の様々なライフステージをトータルにサポートする診療科です。周産期領域では、正常分娩や様々なリスクを持った合併症妊娠の管理を学べます。また母体の状況は妊娠中や分娩時、分娩後に急変することもあり、母体と胎児の2つの生命に対応しなければならず、最も緊急を要する科でもあります。

婦人科腫瘍領域においては、放射線治療、抗がん化学療法などを組み合わせた集学的治療や低侵襲性と機能温存も考慮した内視鏡手術（腹腔鏡手術・ロボット手術）を多く行っており、これら最先端の医療技術を習得することができます。このように、内科的医療と外科的医療について幅広く学べる産婦人科で、我々と一緒に有意義な研修をしていただければと思います。

形成外科・美容外科



診療科の紹介（特徴や特色など）

身体の中でも、顔面・手足など外から見える部位の組織欠損・変形・醜状に対し、機能的、美的に身体の改善を行う外科です。

取り扱う疾患は、顔面・手足などの先天異常や顔面骨折などの外傷、皮膚・皮下腫瘍、瘢痕・ケロイド・瘢痕拘縮、褥瘡・難治性潰瘍、顔面神経麻痺、眼瞼下垂症、リンパ浮腫、美容外科など多岐にわたります。

当科の特徴として、頭頸部癌摘出後や乳癌切除後のマイクロサージャリーによる再建症例が多いです。研修期間に様々な疾患を経験することが可能で、他院では治療困難とされた難治性創傷症例に対しても積極的に多くの診療科と連携して治療にあたっています。皆様が将来どの科にすすむとしても役立つ知識を学ぶことができます。



研修目標

各疾患の診察や治療を通じて、形成外科の基礎的な知識を習得する。また、傷をきれいに治す・治らない傷を治すという、他科でも重宝される形成外科ならではの技術を学ぶ。



研修内容、経験できる症例や手技

主治医チームの一員として、指導医とともに症例を担当していただきます。指導医の監督のもと、診察・検査・診断を行い、手術術式や計画を実際にシミュレーションします。入院、手術～術後経過観察まで一貫して携わることにより臨床経験を積んでいただけます。

縫合法（マイクロサージャリー、器械縫合、手縫合）を希望者にはどんどん指導します。

形成外科の学会をはじめ各種学会への参加や発表が可能です。研修中に論文執筆された研修医の先生もおられます。発表原稿作成や論文推敲の指導を受けることも可能です。

形成外科専門医取得を見据えた形成外科的スキルの習得を目標とされる場合は、初期研修からのローテーションを計画されることをお勧めします。

■研修時の週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来・手術	外来	手術	外来	外来・手術
午後	病棟・手術	回診・カンファレンス CLTIカンファレンス (循環器内科との合同カンファレンス)	手術	創傷外来 褥瘡回診	病棟・手術

■診療科長または指導医からのメッセージ



教授
寺師 浩人



病棟医長
政岡 浩輔

形成外科は、頭のとっぺんから足のつま先まで、主に体表における様々な疾患を扱っています。その中で、外傷や癌切除後の組織再建においては、数多くの外科系診療科(口腔外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、食道胃腸外科、整形外科、乳腺内分泌外科、脳神経外科など、五十音順)と関わり合いながら、治療を行っています。また、糖尿病や膠原病を基礎疾患にもつ難治性潰瘍治療においては、それらの内科と関わることも少なくあ

りません。つまり形成外科を志望する医師のみならず、他の診療科を志望する医師にとっても、様々な疾患を創傷治療学や再建外科学といった、ひと味違った観点から学ぶ良い機会になると思います。皮膚縫合をはじめとした重要な基本手技を習得することもできます。少しでも興味を持っている研修医の皆さん、是非一度形成外科の門を叩いてみてください。一緒に診療できることを楽しみにしています。

Message

麻酔科



診療科の紹介（特徴や特色など）

神戸大学麻酔科のモットーは

「Patient First」「王道を歩む」

神戸大学麻酔科は手術中だけではなく、術前術後も含めて患者さんに寄り添う医師、世界中どこに行っても通用する基礎の土台がしっかりとした麻酔科医になれるよう日々研鑽を積んでいます。また、麻酔だけでなく、重症患者を治療する集中治療や、あらゆる痛みを治療するペインクリニックの診療も行っています。

研修目標

麻酔、集中治療管理を通じて全身管理の正しい知識と確かな技術を習得してもらうことを目標としています。

そして、その知識と技術を活かして将来チーム医療の中心として活躍できる先生になってほしいと願っております。



研修内容、経験できる症例や手技

見て学び やって覚えて 振り返る

手術麻酔では指導医の監督のもと、周到な準備と緻密な麻酔計画によって安全な周術期管理を行える力と不測な事態にも対応できる力を養います。

集中治療では集中治療専門医の監督のもと、各科の医師と協力し合いながら重症患者に対する集学的治療を行う力を養います。

研修医レクチャー

- ・ 確かな技術を習得しよう：気道管理編
- ・ 設定一つで予後が変わる!?人工呼吸器のいろは
- ・ 輸液の基本 ～コンパートメントと輸液の種類～
- ・ 術前評価ができるようになる ～心機能評価を中心に～
- ・ 術後鎮痛の基礎を学ぶ



診療科長または指導医からのメッセージ



教授 溝渕 知司

麻酔は手術侵襲から生体を護ることを目的に行われますが、生体は侵襲が加わると様々な変化を起こします。循環、呼吸だけでなく内分泌、神経、代謝など数値としては見えない細胞レベルまでの変化が起きています。是非、麻酔科の研修でそのダイナミックさと、それらを管理する麻酔科学の面白さと重要

性を学んで、一人でも多くの方が麻酔科学に興味を持ち、一人でも多くの方が麻酔科医になっていただきたいと考えています。また、麻酔は全身臓器を護るという観点から、重症患者を管理する集中治療や、痛みの診断と治療を行うペインクリニックの勉強もしていただきたいと考えています。

Message

救命救急科



診療科の紹介（特徴や特色など）

救急部門は、1992年に、多くの専門的な診療科から構成される大学病院にあって、当時はまだ少なかった複合的な疾患や多部位に渡る多発外傷などを受け入れる部門として設置されました。そして、1995年の阪神・淡路大震災で救急部が中心となって多くの被災者を受け入れ治療したことを契機として、本邦の最初の災害・救急医学研究の拠点として教室（講座）が設立されました。以来、平時においては高度で最先端な救命救急医療を地域の人々や神戸大学病院で治療中の方々に提供し、特に重症救急患者への救急医療を中心に医学生及び研修医の教育・研究を行い、災害医療においては、医療チームや調査団の海外派遣、被災地でのDMAT活動や救護チーム活動、派遣、院内災害訓練などを行っています。

2018年4月から、総合診療を担う総合内科とともに勤務体系を組み、合同カンファレンスを行い、病棟も同じ階にして、両科がひとつのチームとして救急・総合診療を展開しています。また、従来救急専門医だけで構成されていた救急部には外科系を中心に診療科から医師が出走し、様々な専門性を持つ医師たちが多彩な疾患に対応します。同時に総合内科にも全内科から多くの医師が出走し、24時間体制で内科系救急患者に対応しています。これらの診療体系の改変により、病院全体が救急・総合診療に関わるシステムとなり、2019年7月には救命救急センターを設置し、2020年7月からはER内に新設した重症ベッド（ECU）の稼働を開始し、2021年11月には感染症患者への対応を強化するためにERを拡張しました。

一方、病院前救護におけるメディカルコントロール体制の充実強化に向けて救急救命士への助言指示体制の強化や再教育にも力を注いでいます。また、院内全職員を対象に「off the job training」としてBLS、ALS（ICLS、JMECC）、JATEC等を救命救急センタースタッフが中心となって定期的で開催しながら、個々のスキルアップやチーム力向上に積極的に取り組んでいます。

このような臨床経験、教育環境の中で、初期研修医の皆さんは、多彩な救急疾患の初期対応能力を身に付けるとともに、多くの先輩医師や同僚医師たちとの生涯に渡る人脈形成ができるでしょう。

研修目標

科学的根拠に基づいた医療が実践できる医師として必要な基本的診察能力を身に付け、人格を涵養することを目的としています。

1. 救急外来において、初療医として適切な初期診断・初期治療を行うことができる。
2. 救急医療システムを理解し、生命や機能的予後に関わる緊急を要する病態や疾病・外傷に対する診療を理解し、実践参加できる。
3. 集中治療の基本を理解し、実践できる。
4. 災害医療の基本やシステムを理解し、実践参加できる。
5. 蘇生や外傷、災害などの標準化コース（ICLS、JATEC、MCLSなど）やセミナー（DMAT 隊員養成研修、NBC テロ対策セミナーなど）に参加する。

研修内容、経験できる症例や手技

ショックや重篤な患者の初期診断、蘇生処置（静脈路確保、挿管）、臨床データの解析や画像の読影、特殊治療の経験（PCPS、ECMO、血液浄化、低体温療法など）

■ 診療科長または指導医からのメッセージ



診療科長 小谷 穰治

最近は専門分野が細分化され、「〇〇の専門」という医師が多くなりました。しかし、一般医が遭遇する患者さんは、複数の専門分野にまたがった複合疾患であることが殆どで、社会の高齢化もあり、重症症例が増加しています。そこで、まず呼吸や循環を立ち上げ、救命のために行うべき検査と治療を見抜く力を身につけることは、どの診

療科に進むにしても将来大変役に立つことです。それから、救命救急センターでは多くの職種や医師たちが集い協力して仕事をしますので、生涯に渡る友人や、もしかしたら伴侶となる人達と出会う場所でもあります（実際にここで出会って結婚した人たちはたくさんいます：私もそうです）。さあ、真面目で真摯に、でも楽しくやりましょう！



■ 研修時の週間スケジュール

- 症例カンファレンス（毎朝夕）
- 救急外来及び病棟診療
- 抄読会（適宜）
- 症例発表会（ローテーション毎）
- 以下、希望により、
- 各種スキル（BLS、ALS、ICLS、ISLS、JMECC、JATEC）講習会への参加
- 多数傷病者対応コース
- NBC テロ災害セミナー等への参加

Message

病理診断科



診療科の紹介（特徴や特色など）

我々病理診断科は、日本でも最も活気のある病理診断部門として知られています。神戸大学医学部附属病院で診療している多岐にわたる症例の病理診断を担当し、幅広い範囲の知識を得ることができます。各分野の専門家を擁し、広い範囲の病理に加え、subspecialtyとして高度な専門知識も習得可能です。他施設との連携が深くリンパ腫、肝臓、呼吸器、内分泌臓器、軟部腫瘍、脳腫瘍、腎生検など幅広い臓器の専門家がいます。

技師も含め若手のスタッフが多く、部署内でのディスカッションが盛んです。また、子育て中の女性医師だけでなく男性医師にも働きやすい環境です。

臨床科との連携も重視しており、たくさんのカンファレンスを行っています。これらのカンファレンスを通して、臨床病理学的な知識を広く習得可能です。

研修目標

- ・病理診断の基本（肉眼像、組織・細胞所見、免疫染色など）が理解できる。
 - ・外科的切除標本から適切な肉眼所見を読み取り、鑑別診断をあげることができる。
 - ・病理症例の評価ができ、組織像に基づいて鑑別疾患を挙げることができ、適切な臨床診断へ導く病理所見・診断を記載できる。
 - ・検体の切り出しや病理報告書の作成など慣れるのに時間がかかるため、最低2ヶ月から受け入れています。
- なお、経験すべき症候・疾病／病態のレポートに該当する項目はありません。ご注意ください。

研修内容、経験できる症例や手技

- ・生検・手術検体の病理診断
- ・手術材料の切り出し
- ・術中迅速診断
- ・臨床のほぼ全科にわたる症例を経験可能
- ・必要に応じ、分子病理学的手法も学ぶことができる。

■診療科長または指導医からのメッセージ



教授 伊藤 智雄

病理診断はその科に進むとしても、その知識が必要になります。また、本邦では残念ながら病理医はまだ少ない現状です。病理への道を選択する医師は貴重な存在であり、非常に大事にされます。当科は日本でも有数の若い病理診断科です。若手の人にも

非常にいごちが良く研修が可能だと思います。我々一同、皆様の研修参加を心待ちにしています。楽しく病理診断を研修いたしましょう！



■研修時の週間スケジュール

- ・部内症例ディスカッション（毎日午前11時から。金曜のみ午前10時から。）
- ・抄読会（週1回、月曜日）
- ・週1回ずつ、生検・迅速診断と外科的切除例の切り出しを担当していただきます。
- ・研修期間中1回、抄読会を担当していただきます。
- ・病理解剖（適宜）
- ・できるだけ希望に添えるよう、症例やスケジュールをフレキシブルに対応することができます。

Message

リハビリテーション科



診療科の紹介（特徴や特色など）

神戸大学医学部附属病院リハビリテーション科では、入院患者の急性期リハビリテーションを中心に行っています。大学病院ならではの、ハイリスク症例、がんリハビリテーションや、稀少疾患のリハビリテーションを処方し、適切なリスク管理を行っています。また、外来では、関節リウマチ、ポストポリオ症候群、骨転移、発達障害児の四肢脊椎障害などに対する装具療法を積極的に行っています。

神経内科、脳神経外科病棟とのカンファレンス、緩和ケアチームカンファレンス、骨転移カンサーボードへの参画など、多診療科、多職種での取組にも積極的に参加しています。

研修目標

リハビリテーションの概念、理念を理解し、適応、リスクを考えて、適切なリハビリテーション診断ができ、理学療法・作業療法・言語療法の処方を出せるようになること、装具療法や物理療法について知識を得ること、メディカルスタッフとのコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。

研修内容、経験できる症例や手技

- ・がんリハビリテーション（骨転移含む）
- ・稀少疾患のリハビリテーション
- ・ICUリハビリテーション
- ・脳性麻痺・肢体不自由児の療育・リハビリテーション
- ・痙縮治療の適応・ボツリヌス療法
- ・装具の処方や適合判定



■ 研修時の週間スケジュール

月曜日午前 ・リハビリ外来	火曜日午後 ・ICU回診、回復期病院、小児療育施設見学	水曜日午後 ・ICU回診、嚥下外来、緩和ケアカンファ、骨転移カンサーボード	金曜日午前 ・リウマチ外来・小児リハビリテーション外来・BTX外来・装具外来
月曜日午後 ・ICU回診・リハビリ見学・装具外来・小児リハビリテーション外来	水曜日午前 ・長期患者カンファ、リハビリ外来	木曜日午前 ・リハビリ外来	金曜日午後 ・ICU回診、回診、医局会、抄読会、リサーチカンファ
火曜日午前 ・新患カンファ、リハビリ外来		木曜日午後 ・ICU回診、リハビリ見学	

■ 診療科長または指導医からのメッセージ

Message



特命教授 酒井 良忠

リハビリテーションは疾病だけでなく、障害を診る診療科です。

患者のADL、QOLをどうやってあげていくのかを考えるためには病状のみならず、患者、家族、そして主治医のニーズを把握し、適切なリハビリテーション処方を行う必要があ

ります。そのために適切なリスク管理を行い、安静度設定や装具などを考慮すること、リハビリテーションスタッフとの適切なコミュニケーションが重要です。

リハビリテーション科志望者はもちろん、関係が深い診療科希望の先生方の研修をお待ちしています。



1年目研修病院の紹介

- た たすきがけコース
- 小 小児科医育成コース
- 産 産婦人科医育成コース

播磨姫路エリア

- 姫路医療センター…P85 た
- 姫路聖マリア病院…P86 た
- 赤穂市民病院…P87 た
- 兵庫県立はりま姫路総合医療センター…P88 た 産
- 公立宍粟総合病院…P89 た

但馬エリア

- 豊岡病院…P90 た
- 公立八鹿病院…P91 た

北播磨エリア

- 西脇市立西脇病院…P82 た
- 市立加西病院…P83 た
- 北播磨総合医療センター…P84 た

丹波エリア

- 兵庫県立丹波医療センター…P92 た 産

阪神エリア

- 関西労災病院…P75 た
- 川西市立総合医療センター…P76 た
- 三田市民病院…P77 た

東播磨エリア

- 加古川中央市民病院…P78 た 小 産
- 明石市立市民病院…P79 た
- 兵庫県立加古川医療センター…P80 た
- 明石医療センター…P81 た

神戸エリア

- 神戸医療センター…P62 た
- 神戸中央病院…P63 た
- 神戸市立医療センター西市民病院…P64 た
- 神戸労災病院…P65 た
- 川崎病院…P66 た
- 甲南医療センター…P67 た
- 神戸徳洲会病院…P68 た
- 神戸百年記念病院…P69 た
- 神戸赤十字病院…P70 た
- 新須磨病院…P71 た
- 済生会兵庫県病院…P72 た
- 三菱神戸病院…P73 た
- 神戸朝日病院…P74 た

淡路エリア

- 兵庫県立淡路医療センター…P93 産

大阪エリア

- 高槻病院…P94 た
- 市立岸和田市民病院…P95 た
- 大阪府済生会中津病院…P96 た
- 日本生命病院…P97 た
- 医学研究所北野病院…P98 た
- 大阪回生病院…P99 た
- 淀川キリスト教病院…P100 た
- 千船病院…P101 た
- 大阪府済生会茨木病院…P102 た



独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター

🏥 病院の概要 (2024年11月時点)

- 病床数：304床
- 医師数：89名（うち臨床研修指導医数25名）
- 医科研修医数：1年目9名、2年目6名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：450名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：210名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科、糖尿病内科、感染症内科、心療内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア内科、病理診断科、腫瘍・血液内科



📖 研修プログラムの特長

当センターは、総合病院としての機能を果たしながら、昭和60年から30年以上の長きにわたり、厚生省・臨床研修指定病院として独自のプログラムに則って卒後研修を行い、多くの研修医の育成に努めてきた実績のある病院です。基本的な診療科がすべて揃っており、数多くの学会の教育施設や研修施設としての資格を有していますが、大き過ぎず小さ過ぎない規模の病院であるため、各診療科間で垣根なく連携して診療を行っています。これらの利点を生かしながら、Common disease から珍しい病気まで多くの症例を経験でき、最新の専門的医療・実技を習得してもらえる体制をとっています。たすきがけコースの研修医の先生には、1年間で内科6か月、救急3か月（うち1か月は麻酔科）、外科2か月、精神科1か月をローテーションしてもらいます。一般外来研修は、内科・外科研修中に並行研修として行っています。厚生省が定めた初期研修期間での到達目標である症状や疾患をできるだけ多く経験できるよう配慮しています。また、1年間で基本的な診療手技や検査手技が習得できるよう指導します。

🔄 ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						外科			救急		精神科

👤 処遇

- 給 与：約490,000円/月（諸手当・賞与を含む年間の平均金額）
- 保険等：健康保険（厚生労働省第二共済組合）、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 宿 舎：研修医宿舎に入居可（4,400円/月）
宿舎入居者の駐車場費用（4,100円/月）

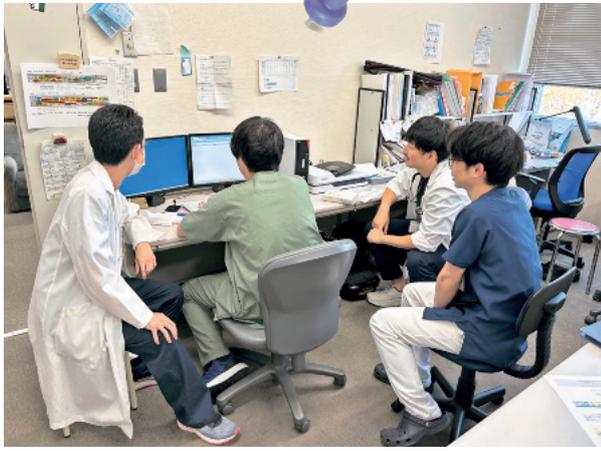
✉ 問合せ先

独立行政法人 国立病院機構 神戸医療センター研修管理委員会事務局

- 住所：神戸市須磨区西落合3丁目1-1
- TEL：078-791-0111
- E-mail：412-kenshu_j@mail.hosp.go.jp
- HP：https://kobe.hosp.go.jp



独立行政法人地域医療機能推進機構 神戸中央病院



病院の概要 (2024年10月時点)

- 病床数：389床
- 医師数：75名 (うち臨床研修指導医数27名)
- 医科研修医数：1年目9名、2年目4名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：479.9名 (対象期間：2024年4月～2024年9月)
- 1日平均入院患者数：204.3名 (対象期間：2024年4月～2024年9月)
- 標榜診療科：総合内科／内科 (腎臓・透析)／内科 (血液・免疫)／内科 (糖尿病)／循環器内科／消化器内科／呼吸器内科／脳神経内科／小児科／外科／整形外科／皮膚科／精神科／耳鼻いんこう科／脳神経外科／婦人科／歯科口腔外科／眼科／放射線科／リハビリテーション科／麻酔科／緩和ケア／消化器外科

研修プログラムの特長

神戸市北区の中核病院として、多くの研修施設の認定を受け、すべての診療科に研修指導医が配置されています。幅広い疾患に初診時から関わり、Common disease から専門領域までを臨床経験の中で習得可能です。現場主義、実践主義の観点より救急外来では最初に研修医が診断を行い治療方針を組立てるなど、目の前の事態に瞬時に考え対応する臨床能力を養える環境です。プログラムは少数制で、各科1名ずつの配置となります。手技の習得が可能な指導体制を取り入れており、多くの症例を実践にて経験できます。研修医の希望により緩和ケア病棟や離島研修など個々の目指す医療分野を選択でき、年度途中の組み換えにも随時対応しており、将来において幅広い選択肢と有意義な経験を積むことができます。当院では各々の研修医が将来において多くの選択肢を持てるようサポートし、巣立った医師たちは全国施設、大学医局でその後活躍しています。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器・神経		腎臓・血液		整形外科	耳鼻科	外科・放射線科		救急	循環器・呼吸器・糖尿		救急
2年目	外科			精神科	皮膚科	放射線科	脳外科		産科	地域医療	内科	

処遇

- 給 与：雇用身分「任期付き職員」
360,000円／固定給月額 ※副直手当別途支給 (賞与：400,000／年)
※学会参加可能 (年間2回まで出張扱い、但し演者としての参加時は2回以上出張扱い)
- 保険等：健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険加入、
医師自賠責保険 (病院にて加入 *個人の賠償保険は個人負担)
- 宿 舎：単身者用 (10,000円／月)
1K、トイレ・バスセパレート、収納クローゼット有、エアコン (1基) 付き、
靴箱、電気コンロ有

問合せ先

総務企画課

- 住所：神戸市北区惣山町2丁目1番1号
- E-mail：saiyou@kobe.jcho.go.jp

- TEL：078-594-2211
- HP：http://kobe.jcho.go.jp/

地方独立行政法人神戸市民病院機構

神戸市立医療センター西市民病院



た

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：358床
- 医師数：123名 (うち臨床研修指導医数40名)
- 医科研修医数：1年目11名、2年目7名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：742.8名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：273.2名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：消化器内科、呼吸器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、総合内科、臨床腫瘍科、精神・神経科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科



📖 研修プログラムの特長

神戸市立医療センター西市民病院は地方独立行政法人神戸市民病院機構の一翼を中央市民病院、西神戸医療センター、神戸アイセンター病院とともに担い、神戸の市街地西部の中核病院、さらには地域医療支援病院として、全日24時間体制の救急医療の提供はもとより、質の高い標準的医療を提供しています。

当院は病床数358床、29診療科からなり、専門医資格、指導医資格を持つ多数の医師が勤務しています。初期研修において最も大切なことは適切なプライマリーケアを習得することです。

この点に関して、当院での研修は数多くの救急症例を経験でき、また多くの上級医からの指導を受けることが出来ます。

豊かな人間性を有し、高い診療能力を持った医師を育成するため、多職種で協働し、さらに充実した指導体制を構築するべく、病院を挙げて日々尽力しています。多くの医学生の方々の応募を心よりお待ちしております。

🔄 ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科		時間内救急	外科	内科				麻酔科	選択	内科	

👤 処遇

- 給与：月額277,300円 (別に時間外手当、夜間勤務手当、賞与等あり)、通勤手当、住居手当あり (規程による)
1年目平均月収：50万円 (2024年11月実績)
- 保険等：社会保険 (年金・健保)、雇用保険、労災保険、医師賠償保険
- 宿舎：なし

✉ 問合せ先

総務課総務係

- 住所：神戸市長田区一番町2丁目4番地
- TEL：078-576-5251
- E-mail：w_nishi_somuka@kcho.jp
- HP：http://nishi.kcho.jp/



独立行政法人労働者健康安全機構 神戸労災病院



病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：316床
- 医師数：81名 (うち臨床研修指導医数35名)
- 医科研修医数：1年目6名、2年目6名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：515.4名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：207.3名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科／呼吸器内科／糖尿病・内分泌内科／精神科／脳神経内科／消化器内科／循環器内科／腎臓内科／外科／整形外科／心臓血管外科／皮膚科／泌尿器科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／病理診断科

研修プログラムの特長

当院は神戸市中央区の医療体制の中核を担う病院のひとつです。当院での臨床研修は、基幹病院としての高度で総合的な医療機能を活用し、基本的臨床能力を身に付けさせるとともに、心のかよったやさしい医療を行える医師の育成を目指しています。

厚生労働省による研修の達成目標に、「社会的ニーズを認識し、日常診療で頻繁に遭遇する病気に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるとともに、医師としての人格を涵養する」とあります。本院での研修は、上記の目標を達成するのにふさわしいと自負しています。その理由のひとつが、本院で症例が極めて多彩で、多くの症例を経験できることです。また、各分野のエキスパートが直接指導にあたっています。

研修スケジュールは下記を参照してください。当院のスケジュールの特徴は、2年目の必須研修である地域医療、精神科、産婦人科、小児科以外は、自由選択（8ヶ月）であることです。

自由選択は当院、協力病院で研修できる診療科を複数選択可能で、研修医各個人の希望に沿って研修できます。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科系 (総合内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科)						外科		麻酔科	救急		
2年目	地域医療	精神	産婦	小児	自由選択 (当院、協力病院で研修できる診療科を複数選択可能です)							

処遇

- 給与：1年目：月額平均 350,000円、2年目：月額平均 375,000円
- 保険等：健康保険、厚生年金、企業年金基金、雇用保険、労災適用あり
- 宿舎：単身用宿舎 (病院から約1キロ、宿舎料10,640円)

問合せ先

神戸労災病院 総務課

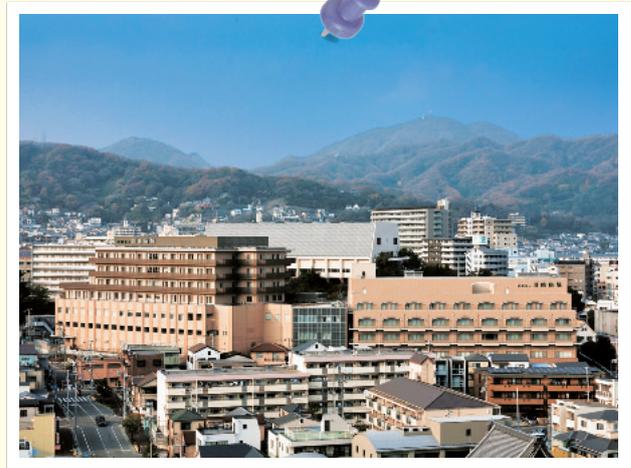
- 住所：神戸市中央区籠池通4丁目1-23 □ TEL：078-231-5901
- E-mail：rosai@kobe.johas.go.jp □ HP：https://www.kobe.johas.go.jp



医療法人 川崎病院

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：278床
- 医師数：64名（うち臨床研修指導医数19名）
- 医科研修医数：1年目2名、2年目2名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：479.4名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：209.0名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科／血液腫瘍内科／糖尿病内分泌内科／腎臓内科／消化器内科／循環器内科／救急科／総合診療科／外科／肛門外科／整形外科／眼科／耳鼻咽喉科／形成外科／歯科口腔外科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／放射線科／麻酔科／リハビリテーション科／臨床検査科



📖 研修プログラムの特長

当院研修プログラムでは、いわゆる軽症のCommon Diseaseから、重症で死にいたる可能性がある病気、たとえば悪性腫瘍、重症炎症性疾患、狭心症や心筋梗塞、腎不全、糖尿病などの患者を数多く経験することによって、患者及びその家族から信頼される医師の育成を目的としております。

1年目は原則として内科、救急部門（循環器内科）、外科を研修し、医師としての基礎固めを行い、2年目は、循環器内科、消化器内科、糖尿病、腎透析などのより専門的な研修を選択できます。また、地域に密着した中規模病院です。家族的な雰囲気の中で、プライマリ・ケアの力を身につけることができます。

風通しの良い組織の中で医師やスタッフと密に連携し、家庭的な雰囲気の中で多くの症例を経験できます。症例検討会やカンファレンス等の機会に加えて、研修環境もますます充実しつつあるとともに、処遇や立地条件も良好です。

🔄 ローテートモデル

1年目は内科6ヶ月、循環器内科3ヶ月、外科3ヶ月が必修

2年目は地域医療・精神科・産婦人科・小児科が各1ヶ月必修、それ以外はそれぞれの希望に合わせて選択が可能

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科・一般外来（並行研修）						救急（循環器内科）			外科		
2年目	形成外科	内科	精神科	内科			産婦人科	小児科	内科	地域医療	耳鼻科	

※地域医療、精神科、産婦人科、小児科は連携施設にて研修

👤 処遇

- 給 与：基本月給 350,000 円、賞与は夏季 50,000 円、冬季 150,000 円、副直手当・時間外処置手当・通勤手当（半径 1.5km 圏内からの通勤は支給しない）等は別途支給
- 保険等：組合健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入
- 宿 舎：家賃 80,000 円（管理費込）程度の借り上げ社宅あり（自己負担 30,000 円/月）

✉ 問合せ先

川崎病院 初期臨床研修室

□住所：〒652-0042 兵庫県神戸市兵庫区東山町 3-3-1

□E-mail：koyoiku@kawasaki-hospital-kobe.or.jp

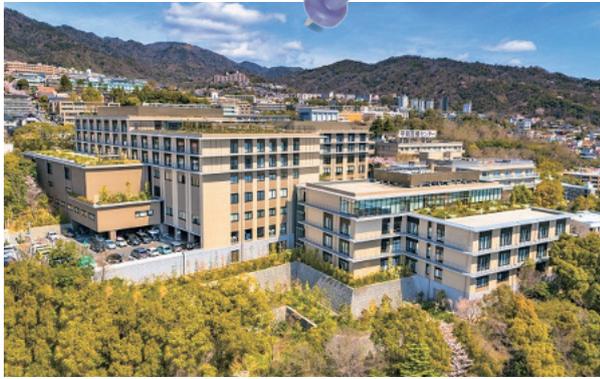
□TEL：078-511-3131

□HP：https://www.kawasaki-hospital-kobe.or.jp/



た

公益財団法人甲南会 甲南医療センター



病院の概要 (2024年11月時点)

- 病床数：461床
- 医師数：170名（うち臨床研修指導医数38名）
- 医科研修医数：1年目14名、2年目8名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：838.2名（対象期間：2023年11月～2024年10月）
- 1日平均入院患者数：354.3名（対象期間：2023年11月～2024年10月）
- 標榜診療科：糖尿病内分泌内科／循環器内科／消化器内科／腫瘍血液内科／腎臓内科／脳神経内科／呼吸器内科／緩和ケア内科／精神科／小児科／皮膚科／放射線科／消化器外科／乳腺外科／呼吸器外科／整形外科／脳神経外科／形成外科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻いんこう科／リハビリ科／麻酔科／救急科／病理診断科／歯科口腔外科

研修プログラムの特長

1、2年次合わせて20人以上の研修医が在籍しており、助け合い切磋琢磨しながら研修を行っています。専門性の高い多くの診療科を有する総合病院で様々な疾患を経験することができます。東神戸地区の中核病院として救急医療にも力を入れています。2023年度は一日平均約20件の救急車を受け入れ高い応需率を達成しています。救急専門医が常勤しており、急性期医療を通じて基本的な知識・技術を習得できます。救急科を含め、各診療科医師による救急の現場で役に立つ講義や実技実習を開催しプライマリケア習熟のサポートをしています。各科間の垣根は低く若手スタッフが多く、アットホームな雰囲気です。日常診療の疑問はその場で解消できます。教育研修センターが設立されており病院全体でメリハリのある研修医生活を支えます。プログラムは各自の興味ある科を研修できる選択期間を設け自由度の高い構成となっています。希望に応じて1年目に1、2か月間選択科目を研修することも可能です。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 ※							外科		救急科		
2年目	地域	精神科	小児科	産婦人科	選択科目							

※糖尿病内分泌内科／循環器内科／消化器内科／腫瘍血液内科／腎臓内科／脳神経内科／呼吸器内科

処遇

- 給与：基本給（年俸制／賞与・住宅手当・みなし時間外勤務年俸（月30時間分）を含む）
 - 1年次：4,200,000円／年（350,000円／月）
 - 2年次：4,700,000円／年（391,666円／月）
- 副直手当（患者対応時間により変動あり）
 - 約23,500円／1回（1年次） 約26,500円／1回（2年次）
- ※当直（副直）：4～5回／月
- 交通費：支給（月額5万円を上限として支給）
- 保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険、労災適用あり
- 宿舎：なし（当院規定の不動産会社紹介あり）

問合せ先

- 甲南医療センター 教育研修センター
- 住所：兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1丁目5番16号
- TEL：078-851-2161（代表）
- E-mail：kmc.rinshokensyu@kohnan.or.jp
- HP：https://kohnan.or.jp/kohnan/



医療法人徳洲会 神戸徳洲会病院

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：309床
- 医師数：30名（うち臨床研修指導医数15名）
- 医科研修医数：1年目0名、2年目0名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：134.5名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：143.2名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・外科・心臓血管外科・小児科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・救急科・麻酔科



(完成予定図)

📖 研修プログラムの特長

神戸徳洲会病院は神戸市垂水区にあり、垂水区（人口21万人）は明石市に隣接し、淡路島、四国を結ぶ明石海峡大橋の起点となっています。また、日本の白浜青松百選の須磨浦公園・須磨浦海浜公園も近くにある山と海の美しい所です。当院は徳洲会の理念の下、24時間救急医療、高度先進医療、在宅医療などの多機能性を持つ地域中核病院です。特に阪神淡路大震災の際には徳洲会の災害医療の基地として稼働しました。（後に徳洲会災害医療のきっかけとなった）24時間救急に対応でき、現在神戸市の民間病院で救急件数はトップクラスとなり、隣接の明石・淡路からも搬入があります。さらに救急と周産期を受けるため垂水駅前にも新築移転し、今後さらに地域中核病院として飛躍していきます。【神戸徳洲会病院臨床研修プログラム】救急医療と保健予防活動・プライマリーケアを基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的とする。

🔄 ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一年次	内科						外科			救急		
	救急・総合診療											

👤 処遇

- 給 与：基本給 1年次 340,000円 2年次 380,000円
賞 与 1年次 440,000円 2年次 760,000円（年2回、7・12月）
当 直 1年次 25,000円 2年次 30,000円（週1回程度）
- 保険等：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 宿 舎：無 住宅手当：50,000円上限として半額を支給

✉ 問合せ先

医療法人徳洲会 神戸徳洲会病院 医師対策室

□住所：〒655-0017 神戸市垂水区上高丸1丁目3-10

□TEL：078-707-1110

□E-mail：kenshu-dr@kobetokushukai.org

□HP：http://www.kobetokushukai.org/



神戸百年記念病院



病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：199床
- 医師数：50名 (うち臨床研修指導医数15名)
- 医科研修医数：1年目0名、2年目0名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：311.2名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：186.0名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科、外科、整形外科、精神科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、神経科、呼吸器科、消化器科、循環器科、肛門科、麻酔科

研修プログラムの特長

- ① 地域との密接な関係を保ち、かかりつけ医としてのプライマリケアを実践する。
- ② 初期研修中は、1年間を通じ総合診療科に所属し常に内科系症例を指導医とともに担当。
- ③ 年間3,500件程度の救急搬送あり、HCUでの集中治療も経験。
- ④ 各診療科間の交流がスムーズで幅広い研修が可能。
- ⑤ Co-Medicalとの協調、援助によりチーム医療が活発。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科*						救急	麻酔科	外科	内科		
施設	当院											

- * 内科研修中は、主に総合診療科で入院症例を経験し、医師としての基礎を習得する。
- * 各専門内科は、症例、希望を考慮し、ローテーションを調整。
- 救急研修の内、1ヵ月は麻酔科ローテートし、挿管等の研修を行う。
- 一般外来研修は、内科並行研修として行う。

処遇

- 給与：1年次 月額300,000円
- 保険等：公的医療保険 (組合健康保険) ・ 公的年金 (厚生年金) ・ 雇用保険 ・ 労災適用あり
- 宿 舎：独身用ワンルームマンション (16,750円/月)

問合せ先

神戸百年記念病院 総務課 大見

住所：神戸市兵庫区御崎町1-9-1

E-mail：ohmi@kobe-century-mh.or.jp

TEL：078-681-6111 (代表)

HP：http://www.kobe-century-mh.or.jp



神戸赤十字病院

🏥 病院の概要 (2024年11月時点)

- 病床数：310床
- 医師数：97名 (うち臨床研修指導医数35名)
- 医科研修医数：1年目6名、2年目6名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：530.2名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：253.0名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科、心療内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、糖尿病代謝内科、外科、乳腺外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科



📖 研修プログラムの特長

本院は、救急を中心に急性期疾患患者を診る機会が多く、プライマリーケア能力の習得に適した病院です。

指導医の多くは、大学や関連病院での臨床研修に関わっています。

その経験を活かし、常に細かい指導が保てるよう、各指導医が受け持つ研修医は原則1名のマンツーマンの体制で、研修医の指導に取り組んでいます。

また、本院は隣接する兵庫県災害医療センターの後方支援病院でもあり、二次救急のみならず三次救急の実際の場を経験することも可能です。

🔄 ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科		外科	一般外来	麻酔	救急	内科					

👤 処遇

- 給 与：1年目…月額316,000円 (税込)
2年目…月額326,000円 (税込)
時間外勤務手当あり
- 賞 与：1年目…年額20万円 (税込) 2年目…年額20万円 (税込)
- 保険等：健康保険、介護保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- 宿 舎：有 (人事課へご相談ください) ※ 宿舎を利用しない場合、通勤手当・住居手当有

✉ 問合せ先

総務課 (病院見学依頼・プログラム内容・応募について) 人事課 (採用・処遇について)

□ 住所：神戸市中央区脇浜海岸通1-3-1

□ TEL：078-241-9214 (人事課) 078-241-9207 (総務課)

□ E-mail：r-kensyui@kobe.jrc.or.jp (総務課/病院見学はこちらにご連絡ください)

□ HP：http://www.kobe.jrc.or.jp



医療法人社団慈恵会 新須磨病院



病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：147床
- 医師数：36名 (うち臨床研修指導医数7名)
- 医科研修医数：1年目0名、2年目0名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：119.07名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：495.97名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科、循環器内科、脳神経内科、心療内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科

研修プログラムの特長

地域急性期病院における primary care、common diseases や救急疾患、さらには一部専門疾患に対する診療に携わっていただく研修プログラムを組んでいます。各科間あるいは各職種間の連携によるチーム医療を実践しながら、指導医や上級医の指導のもとに、幅広く基本的知識と医療技術を修得していただけます。さらに社会人としての医師の役割やあるべき姿について理解を深め、経験症例を中心として学ぶ姿勢（臨床研究や症例報告など）を体得していただけます。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	麻酔科	脳神経外科	整形外科	外科	形成外科	救急	内科（一般内科、糖尿病内科、膠原病内科など）					

当院は神戸大学病院とのたすきがけ研修に対応しています。大学病院での臨床研修プログラムに配慮しながら、臨床研修医個々の希望に沿ってローテートを作成します。

処遇

- 給 与：400,000円/月、副直手当あり（15,000円/回）、通勤手当あり（上限30,000）、賞与なし
- 保険等：社会保険・厚生年金・雇用保険・労災適用あり
- 宿 舎：無

問合せ先

新須磨病院 総務課

□ 住所：神戸市須磨区衣掛町3丁目1番14号

□ E-mail：ssomu@jikeikai-group.or.jp

□ TEL：078-735-0066

□ HP：http://www.jikeikai-group.jp



社会福祉法人恩賜財団 済生会兵庫県病院

🏥 病院の概要 (2024年11月時点)

- 病床数：268床
- 医師数：63名（うち臨床研修指導医数27名）
- 医科研修医数：1年目3名、2年目2名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：527.4名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：189.5名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、整形外科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、リウマチ科、アレルギー科、リハビリテーション科、病理診断科



📖 研修プログラムの特長

神戸市北区北神地域、三田市及び西宮市の一部を医療圏とする地域の中核病院です。各診療科とも、日常よく遭遇する疾患から重症疾患まで幅広く受け入れています。また、地域周産期母子医療センターとして各地より母体及び新生児の救急を多数受け入れています。プログラムは少数制の為、サマリーの書き方から手技の習得、経験すべき実践内容を研修医の希望を考慮し、指導医が丁寧に指導する体制が整っています。また、初期臨床研修における必要症例（精神科症例を除く）の多くを1年目で経験できます。当院は全職員で初期臨床研修医を育てていこうという雰囲気のある病院です。病院見学も随時受付しておりますので、ぜひ一度見学に来て済生会兵庫県病院の雰囲気を感じてみてください。

🔄 ローテートモデル

【研修医1年目】例）ローテーションは、研修医の希望を踏まえて順不同

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科24W（必須）						救急12W（必須）うち麻酔科		外科8W（必須）		選択科目4W	
	救急部門※1											
	一般外来4W（必須）※2											
施設	当病院											

※1 必修科目の救急部門は、指導医の指導の下、上級医とともに日中救急当番、夜間・休日の救急当直当番、救急を必要とするwalk-in患者を担当し、1年目の10月～12月の2ヵ月と翌年1月～3月、2年目の4月～7月、10月～翌年3月を通して1ヵ月の救急医療を継続的に研修して、全体として3ヶ月とする。

※2 必須科目の一般外来は、指導医の下、上級医とともに、1年目及び2年目の4月～翌3月を通して並行研修し全体として4週とする。

【研修医2年目】例）ローテーションは、研修医の希望を踏まえて順不同

	産婦人科8W（必修）	小児科8W（必修）	精神科4W（必修）	地域4W（必修）	選択科目	達成目標の進捗状況を踏まえ、選択必修及び選択科目の中から研修期間36W科目選択（1科～複数科）
分野	救急部門※1				救急部門※1	
	一般外来				一般外来	
施設	当病院		※3	※4	当病院※5	

※3 兵庫県立ひょうごこころの医療センター（精神科）

※4 公立豊岡病院組合立朝来医療センター・松本クリニック・松本ホームメディカルクリニック・ふくだクリニック・アイル三田クリニック・わくこどもクリニック

※5 三田市民病院（脳神経外科）

👤 処遇

- 給 与：基本給 1年次401,510円/月 2年次416,910円/月 賞与（年2回）1年次1,326,644円/年 2年次1,394,404円/年
時間外手当 有り 宿日直手当 有り 年間給与 1年次 約5,700,000円+手当 2年次 約5,900,000円+手当
- 保険等：協会健康保険、厚生年金、雇用保険
- 宿 舎：有（見学可能）：岡場駅周辺 病院借り上げ寮（家賃27,000～32,000円）

✉ 問合せ先

済生会兵庫県病院 総務課

□住所：神戸市北区藤原台中町5丁目1-1

□TEL：078-389-5291（ダイヤルイン）

□E-mail：saiseikai-hyogo-rinshou@saiseikai.info

□HP：https://saiseikai.info/



三菱神戸病院



病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：164床
- 医師数：37名 (うち臨床研修指導医数7名)
- 医科研修医数：1年目1名、2年目0名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：454名 (対象期間：2023年10月～2024年9月)
- 1日平均入院患者数：121名 (対象期間：2023年10月～2024年9月)
- 標榜診療科：内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・心療内科・緩和ケア内科・外科・消化器外科・整形外科・形成外科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・歯科口腔外科・麻酔科

研修プログラムの特長

当院は三菱重工業株式会社神戸造船所の企業立病院で、従業員の診療に限らず、神戸市内の地域医療を担っています。病床数は164床ですが多くの診療科を有しており、内科や外科のローテーションをしながらも他科との関わりを持てるので、幅広く経験と知識を増やしていくことができます。

内科研修では、一般内科でプライマリケアを担いますが、消化器内科、循環器内科、腎臓内科にはそれぞれ専門医が在籍しており、6か月間の内科研修で経験する各症例を通じて内科全体を学べるのが特徴です。また心療内科や緩和ケアも主治医とともに診療できます。

外科研修では、消化器・一般外科を中心に形成外科でも外科の基本手技などを習得します。

救急研修では、内科を中心に外科などの救急患者の対応を学びながら、麻酔科研修も行います。

当院の初期研修では、内科を中心とした日常診療の基本的な事項を学ぶことを目的としていますので、将来に様々な診療科を目指す医師にとって有意義な研修となります。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						外科			救急		

※一般外来研修は内科で並行研修として行います。

処遇

- 給与：月基本給／約300,000円、賞与／あり(年2回、2024年度支給額平均3.7ヶ月分／年間、但し、初回は寸志)、通勤交通費補助／あり、昼食費補助／あり、慶弔金・見舞金制度／あり、定時時間外・日直・宿直手当／あり、自家用車通勤／可(専用駐車場あり)
- 保険等：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり

問合せ先

三菱神戸病院 事務課

□ 住所：〒652-0863 神戸市兵庫区和田宮通6丁目1-34

□ TEL：078-671-7705(代表)

□ E-mail：GUM0-hp-saiyo@mhi.com
(ゼロ)

□ HP：https://www.mhi.com/jp/company/hospital/kobe/



神戸朝日病院

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：134床
- 医師数：12名（うち臨床研修指導医数2名）
- 医科研修医数：1年目0名、2年目0名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：95.5名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：118.4名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科、消化器内科、肝臓内科、外科、消化器外科、肛門外科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、糖尿病内科、腎臓内科（人工透析）、整形外科、放射線科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科



📖 研修プログラムの特長

当院は、西神戸医療圏にある急性期と慢性期の中間の役割を担う地域包括期の病院です。急性期疾患の治療を主とした専門診療だけでなく、地域包括ケア病棟を活用し、栄養状態の改善、リハビリテーション、退院調整なども含めてトータルで患者さんに関わりながら地域医療を行なっています。特に消化器、肝臓領域については、内科から外科まで、学術活動も含めて専門的な経験を積むことが可能です。また、院内での多職種連携だけでなく、地域包括ケアシステムにおける西神戸の地域医療を担う病院として、病院、クリニック、施設、さらには地域コミュニティにいたるまで、地域連携の現場に触れることができます。

初期研修では、common diseasesの基本的な診察能力の習得、二次救急症例に対する対応能力を学ぶことができます。市内でも高齢化率の高い当地域において、これから我が国が直面する少子高齢化社会で、地域の一般病院が担う医療を体験することは、初期研修において大きな意味があると確信します。

🔄 ローテートモデル

1年目

月ごとにローテートではなく1年を通じて、内科6ヶ月、消化器外科3ヶ月、救急3ヶ月の研修を実施。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						消化器外科			救急		

👤 処遇

- 給 与：基本給1年目320,000円・皆勤手当5,000円・賞与あり（年2回）・退職手当なし、通勤手当あり。
当直手当4回/月 20,000円/回（指導医と2名体制）
- 保険等：厚生年金、社会保険、雇用保険、労災保険あり
- 宿 舎：病院から半径2km以内に、民間物件借り上げのワンルームマンションあり（自己負担30,000円/月）

✉ 問合せ先

神戸朝日病院 事務局

- 住所：神戸市長田区房王寺町3-5-25 TEL：078-612-5151（代）
- E-mail：contact@kobe-asahi-hp.com HP：https://www.kobe-asahi-hp.com



独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院



病院の概要 (2024年10月時点)

- 病床数：642床
- 医師数：210名（うち臨床研修指導医数44名）
- 医科研修医数：1年目12名、2年目10名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：1195.2名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：527.3名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科、脳神経内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、歯科、歯科口腔外科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科

研修プログラムの特長

- (1) 阪神南医療圏で3番目の病床数（642床）を有する高度急性期病院。
- (2) 豊富な診療科・充実した指導医・最新鋭の設備を誇り、多彩な疾患の最新の診療を学ぶことができる。
- (3) 救急診療も充実しており、研修医が救急の第一線を豊富に経験できる。
- (4) 研修医がどんどん手技を経験することができて、重症患者の診療に必要な技術を早期に身につけることができる。
- (5) 初期研修2年目に半年間の自由選択期間があり、個々の研修医のニーズに合わせて多様な研修が可能である。
- (6) すべての研修医を「患者の全身管理ができる医師」に育てるプログラムを有している。
- (7) 初期研修終了後、そのまま当院での後期研修に進む医師も多く、医師としての第一歩から専門家としての成長まで連続して学ぶことができる。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	循環器内科		消化器内科		内科(腎臓・糖尿病・内分泌・血液・神内)		外科(消化器・乳腺)		救急科		麻酔科	
2年次	救急科		産婦人科	小児科	精神科	地域医療	選択(6ヵ月)					

備考：*それぞれの研修科の順序は各研修医によって異なる。
 *2年目の選択科目は院内全科を選択可能。（一度ローテートした科の再ローテートも可）
 *複数の研修医ができる限り同一科に重ならないようにする。
 *1年目研修医が1人ずつローテートのなるべく早い時期に2週間日勤帯で、整形外科にて外傷研修を行うこととする。

処遇

- 給 与：卒後1年次 月収330,000円、卒後2年次 月収340,000円
時間外勤務手当、宿日直手当、その他（病院規定により支給）
- 保険等：健康保険、労災保険、雇用保険、厚生年金保険あり
- 宿 舎：29,469～34,866円/月（徒歩圏内の宿舎〈家具家電付、光熱水道インターネット費込み〉）

問合せ先

- 関西労災病院 総務課
- 住所：兵庫県尼崎市稲葉荘3丁目1-69
 - TEL：06-6416-1221(代)
 - E-mail：shomu-ka@kansaih.johas.go.jp
 - HP：https://www.kansaih.johas.go.jp



川西市立総合医療センター

た

🏥 病院の概要 (2024年11月時点)

- 病床数：405床
- 医師数：94名（うち臨床研修指導医数39名）
- 医科研修医数：1年目2名、2年目2名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：419名（対象期間：2023年11月～2024年10月）
- 1日平均入院患者数：345名（対象期間：2023年11月～2024年10月）
- 標榜診療科：内科、循環器内科、腎臓内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、形成外科、神経内科、精神科、脳神経外科、麻酔科、産婦人科、小児科、泌尿器科、放射線科、病理診断科、救急科、ペインクリニック内科、感染症内科



📖 研修プログラムの特長

2022年9月に市立川西病院と医療法人協和会 協立病院が統合し、一部高度急性期機能を持った新病院「川西市立総合医療センター」を開院しました。脳卒中などの高度医療や救急医療に力を入れ、地域の基幹病院としての役割を果たしています。多くの診療科や専門センター、最先端の医療機器と設備を有し、充実した研修が受けられる環境を整えています。また、専門医が多く在籍しており、さまざまな実践を交えた研修が可能です。

研修は少人数で行い、研修医本人が主体的に動く研修を、医師だけでなく周囲のスタッフがみんなで支えています。研修をスムーズに送ることができるよう、生活面も配慮したサポートを心がけており、研修終了後も必要不可欠である医師としての学習力や生活力をマイペースに身につけることができます。

🔄 ロータートモデル

1年目	24週				8週	8週	12週
	内科 (外来4週含む)				救急部門	外科 (外来4週含む)	選択科目
2年目	4週	4週	4週	4週	36週		
	地域医療 (外来4週含む)	精神科	産婦人科	選択科目	保健所・保健センター・緩和ケア内科・大学病院・当院診療科 等から選択		

※選択科目は小児科・救急科・麻酔科から選択
 ※地域医療に重点を置いたコースや大学病院での研修が可能なコースがあります。
 ※地域医療・精神科は連携施設にて研修。

👤 処遇

- 給 与：研修1年目：月額407,200円、年収4,886,400円 研修2年目：月額454,900円、年収5,458,800円 ※当直手当、時間外手当は別途支給
- 保険等：健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険
- 宿 舎：病院借上げワンルームマンションを提供
家賃20,000円/月（自己負担）

✉ 問合せ先

- 医事課 臨床研修担当
- 住所：兵庫県川西市火打1-4-1
- TEL：0570-01-8199(ナビダイヤル)
- E-mail：rinsyokensyu@kyowakai.com
- HP：https://www.kawanishi-hospital.jp/



三田市民病院



病院の概要 (2024年10月時点)

- 病床数：300床
- 医師数：75名（うち臨床研修指導医数7名）
- 医科研修医数：1年目4名、2年目3名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：622.4名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：199.4名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科・腎臓内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科・消化器外科・整形外科・眼科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・形成外科・産婦人科・耳鼻いんこう科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・病理診断科

研修プログラムの特長

当院は、三田市を中心とする約30万人住民の唯一急性期医療を担う、地域の中核病院です。

内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急部門（救急外来、麻酔科中心）、地域医療及び一般外来を必修科目として経験することができ、また、これらの科を含め当院が標榜する全ての診療科を自由に選択できる期間を設け、広範囲かつより高度な内容の研修を受けることができます。

高度先進医療や最新技術を用いた診療を経験することにより、臨床医学に対して様々な興味を抱くことができ、また協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設と連携した研修により、地域に根ざした医療を経験することができます。

研修医数に比較して、数多くの熱意ある教育スタッフが在籍していますので、密度の濃い内容の研修を提供します。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次 研修期間 4週間	内科（一般内科・腎臓内科・消化器内科・循環器内科）32週								麻酔科8週	外科8週		
2年次	小児科 8週	産婦人科 8週		精神科 4週	一般外来 8週	地域医療 4週		自由選択科目				

処遇

- 給与：1年次 283,030円/月、賞与990,605円/年、その他手当を含めた想定年収約650万円
2年次 301,950円/月、賞与1,358,775円/年、その他手当を含めた想定年収約726万円
- 保険等：医師賠償責任保険あり
- 宿舎：単身用医師住宅

問合せ先

総務課総務係

住所：兵庫県三田市けやき台3丁目1番地1

E-mail：soumu@hospital.sanda.hyogo.jp

TEL：079-565-8000

HP：http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/

地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院



た小産

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：600床
- 医師数：275名（うち臨床研修指導医数86名）
- 医科研修医数：1年目19名、2年目12名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：1479.0名（対象期間：2023年1月～2023年12月）
- 1日平均入院患者数：520.6名（対象期間：2023年1月～2023年12月）
- 標榜診療科：内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、腫瘍・血液内科、リウマチ科、腎臓内科、脳神経内科、精神神経科、小児科、小児循環器内科、外科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科、緩和ケア科



📖 研修プログラムの特長

東播磨医療圏域で地域医療の中核を担い、加古川中央市民病院の各診療科、地域の診療所や離島、精神科病院、および保健所等と連携して、医学・医療全般の知識と技術の習得を図り、プライマリー・ケアに対応できる医師の養成を目指している。本プログラムには以下の7つの特色を有する。

1. 多彩な診療科で研修が可能
2. 様々な専門的な救急疾患の研修が可能
3. 実践研修・シミュレーション教育が充実
4. 個々にオーダーメイド研修プログラムを作成
5. 豊富な指導医と指導体制の充実
6. 多くの診療科から将来の専門性を見据えた研修
7. 地域医療は離島研修（沖縄：伊江村立診療所）を含む

🔄 ロータートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 【24週以上】						救急科 【12週以上】			外科（※1）		小児科 または 産婦人科

- ・一般外来：総合内科、小児科、外科で実施。（4週）
- ・内 科：循環器、総合、消化器 各4週。腫瘍血液・リウマチ、呼吸器・糖尿病、脳神経・腎臓 各4週。
- （※1）1ヶ月目は消化器外科、2ヶ月目は消化器外科の他、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科も選択可

👤 処遇

- 給 与：1年次 306,000円/月 賞与608,175円/年、2年次 316,000円/月 賞与821,600円/年
宿日直手当・時間外勤務手当等は別途支給
- 保険等：健康保険（共済組合）、厚生年金、労災保険、雇用保険
- 宿 舎：家賃補助

✉ 問合せ先

- 臨床研修支援センター
- 住所：加古川市加古川町本町439番地 □TEL：079-451-5500(代表)
 - E-mail：w.recruit@kakohp.jp □HP：http://www.kakohp.jp



地方独立行政法人

明石市立市民病院



病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：329床
- 医師数：61名 (うち臨床研修指導医数21名)
- 医科研修医数：1年目3名、2年目2名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：471.1名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：257.9名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病内科、リウマチ科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、心療内科・精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急診療科、リハビリテーション科

研修プログラムの特長

日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技術、知識）を身につけることができることを基本に研修を行います。

また、医療技術に習熟するための基本的鍛錬として、

①臨床医に必要な基本的知識及び技能の習得、②頻度の高い救急疾患の初期治療を習得、③医師としての使命、倫理観及び深い人生性を身に付けることが研修の目標であります。

ローテートモデル

1年目				
内科 24週	救急 8週	必須A 8週	必須B 8週	必須C 4週

※研修順序は任意に定めるものとする。

※一般外来は、総合内科、外科、小児科の並行研修の中で、4週割り当てる。

※1年目の救急8週のうち4週分は、日当直日数をあてるため、必須Bを4週割り当てる。

処遇

給与：1年次 380,000円/月 時間外手当、賞与、通勤手当あり 退職手当なし

保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険、労災適用

宿舎：単身寮あり 使用料20,000円/月（電気料金別）

問合せ先

経営管理本部人事課

住所：明石市鷹匠町1-33

TEL：078-912-2323

E-mail：jinji@akashi-shiminhosp.jp

HP：http://www.akashi-shiminhosp.jp/



兵庫県立加古川医療センター

た

🏥 病院の概要 (2024年12月時点)

- 病床数：353床
- 医師数：105名 (うち臨床研修指導医数38名)
- 医科研修医数：1年目6名、2年目6名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：679.3名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：247.5名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：総合内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、緩和ケア内科、感染症内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科



📅 研修プログラムの特長

当院のたすき掛け1年目の研修では、医師としての診療能力の基礎を固めることに重点を置いており、基礎となる内科からローテーションを開始し、救急部門、外科、麻酔科、選択必修科目をローテートすることとしています。また通年で救急対応、一般外来診療が行えるようになることを目標としています。内科は各科を計6か月、外科を1か月、麻酔科を2か月、救急部門3か月間を必修としており、内科ローテーション中に1か月間一般外来診療を経験することになります。2次輪番救急当直にも積極的に参加してもらい救急対応の経験を積めるよう配慮しています。

🔄 ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科(6)						麻酔科(2)		外科(1)	救急部門(3)		

※ローテート順は、研修医ごとに異なります。

👤 処遇

- 給 与：月額284,500円(1年目)、月額298,700円(2年目)
期末手当、当直手当、超過勤務手当、通勤手当あり
- 保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険、労災適用あり
- 宿 舎：有 (民間物件を借上げ公舎として提供)

✉ 問合せ先

総務部総務課

- 住所：兵庫県加古川市神野町神野203
- TEL：079-497-7000(内線2212)
- E-mail：Shinnosuke_takami@pref.hyogo.lg.jp
- HP：https://www.kenkako.jp/



社会医療法人愛仁会 明石医療センター

た



病院の概要 (2023年4月時点)

- 病床数：382床
- 医師数：132名 (うち臨床研修指導医数35名)
- 医科研修医数：1年目6名、2年目6名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：654名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：328名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科、救急科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、泌尿器科、外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、麻酔科

研修プログラムの特長

医師としての人格形成、医療安全、患者の権利・プライバシーなどの医療の基本を理解し身につける。さらに日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるプライマリー・ケアの診療能力修得を重視する。加えて救急医療や種々の専門的治療を要する疾患にも対応できる幅広い能力を有する医師の養成を目指す。

中規模病院の特性を生かし、研修医の希望を最大限に尊重したフレキシブルな研修が可能であり、良好な患者医師関係を形成する能力を身に付けるとともに、全ての臨床医が基本的に必要とする態度・知識・技能を修得し、社会の求める医師養成を目標とする。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総内内科 (必)		※ 1内科選択				救急 (必)	麻酔 (必)		外科 (必)	※ 2選択	

・ (必) = 必須

・ ※ 1内科選択は、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科から4週単位で3科選択可能。

・ ※ 2選択は、整形外科、心臓血管外科、産婦人科、小児科から2科選択可能。1年次で選択しない場合、2年次で必須。

・ ※ 3麻酔科8週 (うち4週を救急研修とする)

処遇

- 給与：1年次 約400万/年、2年次 約600万/年 ※賞与・副当直手当など含む
- 保険等：健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
- 宿舎：あり (自己負担額2万円/月)

問合せ先

事務部管理科

□ 住所：兵庫県明石市大久保町八木743-33

□ E-mail：kengaku-rinsyokensyu@amc1.jp

□ TEL：078-936-1101 (代)

□ HP：https://www.amc1.jp/



西脇市立西脇病院

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：320床
- 医師数：58名（うち臨床研修指導医数29名）
- 医科研修医数：1年目6名、2年目6名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：437.9名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：269.4名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科／精神科／脳神経内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／血液内科／小児科／外科／呼吸器外科／心臓血管外科／乳腺外科／整形外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻いんこう科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／歯科／歯科口腔外科／病理診断科



📖 研修プログラムの特長

初期臨床研修は、将来どの専門分野に進んでも必要な診療に関する基本的な知識、技能および態度の習得を目的とし、全人的なケアを実践できるようになることが目標と考えます。西脇市立西脇病院は、北播磨地域の中核病院として災害拠点病院・救急指定病院の指定を受け、急性期疾患を多く診療しています。内科、脳神経外科は毎日当直で近隣の救急患者を24時間体制で受け入れており、また整形外科疾患も多く、研修できる症例は豊富です。産科・小児科も院内研修が可能で、出産症例も多いです。内科では、一人の患者の入院から退院までじっくりと関わられるように分野別ではなく循環器内科等を含む一つの内科の中で、研修医が主治医となり総合診療医としてのマインドを持った各分野の専門医である指導医と共に、全人的視野で責任をもって診療計画をたて、必要な手技や治療の実践に参加していただきます。しっかり学び、しっかり休むをモットーに、ストレスのない研修環境を準備し、研修医の希望を受け入れ、何事にもフレキシブルに対応しています。

🔄 ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科4か月			必修3科で3か月			救急科3か月			選択科2か月		
2年目	地域医療1か月	内科2か月		必修1科1か月	選択科8か月							

*内科は、総合内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、代謝内分泌、腎臓内科（透析）、血液内科、アレルギー膠原病、老年内科、腫瘍内科、緩和医療、感染症を含みます。

*必修4科（外科、小児科、産婦人科、精神科）

*精神科は、協力病院である加茂病院での研修になります。

*救急科は、4週まで麻酔科に振替え可

*選択科は、整形外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、放射線科、麻酔科、内科、外科、小児科、産婦人科、病理診断科の中から複数選択可能

*2年目に地域医療と内科で外来研修がありますが、たすきがけコースでは1年目に外来研修を内科と並行研修で行います。

👤 処遇

- 給 与：1年目 415,662円/月、2年目 465,532円/月（地域手当等含）、別途賞与有
- 保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険、労災適用あり
- 宿 舎：8戸（使用料15,000円、光熱水費別）

✉ 問合せ先

西脇市立西脇病院 病院総務課

□住所：兵庫県西脇市下戸田652番地の1

□TEL：0795-22-0111

□E-mail：kanrijj@hospital.city.nishiwaki.lg.jp

□HP：https://www.city.nishiwaki.lg.jp/hospital/index.html



市立加西病院



病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：199床
- 医師数：22名 (うち臨床研修指導医数10名)
- 医科研修医数：1年次2名、2年次3名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：336.6名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：142.2名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／外科／整形外科／耳鼻咽喉科／産婦人科／小児科／泌尿器科／眼科／精神科／皮膚科／脳神経内科／放射線科／麻酔科／リハビリテーション科／救急科

研修プログラムの特長

加西病院の臨床研修では目標である『自ら考え、実践する力』が確実に身につくように様々な工夫をしています。特にプライマリ・ケアを自ら実践し、臨床力(自分の型)が早く身につきます。地域に密着した市唯一の総合機能病院です。救急外来では時間内、当直時間帯とも指導医のバックアップのもとにファーストコールで呼ばれ、自ら判断する機会が豊富です。病棟では担当医として患者さんに対応します。患者さん毎に指導医が付き、指導を仰ぎつつ自ら意思決定し、実際の医療を行います。一年目の当直は研修当直として上級医と一緒にいきます。二年目には当院では研修医の先生の実力を見たとえ、一人当直(内科各科、各科バックアップのもとで)をしていただきますので、他院より早く自分の型が身につきます。しかし、その型が我流になってはいけませんので、JAMEP(基本的臨床能力評価試験)を研修医全員に受けてもらい、客観的な評価を行います。

ローテートモデル

研修年次	一年目											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ローテーション	内科系 (一般外来含む) (20週)					救急 (4週)	外科 (8週)	麻酔科 (8週)			整形外科 (8週)	
施設	市立加西病院											
共通	救急											
研修年次	二年目											
ローテーション	内科 (4週)	精神科 (4週)	地域医療自院研修 (4週)	産婦人科 (4週)	小児科 (4週)	選択 (28週)						
施設	市立加西病院			協力病院		市立加西病院 (協力病院3か月間は可能)						
共通	救急											

他院教育関連病院研修

研修二年目における他施設教育関連病院での研修は、臨床研修医の志望に基づいて加西病院で提供できない研修を行うために設定しています。協力病院での研修は最長3か月で、当院からの給与支給で研修します。どの病院でも当院と同じように研修できます。

●令和6年度の関連病院病院は以下の通りです。

・神戸大学医学部附属病院 (各専門領域の診療科全て) ・加古川中央市民病院 (主に小児科、産婦人科、膠原病科、他) ・兵庫県立加古川医療センター (主に三次救急救命センター) ・兵庫県立がんセンター (主に病理学) ・兵庫立ひょうごこころの医療センター (主に精神科救急) ・姫路北病院 (主に精神科慢性疾患) ・明石医療センター (主に呼吸器内科、心臓外科) ・北播磨総合医療センター (各専門領域の診療科全て) ・西脇市立西脇病院 (主に産婦人科) ・済生会兵庫病院 (主に産婦人科) ・姫路聖マリア病院 (小児科) ・兵庫県立はりま姫路総合医療センター (主に内科、小児科)

処遇

- 給与：1年次 370,000円程度 (宿日直手当含む) 2年次 450,000円/月程度 (宿日直、入院・外来加算含む)
 - ※賞与有、退職手当有、通勤手当有
- 保険等：共済保険、厚生年金、公務災害適用有
- 宿舎：単身用16戸 (病院から半径2km以内の民間物件を借上げ官舎として提供) 使用料26,000円～33,000円 (駐車場1台付・光熱水費別)
 - 世帯用3戸 (借上げ官舎) 使用料30,000円～97,000円 (駐車場1台以上付・光熱水費別)

問合せ先

市立加西病院 総務課

□ 住所：加西市北条町横尾1-13

□ TEL：0790-42-2200

□ E-mail：byoin@city.kasai.lg.jp

□ HP：https://www.city.kasai.hyogo.jp/site/hospital/



北播磨総合医療センター

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：450床
- 医師数：185名 (うち臨床研修指導医数37名)
- 医科研修医数：1年目16名、2年目11名 (たすきがけコースの研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：1021名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：297名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：総合内科、老年内科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、ペインクリニック内科、緩和ケア内科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、小児科、皮膚科、精神神経科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、産婦人科、形成外科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科



📖 研修プログラムの特長

高い技術と誇りを持った医療人を育てる

初期研修期間は医師としての人格を涵養するとともに、医師として将来の飛躍に向け、医学的基礎を築くための大切な時期です。本プログラムは、将来専門とする分野にかかわらず、日常診療で、頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、医学的基礎を学ぶことを重視します。そのため、すべての必修科を適切に研修し、基本的な診療能力を身に付けることができることを目標としています。

指導体制

本プログラムでは、研修医の希望に沿って、研修プログラムの細部を決めます。各科研修においては、上級医・指導医が主治医、研修医は担当医となり、臨床経験豊富な上級医・指導医からマンツーマンの指導を受ける体制となっており、十分な症例、充実した診療体制で、研修医の成長を後押しします。研修医とすべての診療科の上級医・指導医は同じ医局で仕事をしているため、専門科間の垣根がなく、高い専門性を維持しつつ患者を中心とした包括的な医療を学ぶためにふさわしい環境が整っています。ぜひ一度見学に来てください。

🔄 ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科系						救急	選択科目	外科 (消化器外科・乳腺外科) 又は心臓血管外科	外科系選択		
2年目	救急	小児科 (外来研修含む)	精神科	産婦人科	地域医療 (外来研修並行)	選択科目 (一部外来研修並行可)						

👤 処遇

- 給与：1年次 月額 428,100円/月 (医師手当+副直3回/月含む) 賞与 842,692円/年
2年次 月額 452,200円/月 (医師手当+副直3回/月含む) 賞与 1,359,900円/年
※時間外勤務手当別途支給、退職手当支給
- 保険等：市町村職員 職員共済組合 (健康保険、年金) に加入
地方公務員災害補償、勤務医賠償責任保険 (病院が負担)、健康診断 (年2回実施)
学会等参加に旅費等を支給 (上限あり)
- 宿舎：医師宿舎 (単身用) あり、職員食堂あり、研修医専用デスクあり

✉ 問合せ先

北播磨総合医療センター 管理部経営管理課

- 住所：兵庫県小野市市場町926-250
- TEL：0794-88-8800
- E-mail：drshien@kitahari-mc.jp
- HP：https://www.kitahari-mc.jp/



独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター



病院の概要 (2024年10月時点)

- 病床数：405床
- 医師数：64名（うち臨床研修指導医数31名）
- 医科研修医数：1年目3名、2年目3名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：535名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：301名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科・（精神科）・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・（小児科）・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・皮膚科・泌尿器科・（婦人科）・眼科・耳鼻いんこう科・頭頸部外科・リウマチ科・放射線診断科・放射線治療科・リハビリテーション科・（麻酔科）・糖尿病内分泌内科・緩和ケア内科・救急科・病理診断科・血液内科 ※（ ）は休診中です。（令和6年6月現在）

研修プログラムの特長

1年目の研修は内科24週（一般外来4週を含む）、救急科12週、外科4週、選択科目8週を回ります。内科では呼吸器内科、消化器内科、循環器内科を8週ずつ回り、並行して血液内科、糖尿病内分泌内科、リウマチ科の症例を経験します。また、この間に一般外来を4週行います。救急科では、当院で導入しているドクターカーで救急現場に急行して処置を行うこともあります。

当院は、呼吸器疾患については全国でも有数の施設であり、医師数、症例数、診療レベルともにトップクラスです。消化器疾患については、内視鏡を用いた診断と治療により低侵襲な治療を提供しております。地域がん診療連携拠点病院に指定されており、がん診療の基本を一通り経験できます。

ローテートモデル

	24週	12週	4週	8週
1年目	内科（一般外来4週を含む）	救急科	外科	選択科目

処遇

- 給与：月給375,000円（超過勤務手当・当直手当・賞与あり）
- 保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険、労災適用あり
- 宿舎：20戸（病院敷地内）家賃19,500円
テレビ・エアコン・ベッド・冷蔵庫・ユニットバス等備え付け

問合せ先

管理課

住所：兵庫県姫路市本町68番地

TEL：079-225-3211

E-mail：413-sy@mail.hosp.go.jp

HP：https://himeji.hosp.go.jp/

社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院



た

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：440床
- 医師数：71名 (うち臨床研修指導医数30名)
- 医科研修医数：1年目6名、2年目6名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：736名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：314名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科／呼吸器内科／消化器内科／消化器・肝臓内科／循環器内科／緩和ケア内科／腎臓内科／神経内科／人工透析内科／外科／乳腺外科／消化器外科／大腸・肛門外科／内視鏡外科／アレルギー科／小児外科／形成外科／整形外科／小児科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻いんこう科／リハビリテーション科／放射線科／病理診断科／救急科／麻酔科



📖 研修プログラムの特長

当院は姫路市北部に位置し自然豊かで広大な敷地のなかに急性期病床群、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟、重度障害総合支援センター等の様々な施設を有し、その中で研修医は自分の目標を設定し、のびのびと研修生活を送っています。「実践力」を重視した研修が自慢で、研修医の希望に応じて様々な経験をすることが可能です。過去の先輩研修医は当院で『動ける医師』『使える医師』としての基礎を築いて、現在多方面で活躍しています。救急医療におけるファーストタッチ数、手術執刀数、麻酔導入数、内視鏡施行数など、どれをとっても十分な経験ができると思います。実践を数多く経験することで、専門医制度につながる自分の将来の選択肢を的確に絞り込むことができると考えています。

🔄 ローテートモデル

週	16	12	4	4	4	4	8
1年次	内科	救急部門	外科	小児科	産婦人科	麻酔科 (病院必修)	選択

- ・一般外来研修は内科もしくは小児科で並行研修
- ・選択科目は経験症例数を配慮のうえ柔軟に対応

👤 処遇

- 給 与：(1年次) 388,460円/月 (2年次) 396,890円/月
時間外勤務手当、当直手当、交通費等別途。賞与は内規等による
- 保険等：健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- 宿 舎：病院敷地に隣接。単身用は研修医減免価格。

✉ 問合せ先

姫路聖マリア病院 臨床研修センター事務局

- 住所：兵庫県姫路市仁豊野650
- TEL：079-265-5111 (代)
- E-mail：sotsugo@himemaria.or.jp
- HP：https://www.himemaria.or.jp/maria/



た

赤穂市民病院



病院の概要 (2021年4月時点)

- 病床数：360床
- 医師数：67名（うち臨床研修指導医数13名）
- 医科研修医数：1年目8名、2年目6名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：650.6名（対象期間：2021年4月～2022年3月）
- 1日平均入院患者数：626.5名（対象期間：2021年4月～2022年3月）
- 標榜診療科：内科、呼吸器科、消化器内科、消化器外科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、心臓血管外科、歯科口腔外科、形成外科、精神科、心療内科、病理診断科、リハビリテーション科、救急科

研修プログラムの特長

地域中核病院の特徴をいかして、プライマリケア、2.5次救急に対応できる医師としての基本的診療能力を身につけることができます。初年度は基本的診察能力、診断能力を培うための内科系研修、救急患者のトリアージ、初期救命・救急処置を習得するための救急研修を行うほか、必修の外科研修、病院必修の麻酔科研修を行います。また、2か月目より指導医とともに救急当直に入り、2.5次救急の研修を行います。

2年目には、必修科目である地域医療、小児科、産婦人科、精神科研修を行い、選択科目については内科、消化器科、循環器科、外科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、麻酔科、小児科、産婦人科（協力病院）、精神科（協力病院）から各自が自由に選択することができます。また、2年目の内科系及び外科系研修では、指導医のもと、自らも1年目の研修医の指導に当たり、臨床医として一人立ちする能力を身につけることができます。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急			外科・麻酔科		
2年目	地域医療	一般外来	小児	産婦	精神	選択科目						

処遇

- 給 与：1年目 基本月給335,278円/月（地域手当含む）
2年目 基本月給350,330円/月（地域手当含む）
- 保険等：市町村共済組合保険、雇用保険、地方公務員災害補償制度、院内託児所
- 宿 舎：研修医宿舎 有（月額4,000円：駐車場含）

問合せ先

- 赤穂市民病院総務課
- 住所：兵庫県赤穂市中広1090番地
 - TEL：0791-43-3222
 - E-mail：soumu@amh.ako.hyogo.jp
 - HP：http://www.amh.ako.hyogo.jp/



兵庫県立はりま姫路総合医療センター

た産

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：736床
- 医師数：286名 (うち臨床研修指導医数66名)
- 医科研修医数：1年目15名、2年目14名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：1153.5名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：596.4名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：総合内科、循環器内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、腎臓内科、呼吸器内科、腫瘍・血液内科、膠原病リウマチ内科、感染症内科、緩和ケア内科、消化器外科・総合外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、歯科口腔外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、精神科、麻酔科・ペインクリニック科、産婦人科、小児科、小児外科



📖 研修プログラムの特長

2022年5月、製鉄記念広畑病院と県立姫路循環器病センターが統合再編し、県立はりま姫路総合医療センター（愛称「はり姫」）が開院しました。姫路駅より徒歩約12分に位置し、736床、33診療科を備える県西部で最大の病院です。最新鋭の設備を順次導入しており、高度専門医療・救命救急医療を担うとともに、臨床研究・人材育成に力を入れています。

当院の初期研修の特徴は、「豊富な症例」と「三次救急」を経験できることです。しっかりとした指導体制のある各科研修に加え、年間を通しての救命救急センターにおける副直で、医師としての必要な知識・技術・姿勢を身に付けることができます。また、豊富な診療科がありますので、各診療科の働き方ややりがいを身近で見て、感じることができます。

質の高い診療・教育・研究を提供すべく、高いモチベーションをもつスタッフが集結しました。初期研修の2年間は後々の医師人生に大きな影響を及ぼします。この大切な期間を一緒に過ごし、働くことができる日を楽しみにしております。

🔄 ローテートモデル

1年目	20週			8週	4週	4週	4週	4週	4週
	内科			救急部門	精神科	外科	小児科	産婦人科	選択科目
2年目	4週	8週	4週	32週					
	地域医療	内科	救急科	選択科目 (兵庫県立病院群からも選択可能)					

※2年間を通じて、救命救急センター副直を担当

※精神科、地域医療は協力型臨床研修病院・臨床研修協力施設で研修

※たすきがけコースは、内科28～32週、救急部門8～12週、外科4週、選択科目4週

※産婦人科育成コースは、内科28～32週、救急部門8～12週、外科4週、産婦人科4週

※救急部門（1年次）は、救急科4週、麻酔科・ペインクリニック科4週

※一般外来は、内科・小児科・地域医療の並行研修として実施

👤 処遇

※兵庫県立病院の臨床研修医の規程に基づいており、今後変更の可能性があります。

□ 給与：1年次約310,000円(月)、2年次約324,000円(月)

期末手当、勤勉手当、宿日直手当、超過勤務手当、通勤手当等あり

□ 保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険、労災適用あり

□ 宿舎：医師公舎

✉ 問合せ先

総務部診療サポート課 臨床研修担当

□ 住所：兵庫県姫路市神屋町3丁目264番地

□ TEL：079-289-5080

□ E-mail：rinken_harihime@hgmc.hyogo.jp

□ HP：https://hgmc.hyogo.jp



た

公立宍粟総合病院



病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：199床 (稼働病床178床)
- 医師数：30名 (うち臨床研修指導医数11名)
- 医科研修医数：1年目3名、2年目4名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：367.0名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：116.0名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、消化器外科、整形外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、人工透析 (30床)

研修プログラムの特長

当院での臨床研修の特色は、中山間地域におけるへき地医療の拠りどころとしての地域医療への取組を2年間で十分研修していただけることです。

地域の中核病院といえる当院においては、都市部の医療機関と同等の標準的な治療についての研修ができます。

診療科の垣根が低く連携も取れており、また、研修医の定員が少ないこともあり、2年間という限られた期間に豊かな経験を積んでいただくことができると考えています。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 24週						外科 (麻酔科含む) 12週			救急部門 12週		
	救急 一般外来											
	救急 一般外来											
2年次	地域医療 4週	精神科 4週	小児科 4週	産婦人科 4週	選択科：8か月の期間内で自由に選択 内科・外科・救急など・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科・整形外科・泌尿器科・放射線科							
	救急 一般外来											
	救急 一般外来											

(ローテーションは順不同)

※研修先 精神科 (姫路北病院)・地域医療 (一宮北診療所)・選択科救急など (県立はりま姫路総合医療センター)

処遇

- 給 与：1年次：314,100円/月、2年次：324,400円/月
医師職務手当 (給料月額85% ※2年目は95%)、医師技能手当 (医師免許取得年数×1万円)、その他手当あり
- 保険等：社会保険・厚生年金・雇用保険・労災適用あり
- 宿 舎：病院から半径1km以内の民間物件を借り上げ医師宿舎として提供
使用料10,000円/月 (病院負担の家賃上限を超える分について自己負担あり)、光熱水費個人負担、家具、家電付き

問合せ先

公立宍粟総合病院 総務課

□ 住所：兵庫県宍粟市山崎町鹿沢93番地

□ E-mail：info@shiso-hp.jp

□ TEL：0790-62-2410

□ HP：https://www.city.shiso.lg.jp/shiso_hp/

公立豊岡病院組合立 豊岡病院



た

🏥 病院の概要 (2024年10月時点)

- 病床数：528床
- 医師数：157名 (うち臨床研修指導医数38名)
- 医科研修医数：1年目10名、2年目7名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：902名 (対象期間：2022年4月～2023年3月)
- 1日平均入院患者数：405名 (対象期間：2022年4月～2023年3月)
- 標榜診療科：内科(総合診療科)／精神科／脳神経内科／呼吸器内科／消化器科／循環器内科／リウマチ科／内分泌・糖尿病内科／緩和ケア内科／小児科／消化器外科／乳腺外科／整形外科／形成外科／脳神経外科／呼吸器・心血管外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻いんこう科／麻酔科／歯科口腔外科／矯正歯科／リハビリテーション科／放射線科／病理診断科／救急集中治療科



📖 研修プログラムの特長

- ① プライマリ・ケアの基礎的診断能力はもとより、臨床経験や人との交流を通じて培われるコミュニケーション力や議論する力、的確な判断力、そして学び続ける力を持った医師の養成を目指します。
- ② オーダーメイド研修が可能
(1)内科研修は6診療科から選択、(2)外科研修は2診療科から選択、(3)選択研修は10ヶ月(組合せ自由)、(4)協力型臨床研修病院(大学病院や都市部中核病院等)でも研修が可能、(5)地域研修は6病院から選択
- ③ 地域中核病院の特徴を活かし、Common Diseaseから稀少疾患まで経験が可能、且つ症例経験が豊富。
- ④ ワーク・ライフ・バランスに配慮した研修が可能(A水準取得予定)
- ⑤ 専門研修へのスムーズな移行が可能
(1)全19領域のうち16領域(耳鼻、臨床検査、リハビリを除く)で専門研修が可能、(2)各領域の基準を満たした指導医のもとで研修が可能、(3)関係大学等と専門研修プログラムで連携

🔄 ロータートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(一般外来)						救急	麻酔科 (4週は救急代用)		外科(消化器外科、呼吸器・心血管外科) ／産婦人科／小児科／精神科		
2年次	地域医療 (一般外来)		選択科目(各診療科の選択は組合せ自由) ※協力型臨床研修病院(0≦2ヶ月)：京都大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、神戸市立医療センター中央市民病院、 県立尼崎総合医療センター、県立はりま姫路総合医療センター、加古川中央市民病院、八鹿病院									

※内科(26週以上)、救急(12週以上)、麻酔科(8週以上)、外科・産婦人科・小児科・精神科・地域医療(各4週以上)を必修で研修します。
 ※救急(12週以上)の研修期間は救急科・麻酔科・日当直(各4週)とします。
 ※1年間を通して月4～5回程度の当直(救急外来)を行います。

👤 処遇

- 給 与：1年次360,412円(地域手当を含む)、賞与(2.99ヶ月分)、副直手当(15,000円/回)、通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当
2年次376,304円(地域手当を含む)、賞与(4.6ヶ月分)、副直手当(15,000円/回)、通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当
- 保険等：健康保険、厚生年金、雇用保険、地方公務員災害補償基金
- 宿 舎：研修医宿舎(病院敷地内)1K30㎡ 賃料6,300円/月(光熱水費別)

✉ 問合せ先

公立豊岡病院組合立豊岡病院 教育・診療支援部 教育研修課
 □住所：兵庫県豊岡市戸牧1094番地 □TEL：0796-22-6111
 □E-mail：kenkyuu.toyooka@toyookahp-kumiai.or.jp □HP：https://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/



公立八鹿病院



病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：380床
- 医師数：37名 (うち臨床研修指導医数12名)
- 医科研修医数：1年目2名、2年目2名
- 1日平均外来患者数：479.8名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：252.2名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科・循環器科・呼吸器科・消化器内科・脳神経内科・外科・乳腺外科・整形外科・眼科・小児科・産婦人科・耳鼻咽喉科・放射線科・胃腸科・泌尿器科・皮膚科・脳神経外科・麻酔科・精神科・救急科・歯科口腔外科・神経科・リハビリテーション科

研修プログラムの特長

基幹型臨床研修病院である当院は、救急医療、急性期医療に加え、リハビリテーション、慢性期医療、緩和ケア、予防医療等を提供する地域中核病院です。少子高齢化が先行した地域において、急性期から回復期・慢性期そして在宅まで継続した研修が可能であり、豊富で偏らない症例を経験できることが特徴です。

1年次は内科・一般外来28週、外科8週、救急部門で12週の研修を行っていただきます。2年次は地域医療4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週が必須で、残りの期間は選択科目の研修となっています。

選択科目の研修では当院以外に公立豊岡病院、神戸大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院の各診療科での研修が可能となっています。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科・一般外来							外科		救急科		
2年目	精神科 ※大学病院	地域医療 ※当院または村岡病院	小児科 ※豊岡病院または大学病院	産婦人科 ※豊岡病院または大学病院	選択科 ※当院のほか、公立豊岡病院、大植病院 (精神科)、鳥取大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院での研修が可能							

処遇

- 給与：1年次 400,000円/月、2年次 420,000円/月
時間外手当・当直手当・通勤手当・賞与あり、退職手当なし
- 保険等：社会保険・厚生年金・雇用保険・労災適用あり
- 宿舎：6戸 (研修医向け、病院より約400m)、使用料20,000円/月 (光熱水費別) ※使用料減免制度あり

問合せ先

公立八鹿病院 事務部総務課

□ 住所：兵庫県養父市八鹿町八鹿1878-1 □ TEL：079-662-5555

□ E-mail：kensyu@hosp.yoka.hyogo.jp □ HP：http://www.hosp.yoka.hyogo.jp

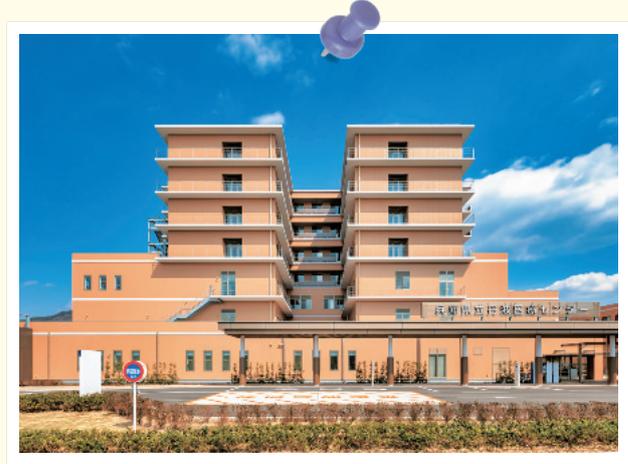


兵庫県立丹波医療センター

た産

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：320床
- 医師数：68名（うち臨床研修指導医数27名）
- 医科研修医数：1年目8名、2年目8名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：482.0名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：273.1名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、緩和ケア内科、糖尿病・内分泌内科、小児科、放射線科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科（診療科目：27科）



📖 研修プログラムの特長

初期研修では医療面接や身体診察をはじめとした多岐にわたる診察法・検査・手技や症状・疾患を臨床推論にもとづいて経験することが求められています。医療人として必要な基本姿勢・態度の醸成も求められています。これは臨床医に求められる最低限の知識と技能です。当院には総合診療を主として各科の垣根を超え、医療人として総合的に人材を育成していく文化があります。世界標準の医療の提供を目指すことはもちろん、単なる疾病だけではなく、目の前の患者を全人的にどう診療するか、予防活動や福祉活動も含めどのように医療者が地域医療に貢献していくべきかということを学び考える医師の養成を目指しています。また、併設する丹波市ミルネ診療所の運用も一体的に行っており、早い段階から訪問診療への同行や健診異常者への対応も学べます。

🔄 ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (6)						外科 (2)		救急部門 (2)		産婦人科 (1)	小児科 (1)

※ローテート順は、研修医ごとに異なります。

👤 処遇

- 身分：兵庫県立病院会計年度任用職員（臨床研修医）
- 給与：1年次 284,500円（月） 宿日直手当 21,000円/回
時間外手当、通勤手当（上限有り）、期末手当
特別休暇（夏休、忌引等）、育休取得可能
参考 県立平均年俸640万円（1年次）
- 保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険、労災適用あり 病院賠償責任保険：県立丹波医療センターとして加入
- 宿舎：医師公舎として、民間物件（1LDK）を、借上げ（徒歩10分以内）

✉ 問合せ先

- 兵庫県立丹波医療センター 総務課
- 住所：兵庫県丹波市氷上町石生2002番地7
 - TEL：0795-88-5200(代)
 - E-mail：soumu@tmc.hyogo.jp
 - HP：https://tmc.hyogo.jp/

兵庫県立淡路医療センター



病院の概要 (2024年10月時点)

- 病床数：441床
- 医師数：148名（うち臨床研修指導医数35名）
- 医科研修医数：1年目13名、2年目13名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：792名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：319名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科、歯科口腔外科

研修プログラムの特長

淡路医療センターは、人口およそ12万人の淡路医療圏唯一の公立総合医療センターで、最新医療設備を備え、淡路島の急性期医療をほぼ一手に担う441床の中規模病院です。救命救急センターと地域外傷センターを併設し、内科系・外科系の区別なく島内最後の砦として地域完結型医療を行っています。各診療科は協力し合いながら救急医療に取り組んでいますので、各科の垣根は低く、アットホームな雰囲気です。難病、希少疾患、Common Disease、そして、プライマリ・ケアから高度医療に至るまで、研修医が経験できる症例は非常に豊富であり、偏りもありません。教育面でも、スキルアップセンターのほか、勉強会として救急集中治療カンファレンス、屋根瓦方式の勉強会（Bridge）などを定期的に行っています。

ローテートモデル

1 年次	6ヶ月		3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月
	内科		外科	小児科	産婦人科	精神科
2 年次	3ヶ月	1ヶ月	8ヶ月			
	救急科	地域医療	選択科目			

処遇

※兵庫県立病院の臨床研修医の規程に基づいており、今後変更の可能性があります。

- 給与：1年次：284,500円/月
2年次：298,700円/月
期末・勤勉手当、当直手当、超過勤務手当、通勤手当あり
- 保険等：地方職員共済組合、厚生年金、雇用保険、労災適用あり
- 宿舎：あり（自己負担8,000円/月～20,000円/月程度）

問合せ先

兵庫県立淡路医療センター 総務部総務課

- 住所：洲本市塩屋1丁目1-137
- TEL：0799-22-1200
- E-mail：Awaji_hos@pref.hyogo.lg.jp
- HP：https://www.awajimc.jp/

社会医療法人愛仁会 高槻病院



た

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：477床
- 医師数：215名（うち臨床研修指導医数75名）
- 医科研修医数：1年目14名、2年目12名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：1047名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：453名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、精神科、小児科、新生児小児科、小児脳神経外科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科



📖 研修プログラムの特長

高槻病院は、ベッド数477床の急性期病院で、大阪北摂地域の中核病院として市民病的役割や地域医療支援病院としての役割を担い、1997年から臨床研修指定病院として認可され、これまで多くの研修修了生を輩出してきました。

当院は、(1)豊富な症例 (2)綿密なカリキュラム (3)熱意ある指導医の必要不可欠な三要素と有能な医師になるための全ての要素を揃えています。

2年間の研修で、臨床医としての揺るぎない土台を築くことができるよう、指導医や他職種の職員も向上心を持ち、お互いに学ぶことを怠らず、研修医の先生方を病院全体でサポートしています。質の高い充実した臨床研修を受けたいと願う高い志とガッツある先生方を、充実したプログラムと指導体制を整えてお待ちしております。

🔄 ロータートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科A		内科B		内科C		総合内科		救急（麻酔）		麻酔	
2年目	外科			小児	地域	精神	産婦人科	選択				

👤 処遇

- 給 与：基本給1年次25万円、2年次28万円、賞与（在職年数に応じて支給）
副直・当直研修別途支給
- 保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険 など
- 宿 舎：あり 単身用 20,000円/月、世帯用あり、光熱費実費

✉ 問合せ先

高槻病院 臨床研修センター

□住所：大阪府高槻市古曽部町1丁目3-13

□E-mail：t.kensyu@ajk.takatsuki-hp.or.jp

□TEL：072-681-3801

□HP：https://www.takatsuki.aijinkai.or.jp/



市立岸和田市民病院



病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：400床
- 医師数：111名 (うち臨床研修指導医数31名)
- 医科研修医数：1年目4名、2年目3名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：898名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：291名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、代謝・内分泌内科、血液内科、リウマチ科、腫瘍内科、緩和ケア内科、腎臓内科、精神科、小児科、皮膚科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、形成外科、歯科口腔外科、救急科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科

研修プログラムの特長

診療科をローテートする研修医は原則1名ずつとなっており、密度の高い研修を受けることができます。この規模の市中病院としては多彩な診療科があり、1年次ではリウマチ・膠原病内科や腫瘍内科といった診療科もローテートします。2年次では、26週の選択研修があり、柔軟な研修を行うことが可能となっています。手技等についても、可能な限り研修医が主体的に行えるよう、医師をはじめとした当院のスタッフがしっかりと支えます。上級医と同室になっている医局では、縦横の垣根なく相談事などもしやすいアットホームな環境で過ごしていただけます。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 【循環器、消化器、呼吸器、代謝内分泌、腫瘍、血液、緩和ケア内科、リウマチ・膠原病】							外科 【消化器・脳神経】		救急		麻酔
2年次	小児科 (一般外来)	精神	産婦人科	地域医療	救急	麻酔	選択科目					

※選択科目 上記診療科および心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、形成外科、整形外科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、皮膚科、眼科

処遇

- 給与：1年次：月額約391,000円 (年収約5,830,000円)
2年次：月額約437,000円 (年収約6,951,000円)
※ 期末手当、対象手当あり ※ 金額は令和5年度の実勢を参考にしています。 ※ 令和6年度より賞与増額
- 休暇：年次有給休暇13日 (2年次は14日)
夏期休暇4日 (6月～10月取得可)
- 保険等：社会保険加入、医師賠償責任保険は病院として加入
- 宿舎：あり (民間マンション借り上げ、単身用)
病院徒歩3分、自己負担額20,000円/月 (共益費、光熱水費別途)。

問合せ先

事務局経営管理課 人事・給与担当

- 住所：大阪府岸和田市額原町1001番地 □ TEL：072-445-1000
- E-mail：kch@kishiwada-hospital.com □ HP：https://www.kishiwada-hospital.com/

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会中津病院



た

🏥 病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：570床
- 医師数：204名（うち臨床研修指導医数56名）
- 医科研修医数：1年目9名、2年目9名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：1215.9名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：457.8名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：消化器内科、糖尿病内分泌内科、循環器内科、呼吸器内科、膠原病内科、血液内科、脳神経内科、腎臓内科、老年内科、総合診療内科、外科・消化器外科、乳腺外科、整形外科、眼科、産婦人科、小児科、免疫アレルギーセンター、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、形成外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、精神神経科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科、総合健診センター、PETセンター



📖 研修プログラムの特長

当院は基幹型として1学年9名の研修医を受入れており、神戸大学病院の他にも大阪公立大学病院より1名協力型病院として受け入れを行っています。

総合病院として31の診療科を設置しており、全ての診療科に指導医を配置しているため全診療科にて研修が可能です。

救急搬送件数は年間約5,000件で、救急科研修時及び当直時に研修医がファーストタッチを行います。指導医、上級医からの指導はもちろんのこと、1学年上の研修医からの様々な指導と複数の同期の研修医と経験・知見を共有することで医学的知識とスキルの向上を図ることが可能です。

また、臨床教育部では週に1回以上の研修医向けの勉強会や症例報告会を企画し、プログラム責任者からの直接の指導も受けることができると、多くの学びの場を提供しております。

🔄 ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 一般外来（並行研修）						救急			外科・麻酔科		

- ※一般外来研修は、下記診療科にて実施予定です。
- ・総合診療内科：月2回程度を内科ローテート時に並行研修にて実施
- ・外科：週に1日程度

👤 処遇

- 給 与：基本給270,000円/月、賞与あり、通勤手当あり（33,000円まで/月）、時間外手当あり、退職手当なし
- 保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険、労災適用あり
- 宿 舎：無し

✉ 問合せ先

臨床教育部(人事課)

- 住所：大阪市北区芝田2-10-39
- TEL：06-6372-0640
- E-mail：resident@nakatsu.saiseikai.or.jp
- HP：https://www.nakatsu.saiseikai.or.jp

公益財団法人日本生命済生会
日本生命病院



た



病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：350床
- 医師数：132名 (うち臨床研修指導医数40名)
- 医科研修医数：1年目5名、2年目6名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：984.4名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：292.8名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：内科、循環器内科、消化器内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、リウマチ科、呼吸器内科、血液・化学療法内科、脳神経内科、腎臓内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、心臓血管外科、産婦人科、小児科、精神科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、形成外科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科、麻酔科

研修プログラムの特長

- ・当院は中規模病院 (350床) でありながら、全診療科 (29診療科・8つの診療センター) が揃っている点が最大の特徴です。
- ・2018年度4月に新病院が開院し、最新の医療機器・設備が整っています。
- ・2年間で合計9カ月間の自由選択期間があり、研修プログラムの自由度が高く、自分達の1年間のローテーション表を研修医同士が相談しながら作成しています。
- ・各研修医1人ずつに専用のデスク・ノートパソコン (電子カルテ) を準備し、快適な研修環境を整えています。
- ・毎週2回研修医向け勉強会を開催しています。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (循環器、消化器、内分泌・代謝、呼吸器・免疫、血液・化学療法、脳神経、腎臓内科) より選択						救急医療			外科		自由選択
	一般外来 (並行研修)						(救急：2カ月、麻酔科：1カ月)			一般外来 (並行研修)		
2年目	産婦人科	小児科 一般外来 (並行研修)	精神科	地域 一般外来 (並行研修)	自由選択							

処遇

- 給与：2023年度実績 年額平均 1年目 515万円、2年目 599万円
- 保険等：社会保険・厚生年金・雇用保険・労災適用あり
- 宿舎：なし

問合せ先

総務人事G

住所：大阪市西区江之子島2-1-54

E-mail：sakamoto.kohei@k.nissay-hp.or.jp

TEL：06-6443-3446

HP：https://www.nissay-hp.or.jp/

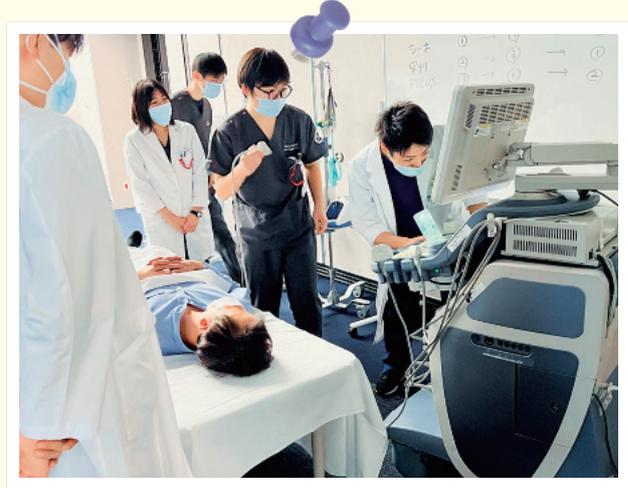
公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院



た

病院の概要 (2023年4月時点)

- 病床数：685床
- 医師数：310名 (うち臨床研修指導医数57名)
- 医科研修医数：1年目21名、2年目14名 (大学病院たすきがけプログラムの研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：1,405.9名
- 1日平均入院患者数：473.1名
- 標榜診療科：初期診療センター (救急部・初期診療科)、呼吸器センター (呼吸器内科・呼吸器外科)、消化器センター (消化器内科・消化器外科)、神経センター (脳神経内科・脳神経外科)、心臓センター (循環器内科・不整脈科・心臓血管外科)、化学療法センター (腫瘍内科)、放射線治療センター (腫瘍放射線科)、腎臓内科、泌尿器科、糖尿病内分泌内科、血液内科、リウマチ膠原病内科、神経精神科、小児科、小児外科、産婦人科、乳腺外科、皮膚科、形成外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、歯科口腔外科、緩和ケア科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線診断科、病理診断科、感染症科



研修プログラムの特長

北野病院は大阪市の中心に位置し、近畿一円より患者様が集まっています。「断らない医療」を掲げ、救急患者は一次から三次まで多岐にわたって救急患者を受け入れており、2023年の年間救急搬送台数は、約12,000台でした。研修医はcommon diseaseから専門性の高い疾患まで幅広い症例を数多く経験することができます。その他、週1回行いう昼の「救急症例カンファレンス」、各科のスタッフが救急の基本について行う「救急講義」、基本的な技術・知識を補うための「昼レクチャー」、外部講師による「コアレクチャー」も行っています。当院での研修では十分なプライマリ・ケアを学ぶと共に各科の専門的な最先端の医学にも触れることができるものと自負しております。2年間の臨床研修を終えた後は、引き続き「専攻医」として専門研修が可能です。当院では、内科、小児科、麻酔科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、形成外科が基幹研修施設となるプログラムを提供しています。専門研修終了後の進路は、当院スタッフ、大学院進学、他病院のスタッフ等、各自の希望に応じて色々な選択肢が可能であり、病院としてキャリア形成をサポートしています。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (循環器・呼吸器・消化器・脳神経) ※並行研修で初期診療科にて一般外来研修20日以上を実施						救急-救急部	救急-麻酔科	麻酔科	産婦人科	消化器外科	
	26週						9週	4週	5週	4週	4週	
2年目	地域医療	小児科	精神科	ICU	自由選択							
	4週	4週	4週	4週	36週							

必修：内科 (循環器・呼吸器・消化器・脳神経)、救急-救急部、救急-麻酔科、産婦人科、精神科、地域、小児科、消化器外科、地域医療、小児科、精神科
選択必修だが本院では必修としたもの：麻酔科、ICU

処遇

- 給 与：1年次月例給与：269,950円 2年次月例給与：312,180円
- 賞 与：1年次：270,000円 (夏期・年末合計) 2年次：350,000円 (夏期・年末合計)
- 手 当：当直手当、超過勤務手当、通勤手当、住宅手当 (月額25,000円) を当院規程により別途支給。
- 保険等：健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険
- 宿 舎：なし (但し、当院提携の不動産会社を通じて、ご希望に沿った物件を斡旋致します。)

問合せ先

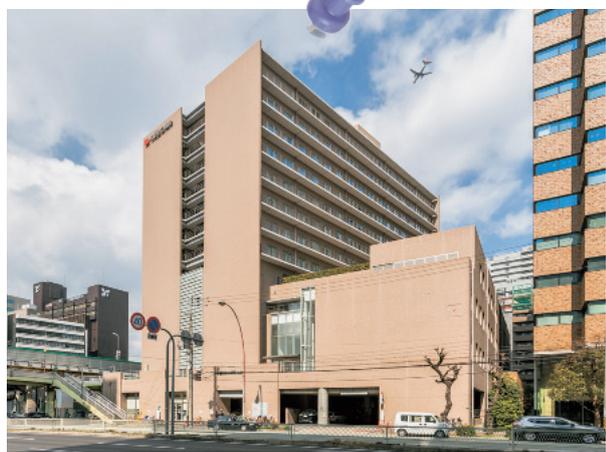
医師卒後教育センター

- 住所：大阪市北区扇町2丁目4番20号 □TEL：06-6131-2923
- E-mail：sotsugo@kitano-hp.or.jp □HP：https://www.kitano-hp.or.jp/ □Facebook：http://www.facebook.com/ishisotsugo/

株式会社互恵会

大阪回生病院

た



病院の概要 (2022年4月時点)

- 病床数：300床
- 医師数：67名（うち臨床研修指導医数8名）
- 医科研修医数：1年目2名、2年目0名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：698.8名（対象期間：2022年4月～2022年10月）
- 1日平均入院患者数：213.1名（対象期間：2022年4月～2022年10月）
- 標榜診療科：総合内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内分泌内科、呼吸器内科、脳神経内科、外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、婦人科、泌尿器科、眼科、眼形成手術センター、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、歯科口腔外科、放射線科、皮膚科、麻酔科、精神神経科、病理診断科、リハビリテーション科、睡眠医療センター

研修プログラムの特長

人材の育成に力を入れていることも当院の大きな特徴の一つです。

研修医の育成については、多くの学会の研修施設認定を受けております。

当院は、症例数も多く、人数も決して多人数ではありませんので、研修期間中に経験していただける内容も非常に濃く、厚いのではないかと思います。

ベテラン医師もそろっておりますので、短期間でスキルアップしていただける研修環境です。

ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	消化器内科		循環器内科		糖尿病内分泌内科	呼吸器内科	救急		外科	麻酔科		選択科目

処遇

- 給与：(月額300,000円)、賞与なし、時間外手当、休日手当、通勤手当あり
- 保険等：社会保険、厚生年金、雇用保険、医師賠償責任保険、労災適用あり
- 宿舎：なし

問合せ先

大阪回生病院 管理事務部

住所：〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-6-10

E-mail：hashizume@kaisei-hp.co.jp

TEL：06-6393-8287

HP：http://www.kaisei-hp.co.jp



淀川キリスト教病院

た

病院の概要 (2024年4月時点)

- 病床数：581床
- 医師数：252名 (うち臨床研修指導医数64名)
- 医科研修医数：1年目15名、2年目15名 (院外で研修中の研修医を含む)
- 1日平均外来患者数：1099名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 1日平均入院患者数：478名 (対象期間：2023年4月～2024年3月)
- 標榜診療科：総合内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内分泌内科、脳血管・神経内科、腎臓内科、リウマチ膠原病内科、血液内科、腫瘍内科、小児科、産婦人科、外科、心臓血管外科、小児外科、呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、精神神経科、リウマチ科、緩和医療内科、救急科、病理診断科、臨床検査科、歯科口腔外科



研修プログラムの特長

当院は、全人医療を理念とし、古くから患者中心、チーム医療、医学教育を目標に掲げてきた。このプログラムは当院が掲げる理念のもとで、救急医療、各専門医療、小児周産期、緩和医療（ホスピス）をとおして、人間の誕生から死に直面するまでのあらゆる医療を経験することで、幅広い豊かな人格をもった臨床医を育て、生涯にわたって必要な医師としての姿勢およびプライマリケアについて十分な知識、技術を身につけることが目的である。

ローテートモデル

研修医	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	呼吸器			ER	麻酔	ER	脳血管神経		消化器		小児	総合内科
B	ER		麻酔	産婦	血液	糖尿病		小児		緩和	脳血管神経	総合内科

最初の3ヵ月は内科（循環器、脳血管神経、呼吸器、消化器、リウマチ膠原病、糖尿病・内分泌、腎臓、血液のうちの1診療科）あるいは救急2ヵ月＋麻酔科1ヵ月を選択し、残りの9ヵ月は研修医内で相談し、全部で33ある診療科から選択することとなります。できるだけ希望に沿うようにと考えていますが、2年目にローテートする診療科との兼ね合いで検討してもらいます。

処遇

- 給与：1年次給与 月収：260,000円
別途、当直手当・超勤手当・研修手当・学会発表時の経費など支給あり
- 保険等：健保・雇用・労災・厚年保険、医賠償保険
- 宿舎：有り（原則、入居すること）
病院が法人契約しているマンションを研修寮として貸与（施設管理は建設業者）
賃貸契約諸費用は病院負担。研修医は一部の家賃負担のみ（約30,230円）

問合せ先

淀川キリスト教病院

住所：大阪市東淀川区柴島1丁目7-50

TEL：代表06-6322-2250

E-mail：rinken@ych.or.jp

HP：http://www.ych.or.jp/

社会医療法人愛仁会 千船病院

た



病院的概要 (2024年10月時点)

- 病床数：308床
- 医師数：129名（うち臨床研修指導医数54名）
- 医科研修医数：1年目11名（たすきがけ研修医を含む）、
2年目8名（院外で研修中の研修医を含む）
- 1日平均外来患者数：843名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：256名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、新生児小児科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科

研修プログラムの特長

当院は大阪市西淀川区に所在し、全21科の診療科を有する地域密着型の急性期総合病院です。年間の救急搬送数約5,000件以上、その症例の豊富さから十分なプライマリ・ケアの修練ができます。当院の特徴の一つである救急医療に関しては、ブロック研修として主に救急診療科と麻酔科で研修を行います。さらに並行研修も行うことで常時救急診療に携わり、コモンディーズに適切に対応できる基本的な診療能力を身につけることができます。一年を通して行われる研修医レクチャーでは、すべての診療科の指導医からプライマリ・ケアに関する事項だけでなく、医学統計や医学英語など今後の医師人生に役立つようなテーマでレクチャーいただいています。2年次の選択科の研修期間を長めに確保することで、より多くの診療科研修が可能であり、また、年度途中での選択診療科の変更も可能ですので、自由度の高い研修プログラムです。

ローテートモデル(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (24週以上)						外科		小児科	救急	麻酔科 (救急)	
	救急外来 (日勤帯)											
	副直 (必修)						副直 (希望者)					
2年目	地域医療	産婦人科	精神科	選択科								
	救急外来 (日勤帯)											
	当直 (必修)											

処遇

- 給与：年俸 1年次約360万円 2年次約650万円（当直手当、賞与他含む：2022年度給与実績）
- 保険等：健康保険、厚生年金、雇用保険（常勤職員に準ずる）
- 宿舎：あり 月額30,000円（別途、共益費月額3,000円）

問合せ先

社会医療法人愛仁会 千船病院 診療部支援室

住所：大阪市西淀川区福町3丁目2番39号

E-mail：sennofune@ajinkai-group.com

TEL：06-6471-9541

HP：https://www.chibune-hsp.jp/resident/

社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会茨木病院



た

🏥 病院の概要 (2024年10月時点)

- 病床数：315床
- 医師数：56名（うち臨床研修指導医数28名）
- 医科研修医数：1年目5名（たすき掛け3名含む）、2年目2名
- 1日平均外来患者数：391.4名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 1日平均入院患者数：261.9名（対象期間：2023年4月～2024年3月）
- 標榜診療科：内科 消化器内科 循環器内科 糖尿病・内分泌内科 腎臓内科 血液内科 呼吸器内科 小児科 外科 消化器外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 心臓血管外科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 放射線科 リハビリテーション科 麻酔科 精神科・神経科



📖 研修プログラムの特長

当院は、大阪府北摂地域に位置し315床を有する地域に根差した中規模の茨木市の唯一の公的病院です。分業の確立した大規模病院と違い、総合的な力の向上も望めます。また、科ごとに医局の部屋が分かれていないため、診療科ごとの垣根が低く、科を超えての相談がしやすい環境です。

救急医療については、当院で年間を通して研修が可能です。内科、外科、小児科の各上級医が研修医と一緒に当直するため、安心して治療にあたれます。さらに研修医の定員に対して指導医が多いため、経験豊富な指導医からマンツーマンで手厚い指導・充実した研修を受けられます。実際に手技を経験する機会が多く、大学病院では直接経験できないことも経験可能な環境です。

🔄 ローテートモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科（消化器、循環器、糖尿、腎臓、呼吸器、血液）より4つ選択								麻酔科	外科		小児科
	一般外来・救急外来（並行研修）									一般・救急外来（並行）		

- ※救急部門として、年間を通して救急外来並行研修を8週程度行う。
- ※麻酔科は、救急部門に含む。一般外来は、内科・外科・小児科の並行研修とする。
- ※外科は、希望により整形外科1ヵ月研修可。

🏠 処遇

- 給 与：300,000円/月 賞与あり、通勤手当あり、残業手当・当直手当別途支給
- 保険等：社会保険あり（健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険）
- 宿 舎：あり（病院から半径2km以内の民間物件を借上げ研修医宿舎として提供）
使用料31,000～45,000円（光熱水費別）

✉ 問合せ先

人事課 臨床研修担当

- 住所：大阪府茨木市見付山2-1-45
- TEL：072-622-8651
- E-mail：s.kensyu@ibaraki.saiseikai.or.jp
- HP：https://www.ibaraki.saiseikai.or.jp/saiyou/resident/1.html

1年目研修病院における研修医受入れ状況

地域		病院名	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
神戸	p62	神戸医療センター	3	3	3	3	3
	p63	神戸中央病院	1			3	
	p64	神戸市立医療センター西市民病院	1	3	3	3	3
	p65	神戸労災病院	2	2	2	2	2
	p66	川崎病院	1		1		
	p67	甲南医療センター	6	6	6	6	6
	p68	神戸徳洲会病院					
	p69	神戸百年記念病院					
	p70	神戸赤十字病院	2	2	2	2	2
	p71	新須磨病院					
	p72	済生会兵庫県病院				2	2
	p73	三菱神戸病院			1	1	
	p74	神戸朝日病院					
阪神	p75	関西労災病院	1	1	1		1
		西宮市立中央病院	3	1	1	1	1
	p76	川西市立総合医療センター			1	1	1
	p77	三田市民病院			1		
東播磨	p78	加古川中央市民病院	7	5	5	5	5
	p79	明石市立市民病院					3
	p80	兵庫県立加古川医療センター	1			1	
	p81	明石医療センター	2	2	1	1	2
北播磨	p82	西脇市立西脇病院	1	1			
	p83	市立加西病院					
	p84	北播磨総合医療センター	2	3	3	3	3
播磨姫路	p85	姫路医療センター		1	2		1
	p86	姫路聖マリア病院					1
	p87	赤穂市民病院		1			
	p88	兵庫県立はりま姫路総合医療センター			4	5	5
	p89	公立穴栗総合病院		1			
但馬	p90	豊岡病院	1			1	
	p91	公立八鹿病院					
丹波	p92	兵庫県立丹波医療センター			1		
淡路	p93	兵庫県立淡路医療センター				1	1
大阪	p94	高槻病院	2	2	1	2	2
	p95	市立岸和田市民病院					
	p96	大阪府済生会中津病院	2	2	1	1	
	p97	日本生命病院	2	2	2	1	1
	p98	医学研究所北野病院	2	2	2	2	2
	p99	大阪回生病院		2			
	p100	淀川キリスト教病院	1	1	1	1	1
	p101	千船病院	1		1	2	2
	p102	大阪府済生会茨木病院		1	1	1	1

病院名	P62.神戸医療センター	P63.神戸中央病院	P64.神戸市立医療センター西市民病院	P65.神戸労災病院	P66.川崎病院	P67.甲南医療センター		
病院基本情報	研修医受入可能数	3	4	3	2	1	6	
	病床数	304	389	358	316	278	461	
	常勤医師数	61	75	121	72	65	166	
	HPアドレス	https://kobe.hosp.go.jp/	http://kobe.jcho.go.jp/	https://nishi.kcho.jp/	https://www.kobeh.johas.go.jp	https://www.kawasaki-hospital-kobe.or.jp/	https://www.kohnan.or.jp/kohnan/	
	照会対応者	管理課長 鶴田 貴久 TEL: 078-791-0111 FAX: 078-791-5213 412-kenshu_j@mail.hosp.go.jp	総務企画課 高橋 TEL: 078-594-2211 FAX: 078-594-2244 soumu@kobejcho.go.jp	総務課総務係 新地 TEL: 078-576-5251 FAX: 078-576-5358 w_nishi_somuka@kcho.jp	総務課 藤田 TEL: 078-231-5901 FAX: 078-242-5316 rosai@kobeh.johas.go.jp	教育推進本部 永岡 瑠衣子 TEL: 078-511-3131 (代表) FAX: 078-511-3138 kyoiku@kawasaki-hospital-kobe.or.jp	診療部 教育研修センター 高橋 TEL: 078-851-2161 FAX: 078-821-0962 ko_n.takahashi@kohnan.or.jp	
FM	〒654-0155 神戸市須磨区西落合3-1-1	〒651-1145 神戸市北区惣山町2-1-1	〒653-0013 神戸市長田区一番町2丁目4番地	〒651-0053 神戸市中央区築地通4丁目1番23号	〒652-0042 神戸市兵庫区東山町3-3-1	〒658-0064 兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-16		
最寄り駅からの交通手段	神戸市営地下鉄名谷駅で下車。西神方向徒歩10分又は市営バス76番神戸医療センター前下車徒歩3分	神戸電鉄北鈴蘭台駅よりバス5分 [阪急神戸線・阪神本線でお越しの方] 新聞地駅で神戸電鉄へ乗り換え [JR福知山線でお越しの方] 三田駅で神戸電鉄へ乗り換え	神戸市営地下鉄「長田駅」または神戸高速鉄道「高速長田駅」より徒歩8分 JR兵庫駅または神戸高速鉄道「大開駅」より徒歩10分	JR・阪急・阪神・地下鉄三ノ宮駅より神戸市バス2系統に乗車「野崎通3丁目」下車すぐまたは阪急王子公園駅、地下鉄新神戸駅より徒歩15分	神戸電鉄「湊川駅」から徒歩約5分 地下鉄「湊川公園駅」から徒歩約5分	病院専用シャトルバス有(阪急御影約6分、阪神御影約12分、JR吉住約15分) 神戸市バス19系統阪急御影約10分、阪神御影約20分 病院前下車		
処遇	月基本給	413,200円	360,000円 (固定給)	279,300円	約350,000円 (手当を含む)	350,000円	350,000円 (住宅手当のみ 残手当月30時間分含む)	
	賞与	468,000円 (1年目)	400,000円	年間 約80,000円	無	夏季: 50,000円 冬季: 150,000円	無	
	超過勤務手当 (平日)	有		実働による	有	指導医、上級医の指示があれば3,500円/回	1ヶ月につき30時間の時間外勤務手当額をみなし時間外勤務年俸として支給する。ただし時間外勤務手当が当該手当額を超えた場合は差額を時間外勤務手当として支給する。	
	休日勤務手当	有		実働による	有	指導医、上級医の指示があれば3,500円/回	月1回程度 一律7時間の労働とみなして、7時間×時間単価 (時間外加工賃を含む) の日当を支給する。ただし労働時間が7時間を超えた場合は差額を時間外勤務手当として支給する。さらに、固定手当5,000円を加算する。約23,500円/回	
	宿直月回数	有 2回程度 1回20,000円		月4回~5回程度 平日宿直・休日宿直・休日宿直で金額異なる 時間外勤務手当として支給	月3、4回程度	平均4回 平日: 10,000円/回 休日宿直: 15,000円/回 休日宿直: 17,000円/回	月3回~4回 一律7時間の労働とみなして時間×時間単価 (時間外加工賃を含む) の宿直手当を支給する。ただし労働時間が7時間を超えた場合は差額を時間外勤務手当として支給する。約23,500円/回	
	通勤手当額	55,000円	基本は職員宿舎利用	最高55,000円まで	最高55,000円/月まで (規程による)	最短経路の定期旅費の実額支給 半径15km圏内からの通勤については支給しない	最高50,000円まで	
	マイカー通勤可否 院内駐車月額	可 510円/月	基本は職員宿舎利用	不可	可 3,000円/月 ※台数に限りあるため、駐車場費を保障できるものではない。中央区、灘区在住者は員与不可	不可	不可	
	扶養手当額	無	無	無	13,500円	無	無	
	住居手当額	無	基本は職員宿舎利用	50,000円 ただし、支給要件有	28,000円	無	無	
	単身用自室設備負担	有 1Kタイプ・20㎡ 3,700~4,400円	有 1K 10,000円	無	有 1K 8,640円~13,680円 ※金額が変更になる可能性有	有 1K 30,000円	無	
	世帯用自室設備負担	有 3LDKタイプ・64㎡ 13,000~20,300円	無	無	有 3K 45,752円 ※金額が変更になる可能性有	無	無	
	宿舎と病院の距離	徒歩2分 (病院敷地内)	徒歩2分 (病院敷地内)	徒歩6分程度	2km以内	徒歩通勤圏内	—	
	賃貸住宅斡旋	無	無	無	無	有	有	
	有給休暇	有	年20日間	年次有給休暇20日、リフレッシュ休暇5日、結婚忌服休暇等	採用時に6日、採用から6ヶ月経過後に6日付与	6ヶ月後に10日付与	10日	
	学会等参加補助	有	有 (年2回 但し演者は別)	有	無	有	有 (本人発表の場合のみ)	
年金・健保雇用保険	有	有	有	有	有	有		
職員健診	有	有	年1回の他深夜夜従事者健診等必要に応じて実施	年1回	年2回	年2回		
机の貸与	有	有	有	有	有	有		
ロッカー貸与	有	有	有	有	有	有		
職員食堂	有	有	無 (イートインコーナー有)	有	有	有		
独立した救急部門における研修 (12週)の有無	有	有	無	有	有	有		
研修内容	内科 (24週)・救急 (12週) 及び推奨する必修分野の	内科	①17名 ②119床 ③2,390人 ④145.7人	①14名 ②127床 ③3,116人 ④219.0人	①15名 ②153床 ③4,495人 ④337.7人	①20名 ②156床 ③3,622人 ④186.4人	①10名 ②178床 ③2,320人 ④170.4人	①13名 ②235床 ③5,912人 ④341.4人
		救急	⑤4,586件 ⑥2,149件	①1名 ②6床 ③1,372人 ④12.7人 ⑤4,695件 ⑥2,766件	①1名 ③4,373人 ④38.3人 ⑤14,027人 ⑥4,416人	希望により当院にて12週研修か、当院にて8週、和歌山労災病院にて4週研修のいずれかを選択 ①2名 ⑤5,051件 ⑥2,466件	①5名 ②4床 ③185人 ④13.9人 ⑤5,099件 ⑥3,443件	①3名 ④5.9人 ⑤13,107件 ⑥7,098件
	外科	①5名 ②37床 ③681人 ④49.5人	①8名 ②109床 ③1,749人 ④155.29人	①6名 ②43床 ③1,216人 ④46.9人	①3名 ②28床 ③404人 ④16.8人	①4名 ②47床 ③375人 ④18.9人	①5名 ②65床 ③1,208人 ④47.8人	
		産婦人科		神戸アドベントスト病院で研修				
	小児科		①2名 ②4床 ③91人 ④10.8人				①3名 ②23床 ③57.3人 ④25.4人	
		精神科	明石土山病院で研修	有馬病院で研修				
	A.一般外来研修の実施可否 B.ブロック研修と並行研修の別 C.「一般外来研修」を実施する診療科名 D.「一般外来研修」の実施期間	A.実施可能 B.並行研修 C.内科、外科 D.15日	A.実施可能 B.並行研修 C.内科等 (院内) D.4日程度	A.実施可能 B.並行研修 C.内科・外科 D.0.5日×28コマ目標	A.実施可能 B.並行研修 C.内科・外科 (院内) D.20日 (4週間)	A.実施可能 B.並行研修 C.内科 (院内) D.週1日 (6か月間)	実施不可	
	研修病院以外での医療機関 (関連病院等)	医療法人正仁会明石土山病院 (精神科)	医療法人海慈仁会有馬病院 (精神科) 神戸アドベントスト病院 (産科)		和歌山労災病院 (救急)			
	推奨する必修分野もしくは選択科目の分野・科目及び備考	1年目 内科: 28週 救急: 12週 外科: 8週 精神科: 1ヶ月間	内科24週、 救急8週、 必修科目+選択科目 16週	・内科8ヶ月、外科1ヶ月、救急2か月 (時間内救急1ヶ月、麻酔科1ヶ月)、残る1ヶ月は自由選択。 ・日当直が、月4~5回あり。	1年間の研修の内訳は以下のとおり。 内科: 24週 救急: 12週 外科: 8週 麻酔科 (必修): 4週 一般外来研修 (内科・外科研修の並行研修): 4週間	1年間の研修の内訳は以下のとおり。 内科: 24週間 救急: 12週間 外科: 12週間	1年間の研修の内訳は以下のとおり。 内科: 24週 救急: 12週 外科: 4週 産婦人科: 4週 小児科: 4週 内科は臓器別研修 (糖尿病・内分泌・総合内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍・血液内科、腎臓内科、呼吸器内科、脳神経内科)	

病院名	P68. 神戸徳洲会病院	P69. 神戸百年記念病院	P70. 神戸赤十字病院	P71. 新須磨病院	P72. 済生会兵庫県病院	P73. 三菱神戸病院	
病院基本情報	研修医受入可能数	2	2	2	1	2	
	病床数	309	199	310	147	268	
	常勤医師数	32	46	97	37	63	
	H P ア ド レ ス	https://www.kobetokushukai.org	https://www.kobe-century-mh.or.jp/	https://www.kobejrc.jp/	https://www.jikeikai-group.or.jp/shinsuma/	https://saiseikai.info/	https://www.mhi.com.jp/company/hospital/kobe/
照会対応者	研修医担当 赤松 信彰	総務課 (医局事務) 大見	総務課 大島	事務管理部長 植田光利	総務課 白石	事務長 橋本 宏之 事務課 (対応者) 小西 智子	
	TEL: 078-707-1110 FAX: 078-707-7719 kenshu-dr@kobetokushukai.org	TEL: 078-681-6111 FAX: 078-681-8903 ohmi@kobe-century-mh.or.jp	TEL: 078-231-6006 FAX: 078-241-7053 soumu@kobe.jrc.or.jp	TEL: 078-735-0066 FAX: 078-735-1177 ssomu@jikeikai-group.or.jp	TEL: 078-987-2222 FAX: 078-987-2221 saiseikai-hyogo-rinshou@saiseikai.info	TEL: 078-671-7705 FAX: 078-672-2352 GUM0-hp-saiyo@mhi.com	
	〒655-0017 神戸市垂水区上高丸1丁目3番10号	〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1丁目9番1号	〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-3-1	〒654-0048 神戸市須磨区衣掛町3丁目1番14号	〒651-1302 神戸市北区藤原台中町5-1-1	〒652-0863 神戸市兵庫区和田宮通6丁目1-34	
	JR・山陽垂水駅より山陽バス2・3・48・171系統に乗車、バス停『千代ヶ丘』下車すぐ	神戸市営地下鉄海岸線御崎公園駅より徒歩7分 JR兵庫駅より無料送迎バスあり	阪神春日野道駅東改札口から南へ徒歩7分 阪急春日野道駅から南へ徒歩15分 JR灘駅南口から南西へ徒歩20分	JR須磨海浜公園駅より徒歩5分 岡場駅より徒歩15分	神戸電鉄有馬・三田線 岡場駅より徒歩15分	神戸市営地下鉄 和田岬駅 徒歩約3分	
如 遇	月基本給	340,000円	300,000円	316,000円	400,000円	401,510円	
	賞与	有	無	年200,000円	無	1,326,644円	
	超過勤務手当(平日)	有	有	有	無	有	
	休日勤務手当	無	有	有	無	有	
	宿直月回数	25,000円/回	月3~4回 1回10,000円	無 (ただし、準夜勤務が月4回程度有、準夜勤務17:00~1:30、時間外1:30~8:30)	4回程度、15,000円/回	月2~3回 (40,000円/回)	2回程度 28,000円/回
	通勤手当	有 当院規程による	定期券代実費 車通勤は上限20,000円/月	有 (上限月55,000円)	30,000円	最高50,000円	実費支給
	マイカー通勤可否	可 月額5,000円	可 10,000円	可 (ただし、院内駐車は不可、自身で近隣の駐車場を契約する。)	可 職員駐車場無料	可 無料	可 無料
	扶養手当	配偶者16,000円 第2子まで5,000円 その他扶養親族2,000円	無	有	無	6,500円	無
	住居手当	規程により50,000円を上限として支給	無	有 (上限月28,500円)	無	13,000円 (賃貸のみ)	無
	単身宿舎	無	有 1K 16,750円	有 1R 38,000円 (火災保険500円別)	無	有 1K 30,000円	無
	世帯宿舎	無	無	無	無	無	無
	宿舎と病院の距離	専用の宿舎無し、病院近くにマンションを借りることが可能	500m	2km以内	無	1km程度	-
	賃貸住宅斡旋	有	無	無	無	有	無
	有給休暇	半年で10日	入職後1ヶ月で3日、3ヶ月経過で7日付与	13日 (夏休み3日を含む)	入職時3日/6ヶ月経過後7日	有 (10日)	22日
	学会等参加補助	有	有 年1回	有 (参加回数等上限有)	有	有	有
	年金・健保雇用保険	有	有	有	有	有	有
	職員健診	年2回	年1回	年2回	有 (年1回)	年2回	年2回
	機の貸与	有	有	有	有	個人貸与	個人貸与
	ロッカー貸与	有	有	有	有	有	有
職員食堂	有	有	有	有 (11:30~14:00)	有	有 (11:30~13:30)	
独立した救急部門における研修(12週)の有無	有	有	有	無	有	無	
研 修 内 容	内科	①9名 ②117床 (内外混合病棟) ③1,198人 ④60.6人	①7名 ②病院全体199床 ③2,534人 ④140.8人	①12名 ③4,105人 ④245.7人	①1名 ②-床 ③583人 ④127.3人	①8人 ②混合病床 ③2,254人 ④160.0人	①5名 ②76床 ③1,182人 ④148.2人
	救急	①1名 ②8床 ③647人 ④15.2人 ⑤5,381件 ⑥3,195件	①3名 (救急専門医2名) ②病院全体199床 ⑤8,642件 ⑥3,731件	①2名 ④27.1人 ⑤8,984件 ⑥3,607件	①-名 ②14床 (SCU:6床、重症患者:8床) ⑤2,232件 ⑥1,406件	⑤6,220人 ⑥2,283件	①1名 ※患者数等は他科に含む ⑤903件 ⑥370件
	外科	①3名 ②117床 (内外混合病棟) ③1,851人 ④24.5人	①3名 ②病院全体199床 ③515人 ④20.2人	①14名 ③2,806人 ④151.0人	①1名 ②-床 ③455人 ④66人	①5人 ②混合病床 ③607人 ④35.2人	①1名 ②35床 ③248人 ④10人
	産婦人科						
	小児科						
	精神科						
	A.一般外来研修の実施可否 B.ブロック研修と並行研修の別 C.「一般外来研修」を実施する診療科名 D.「一般外来研修」の実施期間	B	B.並行研修	A.可能 B.ブロック研修 C.総合内科外来 D.4週	A.実施可能 B.ブロック研修 C.内科 (院内) D.20日 (4週間)	A.実施可能 (「A.実施不可」の場合は以下不要) B.並行研修 C.内科 (院内) D.20日 (4週間)	A.実施可 B.並行研修として実施 C.内科 D.4W
	研修病院以外での医療機関(関連病院等)						
	推奨する必修分野もしくは選択科目の分野・科目及び備考	1年間の研修の内訳は以下のとおり。 内科: 24週 救急: 12週 外科: 12週	1年間の研修について 初期臨床研修中は年間を通じ、総合診療科に所属し、内科系症例を主治医として経験する。 希望に応じ、各専門内科の症例経験を並行して調整する。 内科: 24週 (総合診療科、各専門内科) 救急: 12週 外科: 4週 選択科目: 4週 (麻酔科) 一般外来研修: 4週 (総合診療科、内科並行研修)	内科24週、救急12週 (内4週は麻酔科研修) 麻酔科4週、外科4週、一般外来4週	【内科】消化器・肝臓・糖尿病・血液・免疫・リウマチ・膠原病 【外科】消化器外科全般・血管外科・乳癌・大腸、肛門 【婦人科】子宮筋腫・骨粗鬆症 【脳神経外科】脳卒中・ガンマナイフ・外傷・脳動脈瘤・脊髄脊髄疾患 【整形外科】関節鏡手術・骨折・人工関節 【形成外科】創傷治療・皮膚移植・皮膚皮下手術・眼瞼下垂 【耳鼻咽喉科】耳鳴り・外リンパ腫・睡眠時無呼吸 【形成外科】創傷治療・皮膚移植・皮膚皮下手術・眼瞼下垂 ※ 選択必修科目等は、外科、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、形成外科から、3ヶ月、2ヶ月、1.5ヶ月、1ヶ月の組み合わせで選択可能。 ※ 整形外科・形成外科・脳神経外科にて救急分野の研修を計画	1年間の研修の内訳は以下のとおり。 内科: 24週 救急 (麻酔科4週合): 12週 外科 (呼吸器外科4週合): 8週 選択科目: 4週 (※) 一般外来研修 (内科研修の並行研修): 4週間 ※ 選択科目は、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、外科、呼吸器外科、小児科、産婦人科、麻酔科、救急、放射線科から選択可能。	①内科6ヶ月 (総合、循環器、消化器、腎臓、心療内科等) ②救急3ヶ月 ③外科3ヶ月 (消化器) ④外来研修は内科で並行研修として行う

病院名	P74. 神戸朝日病院	P75. 関西労災病院	P76. 川西市立総合医療センター	P77. 三田市民病院	P78. 加古川中央市民病院	P79. 明石市立市民病院	
研修医 受入可能数	1	1	1	1	5 (小児科医育成・産婦人科医育成コース含む)	3	
病床数	134	642	405	300	600	329	
常勤医師数	9	213	94	75	255	60	
HPアドレス	https://www.kobe-asahi-hp.com	https://www.kansaihi.johas.go.jp	https://www.kawanishi-hospital.jp/	https://www.hospital.sanda.hyogo.jp/	http://www.kakohp.jp	https://www.akashi-shiminhosp.jp/	
照会対応者	事務局長 天野 弘明	総務課 庶務係 尾崎	臨床研修センター 日下	総務課 総務係 谷田	臨床研修支援センター 古門	経営管理本部 人事課 山本	
電話	TEL: 078-612-5151 FAX: 078-612-5152 contact@kobe-asahi-hp.com	TEL: 06-6416-1221 FAX: 06-6419-1870 shomu-ka@kansaihi.johas.go.jp	TEL: 0570-01-8199 (6066) FAX: 072-789-8196 rinsyokensyu@kyowakai.com	TEL: 079-565-8000 FAX: 079-565-8011 soumu@hospital.sanda.hyogo.jp	TEL: 079-451-5500 FAX: 079-451-5548 w.recruit@kakohp.jp	TEL: 078-912-2323 FAX: 078-914-8374 jinji@akashi-shiminhosp.jp	
所在地	〒653-0801 神戸市長田区房王寺町3丁目5番25号	〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘3丁目1番69号	〒666-0017 兵庫県川西市火打1丁目4番1号	〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1	〒675-8611 加古川市加古川町本町439番地	〒672-8002 明石市鷹匠町1番33号	
最寄り駅からの交通手段	神戸電鉄長田駅 徒歩約5分 神戸駅 神戸バス 3・6・11・40・110・112系統 房王寺町5丁目下車徒歩5分	JR立花駅より駅南側(スロータリー)阪神バス「JR立花」バス停→(1.7km約8分)→「労災病院」バス停下車 阪急武庫之荘より駅南側(スロータリー)阪神バス「阪急武庫之荘」バス停→(2.4km約12分)→「労災病院」バス停下車	阪急宝塚線川西能勢口駅より徒歩12分 能勢電鉄絹延橋駅より徒歩7分	JR新三田駅/神戸電鉄南ウッディタウン駅 駅から徒歩約10分 神姫バス、三田市民病院バス停 下車すぐ	JR加古川駅より南西へ約950m 徒歩約12分 JR加古川駅より無料シャトルバスを運行(平日)	JR明石駅・山陽電鉄明石駅から徒歩約15分 JR明石駅・山陽電鉄明石駅から神姫バス・タクシーで約5分	
月基本給	320,000円	330,000円	407,200円	287,210円	306,000円	380,000円	
賞与	有: 2.5ヶ月(前年度実績)	無	無(月基本給に含まれる)	約100万円	有	200,000円/年	
超過勤務手当(平日)	有	有	有	有	有	有	
休日勤務手当	有	有	無	日直手当有	有	有	
宿直月回数	4回程度 20,000円/回	有	月4回まで 1年次: 17,500円、2年次: 22,500円	3回以上 21,500円/回	有(4回) 10,000円/回	4回/月 時間外手当で対応	
通勤手当	有	規程による	非課税限度額	55,000円	月額 55,000円(公共交通機関) 24,500円(車)	55,000円	
マイカー通勤可否 院内駐車料の月額	可 20,000円/月	可(ただし、現在職員駐車場に空きなし)	可 7,500円前後/月	可 3,000円	可 月3,000円(条件あり)	可 3,000円/月	
扶養手当額	10,000円	無	無	10,000円	無	無	
住居手当	35,000円	無	無	31,000円	月額35,000円 (半径2kmに居住する場合)	27,000円	
単身宿舎負担	有 1K 30,000円 住宅手当含む	有 1K 31,046円より	有 ワンルーム 20,000円/月	1DK、キッチン、バス、トイレ付 駐車場付27,600円	無	有 1K 20,000円	
世帯負担	無	複数あり (宿舎により料金が異なる。 約15,000円~35,000円)	無	無	無	無	
宿舎と病院の距離	3km以内	1km以内	2km以内	徒歩約1分	無	徒歩1分(病院敷地内)	
賃貸住宅斡旋	無	無	応相談	無	無	無	
有給休暇	採用時に2日、採用から6ヶ月経過後に8日付与	採用日に6日付与、6ヶ月経過後に6日付与	採用から3か月後に11日付与	20日	10日	10日	
学会等参加補助	有	有	有	有	有	有(派遣地域により回数制限有)	
年金・健保雇用保険	有	有	有	有	有	有	
職員健診	年1回	年1回	年1回	年2回	年2回	年1回	
車の貸与	有	有	有	共用貸与	個人貸与	有	
ロッカー貸与	有	有	有	有	有	有	
職員食堂	無: 弁当注文可	有	有	有	有	有	
独立した救急部門における研修(12週)の有無		有(8週)	有	無	有	無	
研修内容	内科	①2名 ②130床 ③1,410人 ④92.8人	①9名 ②223床 ③6,531人 ④473.8人	①7名 ②120床 ③4,927人 ④211人	①4名 ②94床 ③31,487人 ④220.9人	①33名 ②219床 ③延84,746人 ④587.3人	①7名 ②91床 ③1,831人 ④153.8人
	救急	①0名 ②4床 ③402件 ④250件	①2名 ②30床 ③1,458人 ④9.3人 ⑤2,201件 ⑥2,056件	①3名 ②6床 ③0人 ④27人 ⑤11,769件 ⑥7,170件	①2名 ②7床 ③4,655件 ④3,271件	①2名 ②7床 ③延2,330人 ④8.5人 ⑤15,259件 ⑥8,297件	①1名 ②8床 ③75人 ④1.5人 ⑤5,753件 ⑥3,595件
	外科	①0名 ②4床 ③108人 ④9.3人	①8名 ②89床 ③1,668人 ④125.8人	①8名 ②42床 ③979人 ④49人	①2名 ②28床 ③40,031人 ④354.9人	①6名 ②50床 ③延21,399人 ④83.4人	①4名 ②60床 ③1,406人 ④92.5人
	産婦人科					①3名 ②44床 ③延12,693人 ④62.1人	
	小児科			①5名 ②25床 ③598人 ④46人		①7名 ②小児科43床 GCU15床 NICU26床 ③延22,469人 ④118.2人	①1名 ②20床 ③450人 ④15.9人
	精神科						
A. 一般外来研修の実施可否 B. ブロック研修と並行研修の別 C. 「一般外来研修」を実施する診療科名 D. 「一般外来研修」の実施期間	A. 実施可能 B. 並行研修 C. 内科(院内) D. 4週間	A. 実施不可	A. 実施可能 B. 並行研修 C. 内科・外科(院内) D. 16~20日	時期は要調整で基本は実施不可	A. 実施可能 B. 並行研修 C. 総合内科、小児科 D. 5日間	A. 可能 B. 並行研修 C. 内科、外科、小児科(院内) D. 4週	
研修病院以外での医療機関(関連病院等)							
推奨する必修分野もしくは選択科目の分野・科目及び備考	病棟は混合病棟のため、内科、外科等の区分なし 内科6ヶ月、救急3ヶ月、消化器外科3ヶ月 救急部門、一般外来は院内にて内科、外科と並行研修	内科24週(消化器内科8週、循環器内科8週、内科・神経内科8週)、救急科8週、外科8週、麻酔科8週 ※原則、初期臨床研修医(単身者)は単身用宿舎に入居していただきます。	1年目のスケジュール 内科: 24週 外科: 8週 救急部門: 8週 選択科目: 12週 一般外来研修(内科・外科研修の並行研修): 16~20日 選択科目は救急科、麻酔科、小児科の中から選択	内科32週、救急12週(併行含む)、外科8週、麻酔科8週(うち4週は救急研修に充当)	1年目 内科: 24週間 救急: 12週間 外科系: 8週間 小児科または産婦人科: 4週間	1年間の研修の内訳は以下のとおり。 内科: 24週 救急: 8週(うち4週は、1年目における救急外来日当直の日数をもって4週相当分の研修期間とみなす) 小児科・外科・整形外科: いずれか2診療科を8週、1診療科を4週実施 一般外来研修(内科・外科・小児科の並行研修): 4週間	

病院名	P80. 県立加古川医療センター	P81. 明石医療センター	P82. 西脇市立西脇病院	P83. 市立加西病院	P84. 北播磨総合医療センター	P85. 姫路医療センター			
病院基本情報	研修医受入可能数	2	2	2	1	3			
	病床数	353	382	320	199	450			
	常勤医師数	117	132	68	33	190			
	H P ア ド レ ス	https://kenkako.jp/	https://www.amc1.jp/	https://www.city.nishiwaki.jp.hospital/index.html	https://www.city.kasai.hyogo.jp/	drshien@kitahari-mc.jp	https://himeji.hosp.go.jp/		
	照会対応者	総務部総務課 高見 新之介	事務部管理科 中野	病院総務課 足立	事務局 総務課 牧野	管理部経営管理課 常深	事務部管理課 森		
電 話	TEL : 079-497-7000 FAX : 079-438-8800	TEL : 078-936-1101 FAX : 078-936-7456	TEL : 0795-22-0111 FAX : 0795-23-0699	TEL : 0790-42-2200 FAX : 0790-42-3460	TEL : 0794-88-8800 FAX : 0790-62-9931	TEL : 079-225-3211 FAX : 079-223-8310			
メ ー ル	Shinnosuke_Takami@pref.hyogo.lg.jp	nakano.chisato@ajinkai-group.com	kanrijji@hospital.nishiwaki.lg.jp	byoinjimukyoku2393@hospital.kasai.hyogo.jp	drshien@kitahari-mc.jp	413-sy@mail.hosp.go.jp			
所在地	〒675-8555 加古川市神野町神野203	〒674-0063 明石市大久保町八木743-33	〒677-0043 西脇市下戸田652-1	〒675-2393 加西市北条町横尾1-13	〒675-1392 小野市市場町926-250	〒670-8520 姫路市本町68番地			
最寄り駅からの交通手段	JR加古川駅より神姫バスに乗り20分県立加古川医療センター前下車	JR神戸線大久保駅より徒歩15分山陽電車中八木駅から徒歩8分	JR加古川線 西脇市駅からタクシーで約7分	北条鉄道北条町駅よりバスで7分または徒歩15分。中国/ハイウェイバス「北条」下車後、徒歩20分または市内循環バス10分	神戸電鉄山崎駅、JR市場駅よりシャトルバス	JR姫路駅または山陽姫路駅より神姫バスで10分 JR姫路駅または山陽姫路駅より徒歩20分			
処遇	月基本給	270,900円(別途手当有り)	250,000円	415,662円 (地域手当・医師手当を含む)	317,200円	428,100円 (医師手当等含む)	375,000円		
	賞与	有	565,000円	有	有	842,692円	有		
	超過勤務手当(平日)	有	有	有	有	有	有		
	休日勤務手当	無	有	有	特殊勤務手当に含まれる	有	有		
	宿直月回数	4回/月程度	4回程度/月	月3~4回程度	有	日直12,500円/回、 宿直7,500円/回、月2~3回程度	1年目6月より月4回 手当5,000円/回		
	通勤手当	21,000円/回	手当有	手当:有	有 月4回程度	有	有		
	上限	55,000円	50,000円まで	最高31,600円まで	上限31,600円	最高55,000円まで	最高55,000円まで		
	マイカー通勤可	可	不可	可	可	可	可		
	院内駐車料	駐車場無料	不可	無料	無料	無料	9,000円/月		
	扶養手当	無	家族手当 (基礎手当5千円/配偶者8千円/子一人4千円)	無	有 6,500円	無	無		
	住居手当	無	20,000円(社宅利用の場合)	無	有 28,000円	27,000円	無		
	単身寮	民間借上 2DK程度(40㎡) 30,000円程度	有 1R~1LDK 20,000円	有 1K 15,000円	民間アパート借り上げ 1K~1LDK (24,000円~31,000円)	有 1K 27,000円(光熱水費込)	有 1K 19,500円		
	世帯借上	民間借上 3DK程度(80㎡) 80,000円程度	無	無	民間アパート借り上げ 2LDK~4LDK (30,000円~50,000円)	民間借上 24,000円と光熱水費負担	無		
	宿舎と病院の距離	加古川市、稲美町内	徒歩10分以内	近接	2km以内	病院敷地内	敷地内		
	賃貸住宅斡旋	有(業者紹介)	有	有	有	有(契約等は病院代行)	無		
有給休暇	10日	採用時に2日、7月に10日付与	有	20日	20日	年間23日付与 (リフレッシュ休暇3日含む)			
学会等参加補助	有	有	有	有	有	有			
年金・健保雇用保険	有	有	有	有	有	有			
職員健診	年1回	年1回	年2回	年2回	年2回	年2回			
机の貸与	有	有	有	個人貸与	個別貸与	有			
ロッカー貸与	有	有	有	有	有	有			
職員食堂	有	有	有	無	有	有			
独立した救急部門における研修(12週)の有無	有	無	無	無	有	有			
研修内容	内科(24週)・救急(12週)及び推奨する必修分野の①指導医数 ②病床数 ③年間入院患者数 ④1日平均外来患者数 ⑤年間救急医療件数 ⑥年間救急車取扱件数 *指導医数は厚生労働省指定の研修会修了資格を有する医師数	内科	①12名 ②103床 ③2,417人 ④306.7人	①13名 ②207床 ③7,113人 ④368.3人	①11名 ②86床 ③3,428人 ④170.5人	①6名 ②70床 ③1,470人 ④140.7人	①15名 ②151床 ③5,794人 ④55.11人	①11名 ②192床 ③5,424人 ④216.9人	
		救急	①12名 ②30床 ③587人 ④2.0人 ⑤7,421件 ⑥2,885件(ドクターヘリ・ドクターカーの受入含む)	①1名 ②207床 ③9,897件 ④5,893件	①1名 ②207床 ③9,897件 ④5,893件	①各科指導医による研修 ②2床 ④19.8人 ⑤7,209件 ⑥3,687件	①0名 ②6床 ⑤5,798件 ⑥1,382件	①1名 ②3床 ④40.4人 ⑤8,532人 ⑥3,994件	①2名 ②12床 ③405人 ④1.1人 ⑤6,934件 ⑥3,187件
		外科	①5名 ②21床 ③700人 ④60.2人	①4名 ②115床 ③1,643人 ④74.1人	①9名 ②129床 ③1,594人 ④97.0人	①1名 ②44床 ③676人 ④16.7人	①12名 ②133床 ③4,636人 ④39.2人	①10名 ②140床 ③2,275人 ④176.1人	
		産婦人科		①4名 ②25床 ③1,914人 ④112.1人	①2名 ②17床 ③244人 ④27.0人				
		小児科		①3名 ②混合病棟の為特定数無 ③1,543人 ④39.8人	①1名 ②13床 ③142人 ④8.6人		①3名 ②13床 ③882人 ④23.9人		
	精神科								
	A.一般外来研修の実施可否 B.ブロック研修と並行研修の別 C.「一般外来研修」を実施する診療科名 D.「一般外来研修」の実施期間	A.実施可 B.ブロック研修 C.内科 D.28日	A.実施可能 B.並行研修 C.総合内科、小児科、外科(院内) D.総合内科(12日) 小児科(4日)、外科(4日)	A.実施可能 B.並行研修 C.内科(院内) D.20日(4週間)	実施不可	A.実施可能 B.並行研修 C.総合内科、外科、小児科 D.1週間程度	A.実施可能 B.並行研修 C.内科(院内) D.20日(4週間)		
	研修病院以外での医療機関(関連病院等)								
	推奨する必修分野もしくは選択科目の分野・科目及び備考	1年間の研修内訳は以下のとおり。 内科:24週 救急:12週 麻酔科:8週 外科:4週	総合内科:12週 内科選択:12週 麻酔科:8週 救急科:4週 外科:4週 選択科目:12週 内科選択:呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病、内分泌内科、腎臓内科、から選択可能。 選択科目:心臓血管外科、整形外科、小児科、産婦人科から選択可能。	内科24週、救急12週、必修分野若しくは選択科目12週		内科24週、救急8週、外科6週、 外科系4週、選択6週 ・救急医療については、8週 の救急研修と平日夜間、休日の 副直を行うことで、全体と して24週の救急研修とする。 ・内科は循環器内科、消化器内 科、脳神経内科、腎臓内科、 リウマチ・膠原病内科、消化器内 科・老年内科、糖尿病・内 分泌内科合同、呼吸器内科、 血液・腫瘍内科から8診療科 を選択する。(6週×4) ・外科は外科、消化器外科、乳 腺外科または心臓血管外科の いずれかを選択、外科系診療 科の中から選択	1年目の研修内訳は以下のとおり。 内科(一般外来4週を含む): 24週 救急:12週 外科:4週 選択科目:8週		

病 院 名	P86. 姫路聖マリア病院	P87. 赤穂市民病院	P88. 兵庫県立はりま姫路総合医療センター	P89. 公立宍粟総合病院	P90. 豊岡病院	P91. 公立八鹿病院	
病 院 基 本 情 報	研修医 受入可能数	1	1	7 (たすきがけ7名または たすきがけ6名+産婦人科医育成コース1名)	1	1	
	病 床 数	440	360	736	199 (稼働病床数178)	528	380
	常 勤 医 師 数	58	56	286	30	157	40
	H P ア ド レ ス	https://www.himemaria.or.jp/maria/	http://www.amh.ako.hyogo.jp/	https://hgm.chyogo.jp/	https://www.city.shiso.lg.jp/shiso_hp/	https://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/	http://www.hosp.yoka.hyogo.jp/
	照 会 対 応 者	臨床研修センター事務局 古和 真紀	総務課 宮本	総務部診療サポート課 臨床研修担当	総務課 谷本	教育・診療支援部教育研修課 京	事務部総務課 船田
	電 話	TEL : 079-265-5111	TEL:0791-43-3222 (内線2722)	TEL : 079-289-5080	TEL : 0790-62-2410	TEL : 0796-22-6111	TEL : 079-662-5555
	F A X	FAX : 079-265-5001	FAX:0791-43-0351	FAX : 079-289-2080	FAX : 0790-62-0676	FAX : 0796-22-0170	FAX : 079-662-3134
	E - M a i l	sotsugo@hmemaria.or.jp	hp_soumu@city.ako.lg.jp	rinken_harihime@hgm.chyogo.jp	k_tanimoto@shiso-hp.jp	kenyu@toyooka@toyookahp-kumiai.or.jp	kensyu@hosp.yoka.hyogo.jp
	所 在 地	〒670-0801 姫路市仁豊野650	〒678-0232 兵庫県赤穂市中広1090番地	〒670-8560 兵庫県姫路市神屋町3丁目264番地	〒671-2576 宍粟市山崎町鹿沢93番地	〒668-8501 兵庫県豊岡市戸牧1094	〒667-8555 養父市八鹿町八鹿1878番地1
	最 寄 り 駅 からの 交 通 手 段	①JR播但線 仁豊野駅から徒歩10分 ②姫路駅より神姫バス マリア病院停留所0分または国道マリア病院停留所から徒歩2分	JR播州赤穂駅前 神姫バス6分 市民病院前下車徒歩約2分	JR姫路駅より徒歩約12分 JR東姫路駅より徒歩約9分 JR京口駅より徒歩約12分	神戸三宮バスターミナルから 高速バスで約90分 JR姫路駅から路線バスで約60分	豊岡駅より 全バスターミナルに乗り10分	JR八鹿駅より徒歩15分、タクシ-4分
処 遇	月 基 本 給	総支給額 388,460円 (基本給 286,770円)	約363,000円	約310,000円	288,100円 (その他手当あり)	360,412円 (地域手当含む)	400,000円
	賞 与	有 (医業実績による)	有	有	有	有	有
	超 過 勤 務 手 当 (平 日)	有	有	有	有	有	有
	休 日 勤 務 手 当	有	有	超過勤務手当として支給	有	有	有
	宿 直 月 回 数 当 手 当	月3~4回 当直：時間外手当+当直手当 日直：時間外手当	4 回程度 31,000/回 (時間外手当含む)	全科ローテーション中、救急副直として夜間・休日勤務月4~5回程度。超過勤務手当として支給	内科、外科ローテーションに月2~3回 宿日直手当あり	月3~4回程度 15,000円/回	副直月4回程度 12,500円/1回
	通 勤 手 当 額	上限50,000円 (当会規定等による)	無	最高55,000円	最高55,000円まで (市規程による)	最高55,000円まで (当院規程による)	31,600円
	マイカー通車可否	可※要申請 500円/月	否 (隣接の専用宿舎に駐車)	条件に該当する場合のみ可	可 院内駐車 無料	可 無料	可 無料
	扶 養 手 当 額	無	無	無	有 6,500円	有	無
	住 居 手 当 額	無	無	無	有 28,000円	最高28,000円まで (当院規程による)	無
	単 身 宿 舎 備 有 自 己 負 担	有 1DK 20,000円/月	1K (26.25㎡) 4,000円 ※原則：隣接の宿舎に入居すること	有 1K~ 約21,000円/月 (共益費込) ~	有 2DK~ 10,000円~	有 1K 6,300円	有 2LDK 20,000円
	世 帯 宿 舎 備 有 自 己 負 担	有 2LDK・3LDK 54,000円~69,000円/月	無	有 1LDK 約31,000円	有 2LDK~ 10,000円~	無	有 2LDK~ 20,000円~
	宿 舎 と 病 院 の 距 離	隣接	隣地	徒歩約5分	0.1km	200m以内	1km以内
	賃 貸 住 宅 幹 旋	無	無	無	無 (要相談)	敷地内研修医宿舎を幹旋	無
	有 給 休 暇	15日	採用時に10日	年次休暇10日、夏季休暇5日ほか	15日	20日	10日+夏季休暇5日
	学 会 等 参 加 補 助	有 (規程による)	有	有 (条件あり)	有	有	有
年 金 ・ 健 保 雇 用 保 険	有	有	有	有	有	有	
職 員 健 診	年2回	年2回	年1回	年1回	年2回	年1回	
機 器 の 貸 与	有(個人ごとPC・メールアドレス有)	共有貸与 (研修医専用控室)	有	有	有	有	
ロ ッ カ ー 貸 与	有	有	有	有	無	有	
職 員 食 堂	有	無 (ただし食事スペースとして開放11:00-15:00)	有	有	有	有	
独 立 し た 救 急 部 門 における研修 (12週)の有無	有	無	有	無	有	有	
研 修 内 容	内科 (24週)・救急 (12週) 及び推奨する必修分野の① 指導医数 ② 病床数 ③ 年間入院患者数 ④ 1日平均外来患者数 ⑤ 年間救急医療件数 ⑥ 年間救急車取扱件数 *指導医数は厚生労働省指定の研修会修了資格を有する医師数	①7名 ②110床 ③1,614人 ④199.0人 ①27名 (複数科) ②3床 ③5,437件 ④1,635件	①8名 ②4,112人 ③328.0人 ①1名 ②8,549件 ③1,789件	①26名 ②274床 ③7,576人 ④504.6人 ①6名 ②44床 ③989人 ④6.6人 ⑤9,961件 ⑥6,765件	①5名 ②混合178床 (産婦人科・小児科含む) ③1,543人 ④134.6人 ①内科・外科対応 ②混合178床 (産婦人科・小児科含む) ③857人※救急車搬送患者 ④37人※救急車搬送患者 ⑤4,999件※時間外の診療件数 ⑥1,347件	①12名 ②165床 ③2,914人 ④256人 ①7名 ②20床 ③1,539人 ④39人 ⑤13,383件 ⑥6,670件	①2名 ③1,834名 ④128.5人 ①3名 ②23.2人 ③9,320件 ④985件
	外科	①5名 ②42床 ③1,159人 ④71.8人	①2名 ②2,198人 ③144.0人	①17名 ②269床 ③5,299人 ④286.3人	①2名 ②混合178床 (産婦人科・小児科含む) ③467人 ④23.9人	①9名 ②60床 ③903人 ④66人	①1名 ③381人 ④21.5人
	産婦人科	①1名 ②25床 ③710人 ④66.6人		*産婦人科医育成コースのみ 研修可 ①2名 ②27床 ③916人 ④51.8人	①1名 ②40床 (小児科と混合) ③507人 ④48.8人	①2名 ②44床 ③1,229人 ④79人	
	小児科	①3名 ②25床 ③658人 ④43.0人				①2名 ②26床 ③480人 ④54人	
	精神科					①1名 ②51床 ③158人 ④63人	
	A. 一般外来研修の実施可否 B. ブロック研修と並行研修の別 C. 「一般外来研修」を実施する診療科名 D. 「一般外来研修」の実施期間	A. 実施可能 (研修状況による) B. 並行研修 C. 内科および小児科 (姫路聖マリア病院) D. 1~20日	A. 実施不可	A. 実施不可	A. 実施可能 B. 並行研修 C. 内科 (院内) D. 20日 (4週間)	A. 実施 B. 並行研修 C. 総合診療科 D. 4週当たり1週程度	A. 実施可能 B. 並行研修 C. 内科 D. 28日
	研修病院以外での医療機関 (関連病院等)						
	推奨する必修分野もしくは選択科目の分野・科目及び備考	内科16週、救急12週、病院必修 (麻酔科) 4週、小児科4週、外科4週、産婦人科4週、選択科目8週	1年目 内科 (内科・消化器内科・循環器内科) 26週 救急12週 外科・麻酔科14週	内科：28~32週 外科：4週 救急部門：8~12週 選択科目：4週 *産婦人科医育成コースは、産婦人科4週、選択科目0週 *救急部門は、12週の場合、救急科12週または救急科8週+麻酔科4週、8週の場合、救急科8週または救急科4週+麻酔科4週 *原則として、選択科目は、将来の専攻を検討している診療科を選択する	1年間の研修の内訳は以下のとおり。 内科：24週 外科：12週 (麻酔科含む) 救急：12週 一般外来研修 (内科研修の並行研修)：4週間	内科24週間、救急4週間、麻酔科8週間 (うち4週は救急研修とする) 消化器外科または呼吸器・心臓血管外科、小児科、産婦人科、精神科のうちいずれか3科を各4週間研修する。1年間を通して、月4回程度当直 (救急外来研修) を行い、4週間相当の救急研修と見做す。 必須科目が到達目標に達しない場合は、2年次に追加で履修を行う必要がある。	内科7ヶ月、救急3ヶ月、外科2ヶ月

病院名		P92.兵庫県立丹波医療センター	P93.兵庫県立淡路医療センター	P94.高槻病院	P95.市立岸和田市民病院	P96.大阪府済生会中津病院	P97.日本生命病院
病院基本情報	受入可能数	2 (たすぎがけ・産婦人科医療育成コース各1名)	1 (産婦人科医療育成コースのみ)	2	1	1	1
	病床数	320	441	477	400	570	350
	常勤医師数	6	142	205	111	193	135
	H P ア ド レ ス	https://tmc.hyogo.jp/	https://www.awajimc.jp/	https://takatsukiainikai.or.jp/index.html	https://www.kishiwada-hospital.com/	https://www.nakatsu.saiseikai.or.jp/	https://www.nissay-hp.or.jp/
	照会対応者	総務部総務課 山岡	総務部総務課 前川 百合	事務部 臨床研修センター	事務局経営管理課 大塚	人事課/臨床教育部 谷田	総務人事G 阪本 昂平
電 話	TEL: 0795-88-5200 FAX: 0795-88-5210 soumu@tmc.hyogo.jp	TEL: 0799-22-1200 FAX: 0799-24-5704 Awaji_hos@pref.hyogo.lg.jp	TEL: 072-681-3801 FAX: 072-682-3834 t.kensyu@ajk.takatsuki-hp.or.jp	TEL: 072-445-1000 FAX: 072-441-8812 kch@kishiwada-hospital.com	TEL: 06-6372-0640 FAX: 06-6372-2731 resident@nakatsu.saiseikai.or.jp	TEL: 06-6443-3446 FAX: 06-6443-3561 sakamoto.kohiei@k.nissay-hp.or.jp	
所 在 地	〒669-3495 丹波市水上町石生2002番地7	〒656-0021 洲本市塩屋1丁目1-137	〒569-1192 大阪府高槻市古首部町1-3-13	〒596-8501 大阪府岸和田市額原町1001	〒530-0012 大阪市北区芝田2-10-39	〒550-0006 大阪市西区江之子島2-1-54	
最寄り駅からの交通手段	JR石生駅から徒歩約20分 ・石生駅より丹波医療センターへのバス有り(約5分)	三宮バスターミナルより「洲本バスセンター」行きに乗車約90分「洲本バスセンター」前すぐ	JR東海道本線 高槻駅から徒歩5分、阪急京都線 高槻市駅から徒歩7分	JR阪和線下松駅から徒歩5分 南海本線岸和田駅から南海バス新市民病院前すぐ	JR大阪駅/大阪メトロ梅田駅より徒歩10分 阪急大阪梅田駅/大阪メトロ中津駅より徒歩5分 阪神大阪梅田駅より徒歩15分 大阪シティバス 済生病院前徒歩すぐ	中央線・千日前線「阿波座駅」下車 ②⑧⑩番出口より徒歩5分(エレベータは③⑤番出口) 市バス川口1丁目 バス停下車徒歩4分	
月 基 本 給	284,500円	284,500円	250,000円	286,000円(地域手当を含む)	270,000円	288,000円	
賞 与	有(期間に応じて)	有	500,000円(昨年度)	有	有(経営状況により変動あり)	無	
超過勤務手当(平日)	有	有	有	有	有	有	
休 日 勤 務 手 当	有	日直手当有	年末年始有	有	有	有	
宿 直 月 回 数 当	月3~4回 21,000円/回(実績に応じて支給)	月2~3回 宿直手当有	宿直有 3-4回/月 手当有	4回程度/月(超過勤務手当として支給するため曜日によって金額が異なる。1回あたり1年次:約17,300円~42,200円)	月3~4回 1回につき10,000円	4回程度 平日:9,000/回	
通 勤 手 当 限	最高55,000円	上限59,000円(県規定による)	無	18,000円	上限33,000円(規定に基づき支給)	月40,000円を超える部分について半額支給	
マイカー通勤可否	可	可	無	可	不可	不可	
院内駐車月額	無料	年額1,200円	無	8,000円	無	無	
扶養手当	無	無	有	支給対象外	無	無	
住居手当	無	無	20,000円(入寮者は除く)	支給対象外	無	無	
単身宿舎負担	有 1K 約25,000円	有 1K 月8,000~20,000円程度	有 20,000円	1K~1DK、バス・トイレ付、自己負担2万円(共益費・光熱水費別途必要)	有(数に限りあり) 1K 44,200円	無	
世帯負担	無	無	有 2LDK 法人社宅規定に準じる	無	無	無	
宿舎と病院の距離	2km以内	2km以内	徒歩10分以内	徒歩3分	1km以内	無	
賃貸住宅斡旋	無	無	無	無	無	無	
有給休暇	10日	10日	12日/年付与 (採用時に2日付与)	13日	採用より6ヶ月経過後に10日付与	16日 (採用時に10日、採用から6ヶ月経過後1ヶ月につき1日付与)	
学会等参加補助	有	有	有(年2回まで)	有(出張命令されたものに限る)	有(院内規程による)	有	
年金・健保雇用保険	有	有	有	有	有	有	
職員健診	有	年1回	年2回	年2回	年1回	年2回	
机の貸与	有	共同(28席)	有	個人貸与	有	個人貸与	
ロッカー貸与	有	有	有	有	有	有	
職員食堂	有	有	有	有	有	有	
独立した救急部門における研修(12週)の有無	有	有	有	有(ただし、1年次プログラムでは8週)	有	有	
研修内容	内科	①11名 ②110床 ③3,259人 ④171.6人	①9名 ②164床 ③3,973人 ④287.6人	①17名 ②165床 ③5,590人 ④354.0人	①14名 ②143床 ③4,350人 ④368.1人	①24名 ②308床 ③6,027人 ④479.3人	①18名 ②- ③4,038人 ④409.2人
		①5名 ②16床 ③13人 ④3.1人 ⑤5,878件 ⑥3,405件	①1名 ②0床 ③97人 ④12.0人 ⑤7,781件 ⑥3,876件	①救急3名+麻酔科3名 ②-床 ③-人 ④50.1人 ⑤18,340件 ⑥9,875件	①358名 ②0床 ③358人 ④34.0人 ⑤12,410件 ⑥5,111件	①1名 ②なし ③999人 ④22.3人 ⑤8,124件 ⑥5,849件	①2名 ②- ③961人 ④20.9人 ⑤3,659件(病院全体7,455件) ⑥2,333件(病院全体3,105件)
	外科	①5名 ②41床 ③783人 ④44.2人	①9名 ②57床 ③1,427人 ④101.6人		①3名 ②48床 ③973人 ④42.1人	①3名 ②39床 ③913人 ④31.8人	①5名 ②- ③786人 ④52.2人
		①5名 ②41床 ③783人 ④44.2人	①3名 ②23床 ③755人 ④63.1人				①3名 ②- ③2人 ④19.1人
	産婦人科	①5名 ②41床 ③783人 ④44.2人	①0名 ②22床 ③621人 ④24.9人				
	小児科	①5名 ②41床 ③783人 ④44.2人	①2名 ②45床 ③108人 ④41.9人				
	精神科						
	A. 一般外来研修の実施可否 B. ブロック研修と並行研修の別 C. 「一般外来研修」を実施する診療科名 D. 「一般外来研修」の実施期間	A. 実施可能 B. 並行研修 C. 内科 D. 15~20日	A. 実施可能 B. 並行研修 C. 内科(院内) D. 20日(4週間)	A. 実施可能 B. 並行研修 C. 内科(消化器、循環器、呼吸器、総合) D. 10日(0.5日×20回)	A. 実施可能 B. 並行研修 C. 1年次: 外科 D. 平日×5回 (ローテーション中週に一度実施)	A. 実施可能 B. ブロック研修(外科・小児科)・並行研修(総合診療科) C. 外科(院内)・小児科(院内)・総合診療科内科(院内) D. 12日程度(3週間)	A. 実施可能 B. 並行研修 C. 内科、外科 D. 4週間
	研修病院以外での医療機関(関連病院等)		1年次は院内での研修				
	推奨する必修分野もしくは選択科目の分野・科目及び備考	内科24週、救急8週、外科8週、小児科4週、産婦人科4週	1年次の研修の内訳は以下のとおり。 内科: 24週 産婦人科: 12週 小児科: 4週 精神科: 4週 2年次の研修の内訳は以下のとおり。 救急科: 12週 地域医療: 4週 自由選択科目: 32週	1年間、52週のローテーション研修を行う 内科: 36週(消化器内科・脳神経内科、呼吸器内科・腎臓内科、循環器内科・糖尿病内分泌内科、総合内科を8週単位で診療科を組み合わせ研修を行う、平行で外来研修は2週) 救急: 12週(救急8週、麻酔科8週) 【麻酔科4週】 ※1週目はオリエンテーション	1年間の研修内容下記のとおり。 【内科30週】循環器5週、消化器5週、呼吸器5週、代謝内分泌3週、血液3週、腫瘍3週、緩和ケア3週、リウマチ膠原病3週 【外科7週】外科5週、脳外2週 【救急8週】 【麻酔科4週】 ※1週目はオリエンテーション	1年間の研修の内訳は以下のとおり。 内科: 6ヶ月 救急: 3ヶ月 外科: 1ヶ月 選択科目: 2ヶ月(※) 一般外来研修(内科研修の並行研修): 約3週間 選択科目は、循環器・呼吸器・消化器・小児科・産婦人科・内科・小児科・小児より選択が可能。 ※その他診療科については応相談。	1年目 内科6ヶ月、救急: 3ヶ月(救急2ヶ月+麻酔1ヶ月)、外科2ヶ月、選択科目1ヶ月

病 院 名		P98. 医学研究所北野病院	P99. 大阪回生病院	P100. 淀川キリスト教病院	P101. 千船病院	P102. 大阪府済生会茨木病院	
病 院 基 本 情 報	研修医 受入可能数	2	2	1	2	1	
	病 床 数	635	300	581	308	315	
	常 勤 医 師 数	317	68	237	133	57	
	H P ア ド レ ス	https://www.kitano-hp.or.jp/	http://www.kaisei-hp.co.jp	http://www.ych.or.jp/	https://www.chibune-hsp.jp/	https://www.ibaraki.saiseikai.or.jp/	
	照 会 対 応 者	人事課 医師卒後教育センター 藤堂・村上	総務人事課 深浦 美紀子	総務課 山口、臨床研修センター 茂亥	診療部支援室 西村 祐美	人事課 高見	
所 在 地	電 話	TEL: 06-6131-2923 FAX: 06-6361-0588 sotsugo@kitano-hp.or.jp	TEL: 06-6393-6234 FAX: 06-6393-8592 ikyoku-hisho@kaisei-hp.co.jp	TEL: 06-6322-2250 FAX: 06-6320-6308 soumuka@ych.or.jp rinken@ych.or.jp	TEL: 06-6471-9541 FAX: 06-6474-0069 sennofune@ajinkai-group.com	TEL: 072-622-8651 FAX: 072-627-2022 skensyu@ibaraki.saiseikai.or.jp	
	F A X						
	最 寄 り 駅 からの 交 通 手 段	〒530-8480 大阪市北区扇町2-4-20 JR大阪駅：徒歩15分 阪急大阪梅田駅：徒歩15分 地下鉄梅田駅各線：徒歩15分 地下鉄谷町線中崎町駅：徒歩7分 地下鉄堺筋線扇町駅：徒歩5分 JR環状線天満駅：徒歩7分	〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目6-10 地下鉄御堂筋線「新大阪駅」1番出口より徒歩約3分 JR「新大阪駅」3階コンコースから北口出口より徒歩3分	〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番50号 阪急京都線「崇禅寺」駅より徒歩3分 阪急千里線「柴島」駅より徒歩3分	〒555-0034 大阪市西淀川区福町3丁目2番39号 阪神なんば線福駅より徒歩1分	〒567-0035 大阪府茨木市見付山2丁目1番45号 JR茨木駅より徒歩13分	
	月 基 本 給	269,950円 (*※直手当+超勤手当は別途支給)	300,000円	260,000円	250,000円	300,000円	
	賞 与	270,000円	無	434,000円	2.25ヶ月分	有	
如 遇	超 過 勤 務 手 当 (平 日)	有	有	実働分	有	法定通り有	
	休 日 勤 務 手 当	有	有	無	年末年始有	年末年始有	
	宿 直 月 回 数 当 手	月5~6回程度 手当は別途支給	3回程度 20,000円/回	当直：月2~3回 手当：8,000~11,000円/回を ベースに実働分を加算	宿直：なし 副直 (17時~22時)：有 2~3回/月 手当は超過勤務手当として支給	月4~5回 15,000円/回	
	通 勤 手 当 限 額	最高50,000円まで(規程による)	上限50,000円まで(規程による)	非課税限度額以下	手当なし(職員寮入寮のため)	最高100,000円 (公共交通機関の場合)	
	マイカー通勤可否 院内駐車月の月額	不可	不可	不可	不可	不可	
	扶 養 手 当 額	無	配偶者 5,000円	無	無	8,000円~	
	住 居 手 当 額	有(規程による)	無	無	無	無	
	単 身 宿 舎 備 付 手 当	無	無	有 1K 約30,230円	有 1K 35,000円	有 1K 39,000円~	
	世 帯 宿 舎 備 付 手 当	無	無	無	9	無	
	宿 舎 と 病 院 の 距 離	無	無	2km以内	100m	2km以内	
	賃 貸 住 宅 斡 旋	当院提携の不動産会社を通じて 割安で斡旋します	無	無	無	無	
	有 給 休 暇	10日	10日 (4月入職者6ヶ月経過後)	25日	採用時に2日、7月に10日付与	13日採用時より利用可	
	学 会 等 参 加 補 助	有(規程による)	有	有	有	有	
	年 金 ・ 健 保 雇 用 保 険	有	有	有	有	有	
	職 員 健 診	年2回	年1回	年1回	年2回	年2回	
机 の 貸 与	1人1席	共用貸与	有	個人机有(研修医室)	有		
口 ッ カ ー 貸 与	有(共同)	有	有	有	有		
職 員 食 堂	有	有	有	有	有		
研 修 内 容	独立した救急部門 における研修(12週)の有無	有	有	有/2年間で12週 (1年目に4週、2年目に8週)	有	無	
	内 科 (24週)・救 急 (12週) 及び推奨する必修分野の ① 指導医数 ② 病床数 ③ 年間入院患者数 ④ 1日平均外来患者数 ⑤ 年間救急医療件数 ⑥ 年間救急車取扱件数 *指導医数は厚生労働省 指定の研修会修了資格を 有する医師数	内 科	①17名 ②171床 ③7,078人 ④683.3人	①6名 ②約90床 ③31,617人 ④185.9人	①20名 ②265床 ③6,504人 ④489人	①13名 ②80床 ③2,419人 ④266.5人	①15名 ②132床(混合) ③3,357人 ④154.2人
		救 急	①2名 ②0床 ③101人 ④57.2人 ⑤28,168人 ⑥12,515人	①1名 ②11.1人 ③4,068件 ④2,974件	①3名 ②8床 ③5,703人 ④85.5人 ⑤31,315件 ⑥9,603件	①2名 ⑤12,132件 ⑥6,099件	①2名 ⑤8,297件 ⑥3,859件
		外 科	①28人 ②70床 ③5,680人 ④529.2人	①1名 ②約40床 ③7,925人 ④29.9人	①5名 ②50床 ③810人 ④32.0人	①3名 ②20床 ③617人 ④38.3人	①2名 ②33床(混合) ③635人 ④29.0人
		産 婦 人 科	①3人 ②62床 ③1,947人 ④106.2人		①2名 ②51床 ③1,873人 ④87.0人	①7名 ②70床 ③3,982人 ④192.5人	
		小 児 科	①7人 ②39床 ③3,324人 ④142.1人		①6名 ②64床 ③2,314人 ④74.2人	①8名 ②45床 ③2,551人 ④91.0人	①2名 ②48床(混合) ③501人 ④31.6人
	精 神 科						
	A.一般外来研修の実施可否 B.ブロック研修と並行研修の別 C.「一般外来研修」を実施する診療科名 D.「一般外来研修」の実施期間	A.実施可能 B.並行研修で実施 C.初期診療科 D.4週	B.並行研修 C.内科 D.12週間	A.実施可 B.ブロック研修 C.総合内科(院内) D.4週間	A.実施可能 B.並行研修 C.内科、外科、小児科 D.20日(4週間)	A.実施可能 B.並行研修 C.内科・外科・小児科(院内) D.10~20日	
	研修病院以外での医療機関 (関連病院等)						
	推奨する必修分野もしくは 選択科目の分野・科目及び 備考	内科(循環器・消化器・呼吸器・ 脳神経内科) 24週 救急12週 麻酔科4週 小児科 4週 産婦人科4週 外科4週	内科24週、救急12週、外科4週、 必修分野もしくはは選択科目8週 (消化器内科、循環器内科、糖 尿病内分泌内科、呼吸器内科、 外科)	内科：3~7か月、 救急：2か月、 麻酔科：1か月、 総合内科1か月、 必修分野もしくはは選択科目1~ 5か月	1年間の研修の内訳は以下のとおり。 内科：24週 救急：12週(並行研修、麻酔 科研修合わせて) 麻酔科：4週 外科：8週 小児科：4週 産婦人科：4週	1年間の研修の内訳は以下の通り 内科：8ヶ月 麻酔科：1ヶ月 外科：2ヶ月 小児科：1ヶ月 一般外来：1ヶ月(並行研修) 救急部門：2ヶ月(並行研修)	



専門研修について

神戸大学病院では、総合診療領域を除く18の領域で新専門医制度のプログラムを構築しています。また、総合診療領域においては兵庫県立丹波医療センターを基幹施設とする「兵庫県地域医療総合診療専門医プログラム」と連携しています。卒後の初期研修を終えた医師を幅広く受け入れ、さらなるキャリアアップをサポートします。

専門医の取得等により高度先進医療の担い手となっていく医師のみならず、大学院への進学や海外への留学などを経て研究者を目指す医師、さらには将来の医師を育てる教育者や指導者を目指す医師など、様々な状況で医療に携わっていく医師を末永く支えています。

詳細については以下をご覧ください。

●新専門医制度

<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/kenshu/koki/>



【参考】専攻医登録・応募スケジュール（2025年度開始プログラム）

	■専攻医 1 次募集	■専攻医 2 次募集
応募期間	2024/11/ 1 正午～2024/11/15 正午	2024/12/ 2 正午～2024/11 /13 正午
採用調整期間	2024/11/18 正午～2024/11/26 正午	2024/12/16 正午～2024/12 /23 正午
採用結果通知	2024/11/29 正午	2024/12/25 正午

※詳しくは日本専門医機構ホームページでご確認ください。

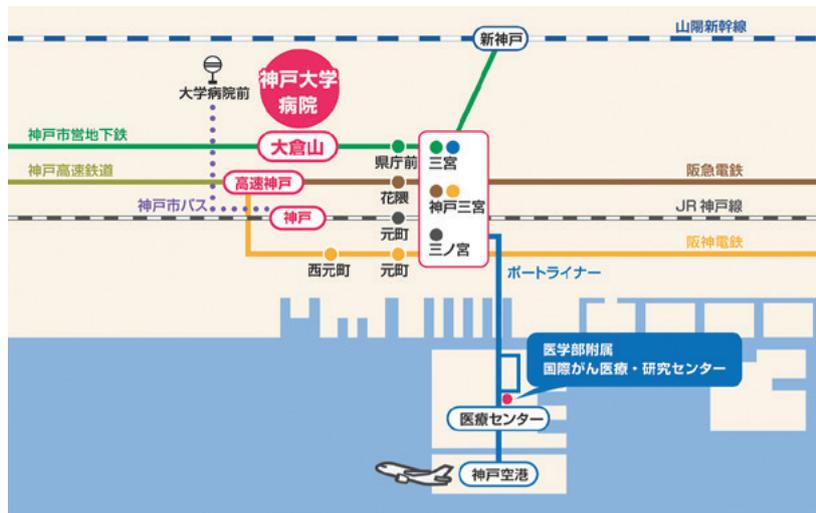
専門研修プログラム一覧

基本領域	プログラム名	基本領域	プログラム名
内科	神戸大学医学部附属病院内科専門研修プログラム	脳神経外科	脳神経外科専門研修 神戸大学医学部プログラム
小児科	神戸大学小児科専門研修プログラム	放射線科	神戸大学放射線科専門研修プログラム
皮膚科	神戸大学医学部皮膚科研修プログラム	麻酔科	神戸大学麻酔科専門研修プログラム
精神科	神戸大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム	病理	神戸大学医学部附属病院病理専門研修プログラム
外科	神戸大学外科専門研修プログラム	臨床検査	神戸大学臨床検査専門研修プログラム
産婦人科	神戸大学産科婦人科専門研修プログラム	救急科	神戸大学救急科専門研修プログラム
眼科	神戸大学眼科専門研修プログラム	形成外科	神戸大学形成外科研修プログラム
耳鼻咽喉科	神戸大学耳鼻咽喉科専門研修プログラム	リハビリテーション科	神戸大学リハビリテーション科専門研修プログラム
泌尿器科	神戸大学泌尿器科専門研修プログラム	総合診療	兵庫県地域医療総合診療専門医プログラム (兵庫県立丹波医療センター)
整形外科	神戸大学整形外科専門研修プログラム		



ACCES

病院までのアクセス



■最寄り駅

- JR「神戸」駅下車 徒歩約15分
- 神戸高速鉄道「高速神戸」駅下車 徒歩約15分
- 神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車 徒歩約5分

■バス利用

- JR神戸駅前より神戸市バス9系統、110系統もしくは112系統に乗車 約5分
- 「大学病院前」バス停下車



神戸大学医学部附属病院 総合臨床教育センター

Integrated Clinical Education Center Kobe University Hospital

■事務局

医学部総務課人材育成支援事務室研修支援係
 TEL : 078-382-6980 FAX : 078-382-5050
 住所 : 〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5-1
 E-mail : kenshu@med.kobe-u.ac.jp
 HP : <https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/kenshu/>



神戸大学医学部附属病院マスコット
くすのきファミリー

